

あま市文化財保存活用地域計画

-あまらしさがすばらしさに-

あま市

目次

序章	3
第1章 あま市の概要	11
第2章 あま市の文化財の概要と特徴	26
第3章 あま市の歴史文化の特性	40
第4章 文化財に関する既往の把握調査	44
第5章 文化財に関するこれまでの取組	52
第6章 文化財の保存・活用に関する将来像と目標	58
第7章 文化財の保存・活用に関する課題と方針	60
第8章 文化財の保存・活用に関する措置	64
第9章 文化財保存活用区域	77
第10章 文化財の防災・防犯	84
第11章 文化財の保存・活用の推進体制	91
資料編	94

序章

1. 計画作成の背景と目的

あま市は、平成 22（2010）年に七宝町、美和町、甚目寺町（以下旧 3 町）が合併し、誕生しました。令和 4（2022）年には第 2 次あま市総合計画を策定し、「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち “あま”」を将来像に掲げ、施策を推進しています。

しかし、全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、あま市においても、令和 2（2020）年の国勢調査では総人口が減少傾向に転じ、令和 3 年 1 月時点の調査において、高齢化率が約 26 パーセントの超高齢社会となっています。

そのような社会情勢のもと、あま市では市内の各地域で守られてきた祭りなどの文化や風習の担い手、伝統産業などの継承者が不足するといった問題が起きています。また、都市整備などによりかつての自然や景観が失われつつあります。こうした状況で、旧 3 町及び合併後の「あま市」としての歴史文化を整理し、次世代に継承していくための措置を講じる必要があります。

「あま市文化財保存活用地域計画」は、市内に所在する文化財をはじめ、それを支える技術や祭りなどの人々の活動や、それらを取り巻く自然や景観などを含めた歴史文化を総合的に保存・活用することを目指すものです。市民が歴史文化を通じて郷土に誇りと愛着を持ち、魅力あるまちづくりを進めるための基本的な方針及び措置を示すことを目的として計画を作成しました。

2. 計画期間

本計画は、あま市の最上位計画である「第 2 次あま市総合計画」の方針を反映させることから、第 2 次総合計画の計画開始後の令和 7（2025）年 4 月から計画を開始します。

また、本計画に定める取組も、総合計画で定める歴史文化に関する取組を基とし、整合を取りながら進めることから、計画期間は「第 2 次あま市総合計画」終了後までとし、令和 7（2025）年 4 月から令和 17（2035）年 3 月までの 10 年間とします。

次期計画も、本計画同様に総合計画で示される方針を反映させることから、「第 3 次あま市総合計画」策定後に見直し、改定を行います。

このように、本計画は、総合計画より毎回 3 年後に、同じ 10 年間の計画期間で作成することを想定しており、計画の進捗や評価を総合計画に照らして行うことで、適切な実行、進捗管理を行います。

あま市文化財保存活用地域計画の計画期間

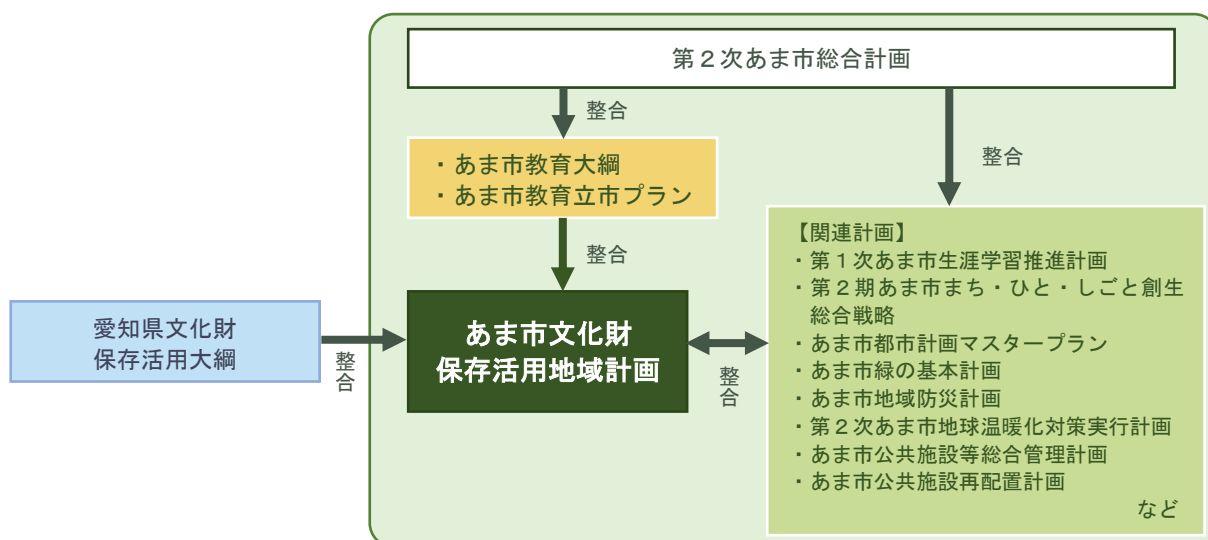
(年度)

令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	令和 8 (2026)	令和 9 (2027)	令和 10 (2028)	令和 11 (2029)	令和 12 (2030)	令和 13 (2031)	令和 14 (2032)	令和 15 (2033)	令和 16 (2034)
第 2 次あま市総合計画												
あま市教育大綱												
あま市教育立市プラン												
			あま市文化財保存活用地域計画									
第 1 次あま市生涯学習推進計画												

3. 地域計画の位置づけ

(1) 全体的な位置づけ

本計画は、「第 2 次あま市総合計画」が示す市の将来像と方向性を踏まえ、上位計画、関連計画との整合や「愛知県文化財保存活用大綱^{たいこう}」との整合性を図りつつ、今後の市内の文化財の保存・活用に関する指針及び具体的な施策を定めるものです。



（２）上位・関連計画における位置づけ

本計画で掲げる取組について、上位計画、関連計画における位置づけを以下に整理します。

① 愛知県の計画

■ 愛知県文化財保存活用大綱 ■

愛知県は、文化財保護法第 183 条の 2 の規定に基づき、令和 2（2020）年 9 月に県内の文化財について保存・活用の基本的な方向性を示した「愛知県文化財保存活用大綱」を策定しました。

大綱では、各地域に支えられてきた有形・無形の文化財と先端産業が補完し合い「豊かな生活」を支えるとともに「文化財を守り、伝え、活かし、人々の暮らしの中に歴史・文化と未来が共存する県」を将来像として掲げています。

県が講じる措置として、第Ⅱ章の中で「1 文化財の調査と指定」、「2 文化財の修理、整備等への支援」、「3 文化財の所有者等への支援」、「4 人材の確保と育成」、「5 保存と活用のための情報の発信」の 5 項目を挙げています。また、重点的な取組や市町村への支援、防犯・防災対策と緊急時の対応など、文化財に関する様々な場面での取組の方針を定めています。

② あま市の計画

■ 第 2 次あま市総合計画 ■

令和 4（2022）年 3 月に策定し、計画期間は令和 4（2022）年度から令和 13（2031）年度です。あま市は、最上位計画である総合計画において、将来像を「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」とし、多様性を認め合い（^{きょうそう}共想）、多様な主体が一緒になってまちづくり（^{きょうそう}共創）に取り組むことを目指しています。

計画の「基本目標Ⅴ 施策 2 ①歴史・伝統」に基づき、市内の文化財の把握や文化財の指定等を推進するほか、ボランティア団体や教育機関などと連携し、観光や教育現場での文化財の活用を図ります。また、市内の様々な伝統行事の保存・伝承を支援するとともに、七宝焼などの伝統産業の普及に努めます。また歴史文化に関わる情報の発信やイベントを充実させ、学校における郷土の歴史文化の学習なども推進します。

■ あま市教育大綱 ■

令和 4（2022）年 3 月に策定し、計画期間は令和 4（2022）年度から令和 13（2031）年度です。あま市は、本大綱において、「ともに学び ともに育み ともに生きる“夢をもった人づくり”」を^{うた}謳い、「あま市の人づくり」として、3 つの人づくりを掲げています。本計画では、その内の

「地域の課題に取り組むことができる人を育みます」に基づき、行政の力だけでなく、地域住民の力も併せてあま市の歴史文化を守り、継承する体制をつくり、歴史文化の保存活用のために主体的に活動できる人材の育成を推進することを目指しています。

■ あま市教育立市プラン ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和8（2026）年度です。本プランは、あま市教育大綱に掲げる「あま市の人づくり」を具体化し、教育に関する個別の施策を示したもので、計画の「施策5 共に考え、学び、楽しむ生涯学習社会を創る」において、文化財の保護や積極的な活用の促進に取り組むことを定めています。この施策と連携し、本計画では、歴史民俗資料館を活用した郷土学習や、あま市の歴史文化の保存と継承を促進します。

■ 第1次あま市生涯学習推進計画 ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和13（2031）年度です。基本理念を「学びのスパイラル 学び・つながり・かかわって ー豊かな地域社会を目指してー」とし、3つの目標を定めています。その中の「目標 学び 指針①きっかけ （3）新たな地域資源の発見・発信」では、本計画を策定した上で、歴史文化を含む地域資源についての情報発信を充実することを目指しています。また、「目標 かかわって 指針⑤発信」に基づき資料館・図書館での地域資源の掘り起こしや、歴史文化に関する調査結果の展示会、講座の充実を図っています。さらに、「目標 かかわって 指針⑥参画」に基づき、歴史文化を活用したまちづくりの人材育成に取り組むほか、伝統行事、郷土芸能を通し、郷土への誇りや愛着を高めながら関わりを深めていける交流活動を促進しています。

■ 第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ■

令和3（2021）年3月に策定し、計画期間は令和3（2021）年度から令和7（2025）年度です。あま市の人口減少とまちの衰退を抑制するため、5つの基本目標を定め、様々な施策に取り組んでいます。その中の「基本目標3 子育て世代の希望をかなえるまちをつくる （イ）学校教育体制の整備」では、地産地消・各地の郷土料理を取り入れた学校給食の推進や「基本目標4 健康で安心して暮らせる、時代に合った魅力的なまちをつくる （イ）生きがい・活力を高めるまちづくり」に基づき、シルバーカレッジ事業としてシニア層が歴史文化を含む地域活動で生かせるスキルの学習機会を提供しています。また、「（オ）郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまちづ

くり」では、あま市の地域資源を発掘し、磨き上げる取組を実施しています。

■ あま市都市計画マスタープラン ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和13（2031）年度です。都市の将来像として「“あまデカラ”により暮らしやすさや魅力を高める都市づくり」を掲げており、都市づくりの課題や都市の将来像を踏まえ、7つのテーマを都市づくりの目標として定めています。目標の1つとして「地域の商工観光により魅力を高める都市づくり」を定めており、七宝焼などの地域資源を活用した商工観光の交流拠点の整備や、市内の観光拠点をつなぐネットワークの形成などを目指しています。また、「環境と調和した都市づくり」では、緑の保全・活用や各地域の特性を活かした景観づくりなどに取り組んでいます。

■ あま市緑の基本計画 ■

令和4（2022）年3月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和13（2031）年度です。緑の都市づくりの指針を定め、市内の緑に関する様々な取組を実施しています。都市計画に即し、将来像を「歴史と文化をささえ 地域と人をいかす 水と緑の都市づくり」と定め、多くの河川やその水辺の緑、広々とした農地の緑、多数ある寺社林など、あま市の特徴をより活かした水と緑の都市づくりを推進しています。

■ あま市地域防災計画 ■

災害対策基本法第42条の規定に基づき「風水害等災害対策計画」、「地震・津波災害対策計画」、「原子力災害対策計画」の3つの計画を地域防災計画として策定し、災害への対策を定めています。計画は令和6（2024）年2月に修正しており、市民などの生命、身体および財産を災害から守り、「災害に強いあま市」を実現するため、市や関係機関、市民および事業所が果たすべき責務と役割、計画、応急対策、災害復旧について定めています。「風水害等災害対策計画」の中で「文化財保護対策」として、防災思想の普及や管理者への指導、連絡・協力体制の確立、修理の実施や防火消防施設の設置などの措置を位置付け、実施しています。また、「地震・津波災害対策計画」の中でも「文化財の保護」として重要文化財の耐震対策の措置を位置付け、取組を推進しています。

■ 第2次あま市地球温暖化対策実行計画 ■

令和4（2022）年8月に策定し、計画期間は令和4（2022）年度から令和8（2026）年度です。世界規模で対策すべき地球温暖化対策について、温室効果ガスの排出量抑制を目指しています。これに基づき、公共工事における環境負荷の低減として、緑化の推進や環境保全活動等への参加などの取組を実施しています。

■ あま市公共施設等総合管理計画 ■

平成29（2017）年3月に策定し、計画期間は平成29（2017）年度から令和48（2066）年度ですが、令和4（2022）年3月に改訂しています。市内すべての公共施設について、費用など中長期的な見込みを立て、更新・統廃合・長寿命化を実施する計画です。七宝焼アートヴィレッジや歴史民俗資料館など、文化財に関連する施設の整備についてもそれぞれ方針を定めています。

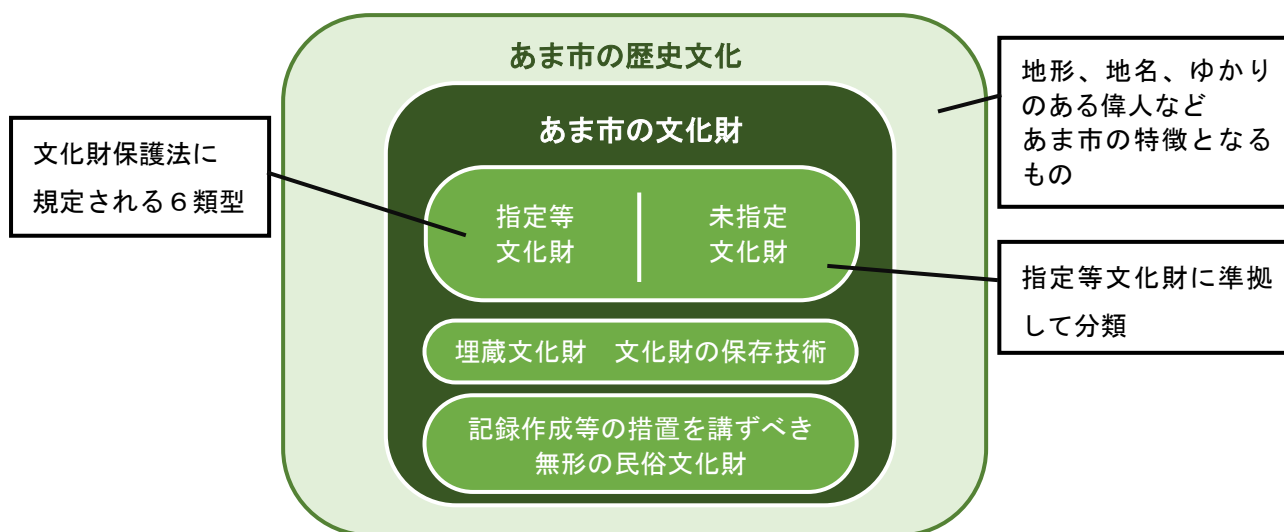
■ あま市公共施設再配置計画 ■

平成31（2019）年3月に策定し、計画期間は平成29（2017）年度から令和48（2066）年度です。あま市公共施設等総合管理計画との整合を図りながら、5年から10年を目途に改訂を行います。市内公共施設について、「公共施設等の安全確保」、「公共建造物の縮減」、「コストの縮減」といった3つの視点を基本方針とし、七宝焼アートヴィレッジの建物の改修や、市内に複数ある歴史民俗資料館の統合などを検討します。

4. 本計画における文化財の定義

本計画における文化財とは、文化財保護法に規定される有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型、土地に埋蔵されている文化財（埋蔵文化財）や文化財を次世代へ継承する上で欠かせない文化財の材料制作・修理などの伝統的な保存技術（文化財の保存技術）、記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財として選択されている文化財のことを指します。市内に所在する指定等文化財については、上記の6類型に従い分類しています。また、未指定文化財についても、指定文化財の類型に従い分類しており、以下の表で示す内容をあま市の文化財としています。その他、上記の6類型に当てはまらないものの、地形、地名、ゆかりのある偉人など、あま市を特性づけるものすべてをもって、あま市の歴史文化として定義します。

あま市の歴史文化と文化財の定義



本計画で扱う未指定文化財と区分の仕方

類型		内容	
有形文化財	建造物	建物、門、塔、寺院、神社、宝篋印塔 ほうきょういんとう	
	美術工芸品	絵画	仏画、人物画、風景画、書画
		彫刻	仏像、神像 こまいぬ 、狛犬 ししがしら 、仮面 かめん 、獅子頭
		工芸品	七宝焼 はなは 、刷毛 はけ 、刀、鏡、梵鐘 ぼんしょう 、灯笼 とうろう 、鰐口 わにぐち
		書跡・典籍	書跡 しよせき 、経典 きょうてん
		古文書	古文書、土地台帳、地誌
		考古資料	土器、瓦
		歴史資料	地図、石碑、棟札 むなふだ
無形文化財		芸能、工芸・産業技術、俳諧 はいかい	
民俗文化財	有形の民俗文化財	神楽 かぐら 、祭礼道具、農具、民具	
	無形の民俗文化財	祭礼行事、舞楽 ぶがく 、歌謡、民謡、童謡、風習、年中行事、方言、伝説、風俗慣習 こう 、講、食文化	
記念物	遺跡	集落跡、古墳、城跡、旧宅跡 きゅうたくあと 、寺院跡、神社跡、城館跡、古戦場、戦争遺跡、伝承地 さんぶち 、散布地	
	名勝地	庭園	
	動物・植物・地質鉱物	動物、草花、樹木、地質	
文化的景観		街道、山、川、用水路	
伝統的建造物群		宿場町、城下町、農漁村等	

5. 計画の進捗管理と自己評価の方法

計画に位置づける事業を具体的に進めていくためには、文化財に関する学識経験者や関連団体と相談の上、助言を得たり連携しながら確実に進めていく必要があります。そのため「あま市文化財保護審議会」にて定期的な事業の進捗確認と評価を行います。また、社会経済情勢の変化や上位・関連計画の見直しなどにより、計画内容に見直しの必要性が生じた場合には、柔軟に対応します。「計画期間の変更」、「市の区域内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」は、文化庁長官の変更の認定を受けます。それ以外の軽微な変更を行った場合は、その変更の内容について、愛知県及び文化庁へ情報提供します。

第 1 章 あま市の概要

1. 自然的・地理的環境

(1) 位置

あま市は、愛知県の西部に位置し、北に稲沢市、北東に清須市、東に名古屋市、大治町、南に蟹江町、南西に津島市、西に愛西市と、5市2町に接しています。市域は東西7.9km、南北7.8kmで、面積は27.49㎢です。

名古屋市の中心部から公共交通機関で約15分という立地条件にあり、ベッドタウンとして発展してきました。田園風景と住宅地との調和がとれた緑豊かなまちを形成しています。



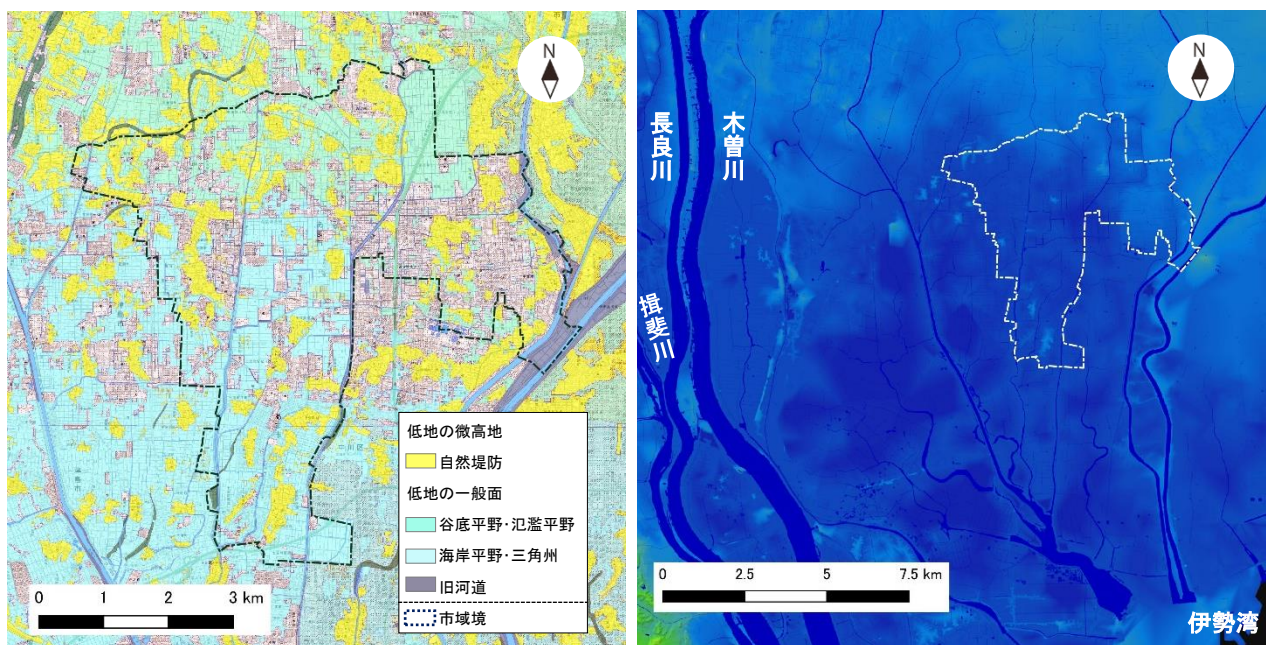
(2) 地区

あま市は、平成22(2010)年に七宝町、美和町、甚目寺町(以下旧3町)の3町が合併し、県内37番目の市として誕生しました。旧3町はそれぞれ独自の歴史的特徴を有しているため、本計画でも地区の区分けをこの旧3町の区域に従って設定します。

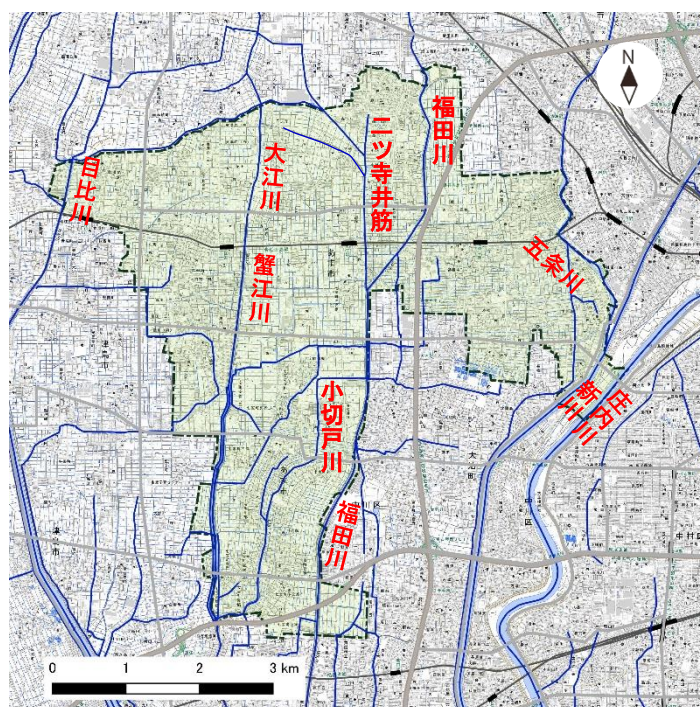


(3) 地形

あま市の地形は、ほぼ全域が標高1 m未満の海拔ゼロメートル地帯となっており、市全域が起伏のほとんどない平坦地です。木曽川水系や庄内川水系によって形成された沖積平野であり、上流（北）から下流（南）に向かって自然堤防、^{きそ} 後背湿地、^{しょうない} 三角州という地形構成になっています。市内には庄内川、新川、^{しん} 五条川、^{ごじょう} 福田川、^{ふくだ} 小切戸川、^{おぎりど} 大江川、^{おおえ} 蟹江川、^{かにえ} 目比川、^{むくい} といった複数の河川が流れています。



出典：国土地理院「土地の成り立ち・土地利用（数値地図 25000（土地条件））」
国土地理院 デジタル標高地形図【愛知県】技術資料番号：D1-No.965



出典：国土数値情報 河川データ

(4) 気候

あま市の気候は、太平洋側気候のうち東海式気候に属し、一般に温暖で夏季は湿気が多く、冬季は「伊吹おろし」と呼ばれる北西からの冷たい風が吹き、乾燥した快晴の日が多いです。平均気温は夏季 27℃前後、冬季 4℃前後であり、平均年間降雨量は 1,600mm 程度です。

月別平均気温推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均(℃)
平成24年(2012年)	3.6	3.4	7.5	13.5	18.4	21.7	26.6	28.0	25.2	18.4	10.8	4.8	15.2
平成27年(2015年)	4.9	5.3	9.3	14.9	21.0	22.2	26.6	27.9	22.8	17.9	14.0	9.2	16.3
平成30年(2018年)	3.7	4.5	10.6	16.2	19.6	23.3	29.2	29.4	23.5	18.7	13.7	7.8	16.7
令和3年(2021年)	5.9	8.2	12.5	15.6	19.7	23.5	27.5	27.7	23.9	19.8	12.8	7.3	17.0

出典：あま市「海部東部消防組合消防本部」

月別降水量推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年総量(mm)
平成24年(2012年)	33.0	103.0	137.5	174.0	67.5	231.0	191.0	74.5	266.5	105.0	70.5	29.0	1,482.50
平成27年(2015年)	98.5	27.0	126.0	113.5	108.5	216.5	216.0	341.0	257.0	49.5	135.0	99.5	1,788.00
平成30年(2018年)	46.0	16.0	169.0	191.0	227.0	185.5	184.5	62.5	297.5	19.5	37.5	51.0	1,487.00
令和3年(2021年)	60.0	39.5	186.0	184.5	187.5	139.0	258.0	342.0	247.5	45.5	57.5	88.5	1,835.50

出典：あま市「海部東部消防組合消防本部」

(5) 植生

あま市における植生として、まずは水田とその周囲における水田雑草群落及び水路の畔に自生する水生植物群落、そして堤防などの草地群落などがあります。これらはいずれも人為的で水田耕作に影響を受けた植生であり、寺社叢と同様に、人為的に維持管理されてきた植生といえます。



▲ 蓮華寺寺叢

また、手つかずの自然とは言えませんが、美和地区蜂須賀の

蓮華寺寺叢は、尾張平野の自然植生を知るうえで貴重な自然林とされ昭和 50（1975）年に愛知県自然環境保全地域の第 1 号になっています。ここには高木のシラカシ、イチイガシ、クロガネモチをはじめ、中木のヤブツバキ、モチノキ、低木ではヤブニッケイ、ヒサカキといった常緑広葉樹が主に繁茂しており、この寺叢は尾張平野に自生する樹木の縮図であるとも言われました。

(6) 生物

市内に生息する生物については、周辺の市町と変わりはなく、市内に特有の生物は生息していません。宅地開発による田畑や空き地の減少は、生物の生息域を狭め、その数を確実に減らしてきました。例えばキツネやキジなど、あま市には馴染み深い生物も、現在はごく限られた場所でしか確認はできていません。タヌキやイタチといった比較的、人の生活に入り込みやすい動物



▲ ダイサギ

でさえ、目撃するのも珍しい状況です。また市内を流れる水路には、ミシシippアカミミガメが甲羅干しをする光景が一般化し、市内にはライギョの釣り場として有名な水路がいくつもあるように、すぐに目にできる生物は外来種になりつつあります。

また、ここ数年、市の北部を中心に、稲ではなく麦の栽培に取り組む地区が増えています。かつての水田に水が入ることはなく、青々とした麦畑があたり一面に広がっており、水田に起因する生物、とりわけカエルなどが生息できず、それを餌とするダイサギなどの鳥類も見ることが少なくなりました。市内に生息する生物の数は、将来的には減少する傾向にあると言えるでしょう。

(7) 自然災害史

あま市に甚大なる被害をもたらした台風あるいは地震などで、主な自然災害には次のようなものがあります。

① 水害

和暦	西暦	被害状況
享和元年	1801 年	大雨による排水問題により市内を東西に通る津島街道を挟んで北の8か村と南の5か村が争う。
慶応4年5月	1868 年	入鹿切れ。入鹿池（犬山市）の決壊により、上萱津に大水が流れ込み、多数の流木とともに遺体も流れ着き、地区の墓地に無縁仏として葬られた。七宝地区も同様に水が押し寄せた記録があり、その影響で農作物への被害が甚大であったという。
明治29年8月	1896 年	大雨が降り続き、暴風雨による洪水を引き起こした。七宝地区下田の、蟹江川の東堤防で決壊があり、稲作は壊滅的な被害を受けた。
大正元年9月	1912 年	暴風雨により七宝地区下田で蟹江川の西堤防が決壊した。
大正10年9月	1921 年	6月から7月に雨天が多く、田面が海のような状況が続いた。9月の暴風雨により蟹江川の堤防が4か所決壊した。特に七宝地区鷹居の西堤防は50mほどが崩れ、その復旧工事に難航した。

和暦	西暦	被害状況
昭和 29 年 8 月	1954 年	台風 5 号、大雨により稲が冠水し、明治 29 年以來の不作となった。
昭和 34 年 8 月	1959 年	集中豪雨により七宝地区 鯰 橋の小切戸川の東堤防が決壊した。
昭和 34 年 9 月	1959 年	伊勢湾台風。最大風速 75m/s の超大型台風。風速、高潮ともに名古屋気象台開設以來の最高を記録した。あま市においても風が最も強かったのは、夜の 8 時から 2 時間半ほどで、北部一帯は強風により家屋及び寺社叢などが倒壊した。福田川、小切戸川、蟹江川に挟まれた南部地区は、各河川の堤防決壊による浸水被害があり、その水が引くのに 1 か月以上を要した。
昭和 36 年 6 月	1961 年	台風 6 号の集中豪雨により美和地区蜂須賀の目比川が氾濫した。また七宝地区鯰橋の小切戸川が決壊し、同地区は 3～4 日冠水した。
昭和 46 年 9 月	1971 年	台風 13 号により、七宝地区下田にて蟹江川の東堤防が決壊した。
昭和 47 年 9 月	1972 年	台風 20 号により、七宝地区川部にて蟹江川の東堤防が決壊した。
昭和 49 年 7 月	1974 年	集中豪雨により、七宝地区下田の蟹江川の西堤防が決壊し、家屋床下浸水 494 戸の被害を出した。
昭和 51 年 9 月	1976 年	台風 17 号の集中豪雨により目比川が決壊し、美和地区蜂須賀花木で浸水した。
平成 12 年 9 月	2000 年	東海豪雨。台風 14 号により、東海地方に停滞していた前線に暖かく湿った空気が流れ込み大雨となり、名古屋市西部に大きな被害をもたらした。あま市においても、福田川及び新川の増水により排水機能が低下し、その周辺地域で浸水被害が発生し、災害救助法が適用された。

② 地震

和暦	西暦	被害状況
天正 13 年 11 月	1586 年	天正地震。沿岸部で 2～4 m の津波が発生した。「尾州鳳凰山甚目寺略縁起」には甚目寺の諸堂が倒壊した記録が残されている。
明治 24 年 9 月	1891 年	濃尾地震。被害は県の地震災害史上最大という。市内の被害状況をみると、約半数以上の家屋が倒壊、あるいはそれに近い状況であった。美和地区二ツ寺の記録には人々は藪の中に蚊帳を吊って仮住まいし、絶え間なく揺れる余震で歩くことも困難であったと記録されており、10 月末に発生した本震から余震は翌年 1 月下旬まで続いたとある。蓮華寺（美和地区蜂須賀）の諸堂も仁王門を残し、全て倒壊したという。
昭和 19 年 12 月	1944 年	東南海地震。建具や納屋などが倒壊した。これ以降、地盤沈下が目立つようになったという。

（８）戦災

太平洋戦争中の昭和 19（1944）年、あま市北東部、現在の清須市、稲沢市にまたがる土地に、名古屋市街地防空のために陸軍の飛行場が建設されました。その建設に際しては、地元民はもとより旧制津島中学（現在の県立津島高校）の生徒など、多くの人々が作業に従事させられました。軍事施設であるこの飛行場も、アメリカ軍による攻撃を受けていますが、幸いにも周辺住民への被害はありませんでした。この飛行場は終戦後、地元民の強い要望により農地に戻されました。

また、名古屋市街地への空襲が激化する昭和 20（1945）年 3 月には美和地区^{きだ}木田^{しょうい}に焼夷弾^{だん}が落とされ 22 軒が全焼しました。同様に、七宝地区^{あきたけ}秋竹及び伊福^{いふく}においても焼夷弾による被害がありました。



▲ 市北東部に築かれた飛行場

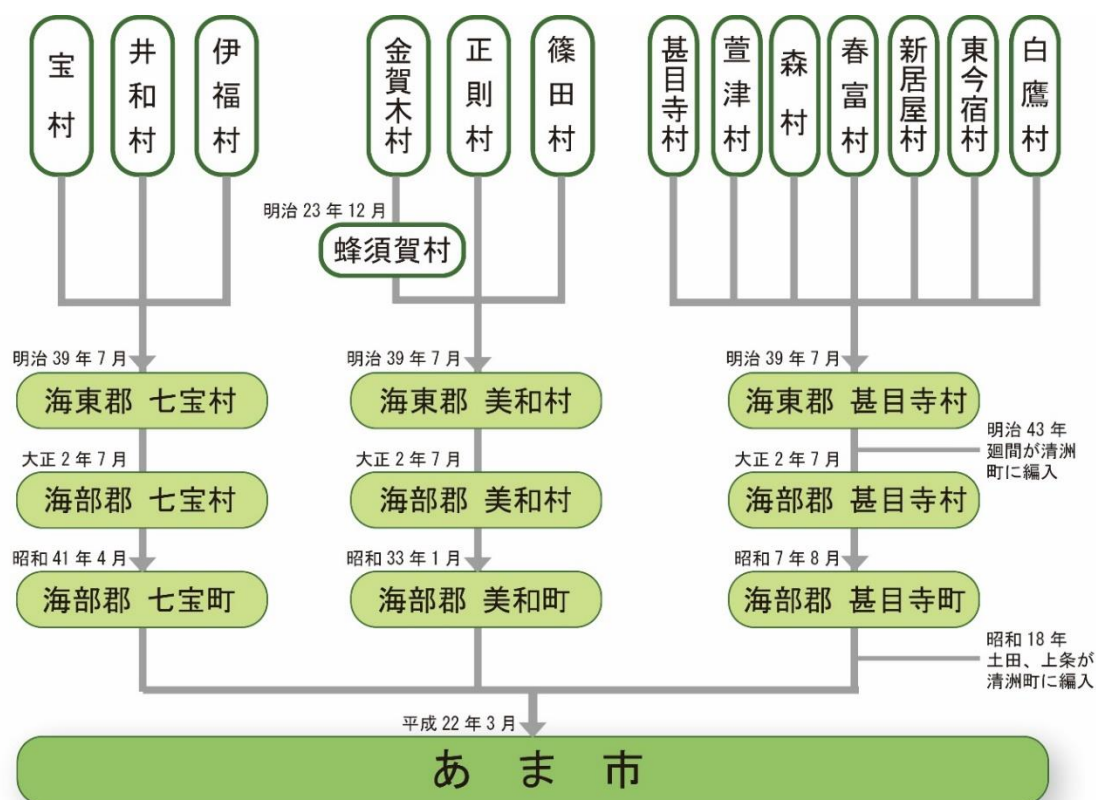
2. 社会的状況

（１）市の変遷

明治 39（1906）年に行われた大合併により、海東郡^{かいとう}の村として七宝村、美和村、甚目寺村が誕生しました。その後、大正 2（1913）年に海東郡^{かいとう}と海西郡^{かいさい}が合併して海部郡^{あま}になり、昭和 41（1966）年までには、それぞれ町制が施行され、甚目寺町（昭和 7（1932）年）、美和町（昭和 33（1958）年）、七宝町（昭和 41（1966）年）となりました。

その後、平成の大合併が全国各地で進む中、海部東部地域においても平成 14（2002）年から市町村合併についての議論が進み、平成 22（2010）年 3 月 22 日に七宝町、美和町及び甚目寺町の 3 町が合併し、あま市は、県内で 37 番目の市として誕生しました。

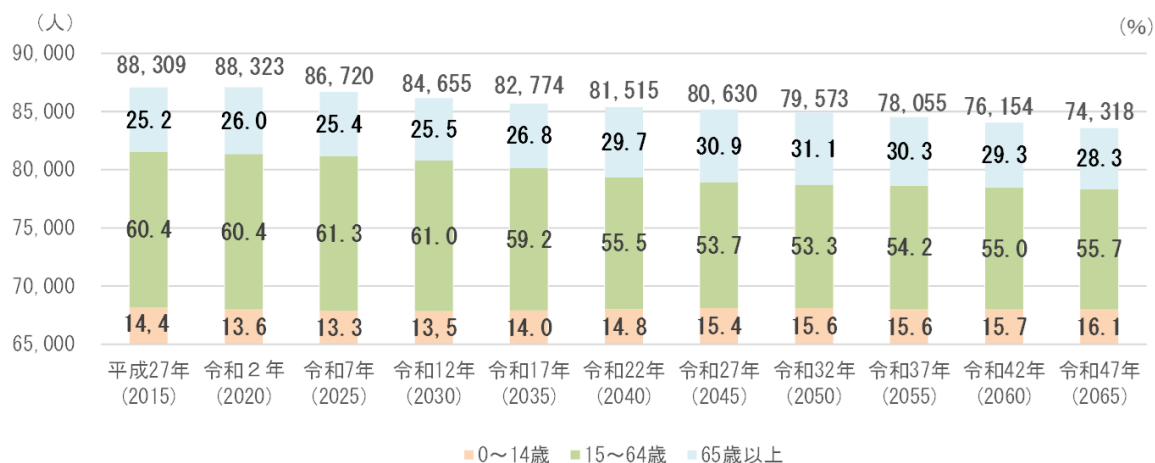
あま市の沿革



(2) 人口

あま市の人口は、令和6（2024）年8月現在で88,521人です。これまで増加傾向にありましたが、あま市人口ビジョンでは、令和2（2020）年にピークを迎え、以降は緩やかに減少傾向が継続すると推計しています。

あま市の将来人口と構成比の見通し



参考：あま市「人口ビジョン」のデータを基に作成

(3) 土地利用状況

土地利用区分として、「住宅地」、「駅前商業地」、「住商共存地」、「沿道複合利用地」、「工業地」、「住居系土地利用誘導候補地」、「既存工業地・産業誘導候補地・産業誘導ゾーン」、「沿道サービスゾーン」、「自然環境・レクリエーション地」、「農地・集落地」、「農地・集落地（駅周辺、主要な幹線道路沿道等）」を設定し、土地利用を図っています。

また、土地利用施策（市街化区域拡大の検討を含む）を重点化するエリアとして、「街なか居住拠点」や「防災・交流拠点」を設定し、土地利用を図っています。

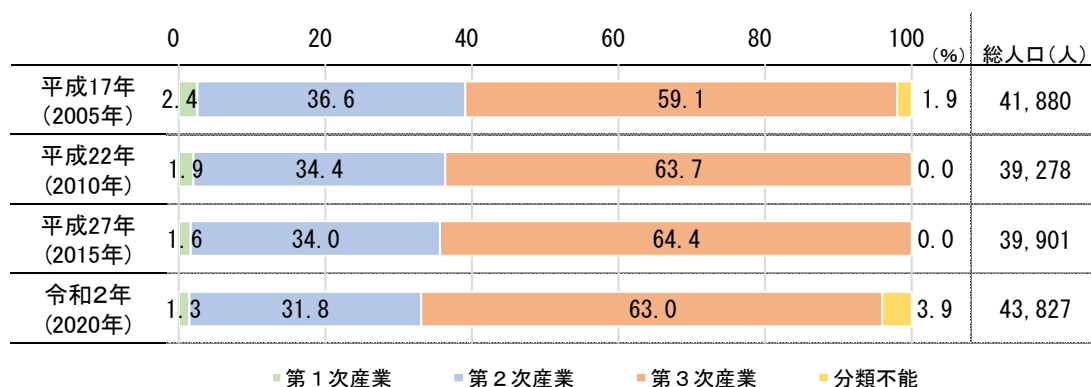
参考：あま市都市計画マスタープラン

(4) 産業

あま市では、販売業を含む第3次産業の従事者が最も多く、平成17（2005）年からの推移をみると、増加傾向にあり、令和2（2020）年には63.0%となっています。一方で農業を含む第1次産業や製造業を含む第2次産業はともに減少傾向で、令和2（2020）年では第1次産業が1.3%、第2次産業が31.8%となっています。

あま市の伝統的な産業としては、伝統的工芸品として国から指定されている尾張七宝^{はけ}や刷毛^{なりわい}の生産が挙げられます。これらの産業は、七宝地区や甚目寺地区で町の生業として盛んに行われていましたが、需要の低下による市場の縮小や後継者不足により現在は生産が減少しています。

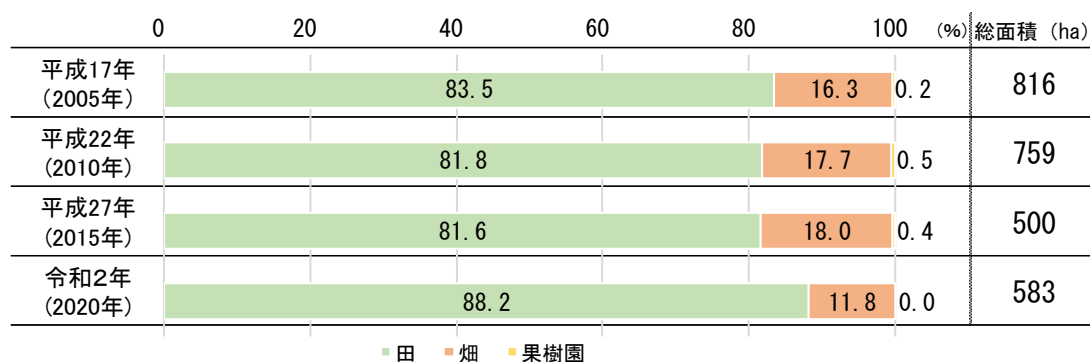
産業別就業者数



出典：国勢調査（令和2年）

経営耕地面積は田が最も多い状況ですが、畑などを含めた総面積は、平成 17（2005）年から令和 2（2020）年の推移をみると 3 割減少しています。

経営耕地面積



出典：あま市の統計

あま市の特産品としては、小松菜や法蓮草、水菜、壬生菜などが挙げられます。その他、伝統野菜として、越津葱、方領大根、愛知本長茄子、二ツ寺大根、白花千石などを古くから生産してきました。しかし、近年後継者不足などから生産は減少しています。



(5) 交通

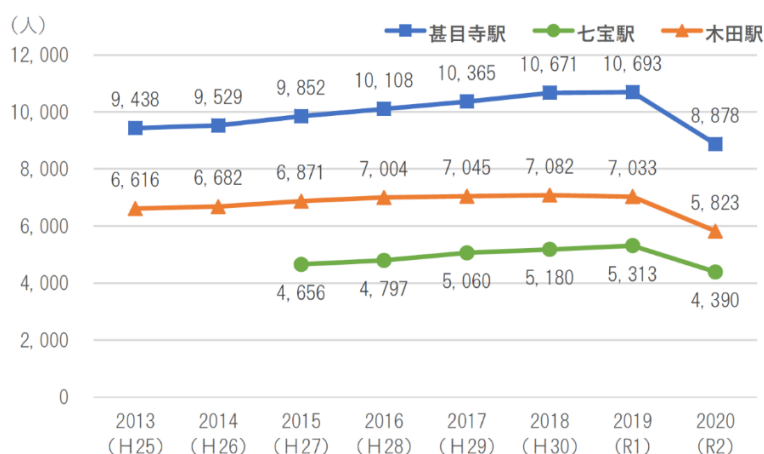
市内には、鎌倉街道や津島街道、^{きやじ}佐屋路が通っており、古くから人々の往来で賑わいました。これらの街道は今も残されており、街道沿いには寺社が多く所在し、部分的に昔のまちなみを残しています。

現在は、主に東西方向に^{あいさい}あま愛西線、名古屋津島線、津島七宝名古屋線、名古屋蟹江弥富線が通り、南北方向に国道 302 号、一宮蟹江線が通っています。その他、国道 302 号と並行して市内を名古屋第二環状自動車道が通り、名古屋の周辺市町村をつないでいます。このため、自動車による都市部や他市町村への往来は非常に利便性が高く、現在も国道 302 号など一部の道路では交通量が極めて多くなっています。また、あま市の特徴ともいえる古くからの住宅街の^{きょうあい}狭隘な路地や農道なども市民が生活道路として利用しています。

鉄道は、名古屋鉄道津島線が東西に横断しており、市域には、甚目寺駅、七宝駅、木田駅の 3 駅があり、名古屋駅まで約 15 分でアクセス可能な好立地と言えます。これらの 3 駅の乗降客数は、令和 2（2020）年はコロナ禍の影響で減少しておりますが、それ以前は増加傾向にありました。

また、市内の交通を補完する公共交通として、巡回バスが市内各地を連絡しています。市域南部では名鉄バスが、名古屋市への交通手段として活用されています。

名古屋鉄道津島線 3 駅（甚目寺駅、七宝駅、木田駅）の乗降者数の推移



出典：あま市資料

（６）文化財など関連施設

■ 七宝焼アートヴィレッジ ■

「おわりしっぽう尾張七宝」として伝統的工芸品の指定を受け、人々に親しまれてきた「七宝焼」について、見て・触れて・学んで・体験することができる総合施設です。あま市の「七宝焼」についての普及、情報発信の拠点として、体験学習や作品の展示、販売などを行っています。



令和元（2019）年度には、入館者数が 12 万人を超えました。翌年度は、コロナ禍の影響で半減しましたが、現在の入館者数は増加傾向にあります。

■ 美和歴史民俗資料館 ■

あま市の昔の人々の暮らしを知ることができる農具・民具といった民俗資料の展示や美和地区で出土した弥生時代以降の考古資料、あま市の歴史文化の紹介を行っています。

また、季節ごとの企画展として、あま市出身の戦国武将の肖像画や浮世絵などの展示、文化財に関する各種講座を行っています。



入館者数は、毎年度 6,000 人ほどありますが、コロナ禍の影響などで令和 2（2020）年度に約 3,600 人まで減少しました。その後、令和 3（2021）年度には 5,700 人となり、回復しています。

■ 甚目寺歴史民俗資料館 ■

甚目寺地区で実施された発掘調査による考古資料や室町時代の甚目寺を復元したジオラマ、普段見ることのできない国指定文化財である絹本著色けんぼんちやくしよくぶつ仏涅槃図の複製など、甚目寺に関する資料のほか、農具・民具などの人々の暮らしの道具、伝統的な祭礼や伝統芸能にまつわる資料などを展示しています。また、甚目寺歴史民俗資料館でも、季節ごとの企画展を開催しています。



入館者数は、平成 30（2018）年度 2,400 人ほどありましたが、コロナ禍の影響などで令和 2（2020）年度に約 1,600 人まで減少しました。令和 3（2021）年度は約 1,800 人となり、やや回復しています。

■ 人権ふれあいセンター ■

あま市における人権啓発の発信拠点であり、近隣地区のコミュニティセンターとしての役割も担っています。1階のロビーには、甚目寺地区出身の医師でハンセン病患者の人間回復に生涯を捧げた小笠原 登 博士（1888～1970）の功績や遺品が展示されています。令和4（2022）年度の入館者数は9,420名でした。



3. 歴史的背景

（1）あま市のはじまり

あま市では、河川により形成された自然堤防と後背湿地^{こうはいしつち}上に弥生時代以降の遺跡が発見されていることから、弥生時代には市域内に人が住み始めていたと言えます。弥生時代中期から後期の集落跡である阿弥陀寺遺跡^{あみだじ}や森南遺跡^{もりみなみ}では、住居跡や大量の土器が発見されており、特に阿弥陀寺遺跡は集落域が東西 450m、南北 330mに広がり、環濠^{かんごう}をもつ集落であったこともわかっています。



▲ 甚目寺遺跡発掘調査

ムラの有力者が成長し、大規模な前方後円墳が築かれるようになった古墳時代に、近畿地方を中心とするヤマト政権により国土の統一が図られたと考えられています。美和地区^{ふたつでら}二ツ寺には二ツ寺神明社古墳^{しんめいしゃ}が築かれており、海拔ゼロメートル地帯であるこの地にも、有力者が存在したことがうかがい知れます。



▲ 単弁蓮華文軒丸瓦

律令制度が整備された飛鳥から平安時代、市域内には尾張国の8郡のうち海部郡がおかれしました。各地の豪族は律令国家体制に組み込まれることになり、時を同じくして古墳造営に替わって造寺活動^{ぞうじ}が活発に行われています。市域では北方から南方へ人々の生活範囲が広がっていき、甚目寺遺跡^{じもくじ}・法性寺跡^{ほっしょうじ}・清林寺遺跡^{せいらんじ}や篠田廃寺^{しのだはいじ}といった古代寺院が白鳳時代^{はくほう}から奈良時代に築かれました。地名の由来となった甚目寺は、文永元年（1264）年の「甚目寺縁起^{じもくじえんぎ}」によると推古5（597）年に、伊勢国^{はだめ}甚目村^{はだめたつまる}の漁師甚目龍麿^{しやう}が海中から引き揚げた聖観音像^{しょう}を草庵^{そうあん}に祀ったこと

がはじまりとされています。平成2（1990）年から平成4（1992）年に行われた発掘調査では白鳳時代の軒丸瓦^{のきまるがわら}などが出土しており、白鳳時代には伽藍^{がらん}を配した寺院として発展していたと考えられます。

（2）中世のあま市

武家政権による統治が行われ始めた12世紀末、源頼朝が鎌倉に幕府を開くと、各地から鎌倉につながる道が形成されました。いわゆる鎌倉街道は、市内東部に位置する萱津地域を南北に縦断するよう整備され、ここ萱津宿は交通の要衝地として多くの人々や物資が行き交うようになりました。また同街道の宿場町のひとつとして大いに繁栄し、その様子は『吾妻鏡』^{あづまかみ}や『海道記』^{かいどうき}などに記されています。

弘安6（1283）年、鎌倉仏教の1つである時宗^{じしゅう}の開祖、一遍上人^{いつぺんしょうにん}は東国から京への帰路、甚目寺にとどまり「七日乃行法」^{なのかのぎょうほう}を行う途中、食糧が無くなり困窮します。しかし、萱津宿の富豪らの協力を得て無事に行法を終えることができたといわれています。国宝である「一遍聖絵」^{ひじりえ}にはそのときの甚目寺伽藍と境内に食糧を満たした御櫃^{おひつ}が並べられる様子が描かれており、当時の萱津の繁栄ぶりを物語っています。

（3）近世のあま市

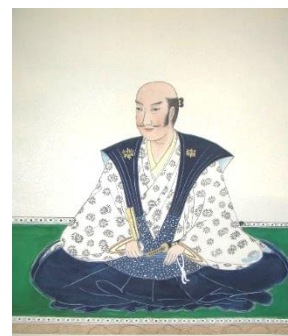
あま市は、豊臣秀吉^{とよとみひでよし}の配下で活躍した武将が輩出し、その天下統一の支えとなって活躍した武将もいます。蜂須賀正勝^{はちす かまさかつ}と実子の家政^{いえまさ}、福島正則^{ふくしままさのり}があげられます。徳島城主となった蜂須賀家は、先祖の地である蜂須賀の地を大切にし、菩提寺である蓮華寺（美和地区蜂須賀）には他国の領主であるにも関わらず寺領を差配するよう尾張の領主に依頼しています。また福島正則も清洲城主となった際、地元の神明社（美和地区二ツ寺）社殿を修築するなど、故郷の恩に報いています。

江戸時代には、東海道の迂回路^{うかい}であり市内を東西に走る津島街道・佐屋路^{さやじ}が整備され、人や物資の往来も激しくなりました。

津島街道沿いにある甚目寺は尾張西国三十三所観音と尾張四観音の一番霊場（札所）として全国的にも有名で、多くの参拝者が訪れました。



▲ 蜂須賀正勝公肖像模写



▲ 福島正則公肖像模写

また、国学者^{もとおりのりなが}本居宣長の門人である木田村（現在の美和地区木田）の^{おおだちかかど}大館高門は、自宅を開放して^{ほそいへいしゅう}細井平洲を招き講演会を開催するなど、地域の文化発展に寄与する者もあられました。

その一方、江戸時代を生きた庶民は、^{みやたようすい}宮田用水など水を得やすい地形に恵まれ、開墾をすすめ田畑を切り広げていきましたが、低地ゆえ排水に苦しみ南北の村々で争いが生じました。また、風水害による被害も受けやすく、あま市の歴史文化を語る上では、水との闘いを切り離すことができません。

（４）近代のあま市

江戸時代の終わりに、七宝地区^{はやししょうごろう}遠島の^{かじ}林庄五郎が^{つねきち}梶常吉に学んだ七宝製造の技術を広めたことにより、七宝焼は七宝地区^{とおしま}遠島の産業として発展しました。同様に大正時代には^{にいまいじゅく}甚目寺地区^{やまざきまささぶろう}西今宿の^{はけ}山崎政三郎が大阪で刷毛製造技術を学び、地元で広め、刷毛製造業が発展しました。

明治後期、七宝地区桂、伊福といった市南部の地域からの渡米者が増えました。彼らの多くはサクラメントをはじめとした西海岸地域の農場で働き、やがては自ら土地を購入し、農園主として成功する人もあられました。異国の地で財を得た人たちは、故郷の恩に報いるために郷里の神社へ鳥居や灯籠などを寄進しました。

また、米作以外で収入を得ようとする動きが各地域で活発になります。あま市の特色のひとつとして、市内各所で^{そさい}蔬菜の品種改良を進め「^{きったなす}橋田茄子」、^{かやづかぼちゃ}「萱津南瓜」、^{ふたつでら}「二ツ寺大根」といった個人名や地区名を冠した蔬菜を生産、販売しました。現在も市西部の美和地区^{はちすか}蜂須賀、^{たんば}丹波、^{なかはし}中橋では、地域の土壌にあった蔬菜栽培を促進させ、同地の^{こしづねぎ}「越津葱」は、今なお盛んに栽培、出荷されています。

その一方で、市南部の七宝地区^{いふく}伊福周辺では明治の頃か



▲ 七宝焼制作の様子



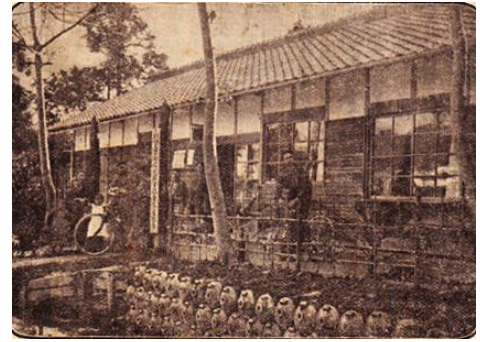
▲ 一時帰国する伊福の渡米者（帰国船にて撮影）



▲ ネギの出荷風景

ら昭和初期まで^{むしろ}・^{なわせいぞう}縄製造など^{わらざいく}藁細工が副業として盛んでしたが、今では行われていません。

昭和に入ると甚目寺村（現在の甚目寺地区）では副業組合を結成し各種蔬菜の種を「特産種^{しゅびょう}苗」として日本全国に販売し、あま市の蔬菜が全国に広く知れ渡るきっかけを作りました。こうした先人の努力と創意工夫のうえに、今の私たちの生活が築かれていることが理解できます。



▲ 方領大根採種組合事務所

（５）あま市の誕生とさらなる発展

このようにあま市は、歴史の変遷のなかで、多種多様な文化財が表出され、多くは今も「地区の宝」として受け継がれています。こうした文化財の本質を正しく伝え、文化的価値の理解を促し、後世に伝え残すべき共通の財産であることを一人でも多くの市民と共有することこそ、今を生きる私たちが担うべき重要な役割と言えるでしょう。

しかし、市内の文化財を取り巻く現状は必ずしも十分とは言えない状況にあります。とりわけ本来、多くの市民にとって身近な文化財である民俗文化財や、寺社などに伝わる美術工芸品などの把握と調査・研究は十分ではありません。今後、文化財の保存と活用を考えていく上では、各文化財類型を^{もうら}網羅した調査・研究が望まれます。また、あま市の人口は、人口減へと転換しており、今後も高齢化の進行が予想されています。少子高齢化による地域コミュニティの希薄化や活力の低下は、文化財継承の担い手不足や歴史文化への市民の関心の低下につながるとともに、ひいては防災対策や文化財の保存継承に影響を及ぼしかねません。

近年では観光振興や地域活性化などの観点から、文化財を単体の資産としてではなく、その周辺環境も含めた面的な位置づけのもと、他分野と連携を図りながら総合的なまちづくりに活かす動きが高まりつつあります。

第2章 あま市の文化財の概要と特徴

平成 22（2010）年 3 月七宝町、美和町、甚目寺町の合併により誕生したあま市には、それぞれの町で受け継いできた文化財があり、各町の傾向や特徴が見られます。

1. 指定等文化財

（1）指定等文化財の件数

あま市の指定等文化財は、国指定等が 6 件、県指定が 11 件、市指定が 15 件、国登録が 2 件、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）が 1 件です。指定の割合を見ると、市指定が最も多い状況です。類型ごとの割合でみると、有形文化財が 23 件で、そのうち美術工芸品が 19 件と多くを占めているのが特徴です。なお、最も多いのは彫刻で 6 件です。数量の多さで見ると彫刻（6 件）、工芸品（5 件）、無形の民俗文化財（5 件）が上位 3 つとなっています。無形文化財、民俗文化財、記念物などと比較すると、有形文化財に偏っています。

民俗文化財のうち、無形の民俗文化財で、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に「尾張西部の子供ザイレン」と、市の指定文化財でもある「尾張西部のオコワ祭」の 2 件が選択されています。「尾張西部のオコワ祭」は、「下之森オコワ祭」として、市指定文化財に計上しています。その他、文化財の保存技術の選定はありません。

あま市指定等文化財一覧

類 型			国指定 ・選定	県指定	市指定	国登録	国選択	合計
有形文化財	建造物		2	0	0	2	－	4
	美術工芸品	絵画	2	2	0	0	－	4
		彫刻	2	2	2	0	－	6
		工芸品	0	2	3	0	－	5
		書跡・典籍	0	1	1	0	－	2
		古文書	0	0	1	0	－	1
		考古資料	0	0	0	0	－	0
		歴史資料	0	0	1	0	－	1
無形文化財			0	0	0	0	－	0
民俗文化財	有形の民俗文化財		0	0	1	0	－	1
	無形の民俗文化財		0	0	4	0	1※	5
記念物	遺跡		0	0	2	0	－	2
	名勝地		0	1	0	0	－	1
	動物・植物・地質鉱物		0	3	0	0	－	3
	文化的景観			0	－	－	－	－
伝統的建造物群			0	－	－	－	－	0
合計			6	11	15	2	1※	35

令和 6（2024）年 8 月現在

※「尾張西部のオコワ祭」は、市指定の無形の民俗文化財に計上

（２）類型ごとの文化財

次に、類型ごとに指定されている文化財を見ていきます。

① 建造物

国指定は、「^{じもく じなんだいもん}甚目寺南大門」、「^{じもく じ}甚目寺（^{さんじゅうのとう ひがしもん}三重塔／東門）」で、いずれも甚目寺の建造物です。南大門はあま市に現存する最古の木造建造物で、源頼朝の命をうけた^{かじわらかげとき}梶原景時が建久 7（1196）年に建立したと伝わっています。三重塔と東門の建立はいずれも寛永年間（1624-1644）ですが、三重塔は室町時代の様式、東門は桃山時代の様式を伝える貴重な文化財です。

国登録文化財は「^{じつじょう じ ほんどう}實成寺本堂」、「^{さんもん}實成寺山門」の 2 件です。實成寺（^{ななかや つ}甚目寺地区中萱津）は元応元（1319）年創建の寺院で、本堂は江戸前期、山門は江戸中期に改修されたと考えられます。

② 美術工芸品

絵画は、国指定は甚目寺の「^{けんほんちやくしよく ふ どうそんぞう}絹本 著 色 不動尊像」、「^{ぶつね ほんず}絹本 著 色 仏涅槃図」の 2 件があります。県指定は、^{れんげ じ}蓮華寺（美和地区蜂須賀）の「^{こんごうかいおよ び たいざうかいまん だら}金剛界及び胎藏界曼荼羅」と、甚目寺の^{たっちゅう}塔頭の 1 つである^{しや かいん}釈迦院（甚目寺地区甚目寺）の所蔵で、復古大和絵派を創始した尾張出身の絵師^{たなかとつげん}田中訥言が描いた「^{かつこうず}郭公図」、「^{ほうき が まず}箒に蝦蟇図」、「^{き がんず ふすま}帰雁図 襖」の 3 点から成る「^{た なかとつげん が せき}田中訥言画蹟」の 2 件です。なお「絹本著色不動尊像」は、平安時代後期の作とされ、愛知県内に伝わる最古の仏教絵画と言われています。

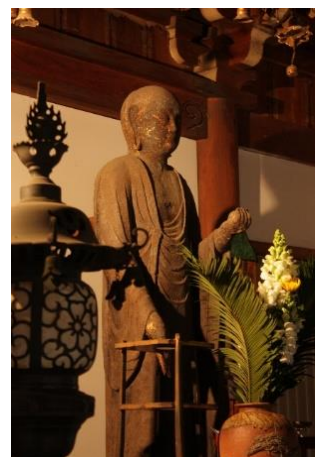
彫刻は、国指定は、法蔵寺（美和地区中橋）の「^{てつぞう じ ぞう ぼ ざつ}鉄造地蔵菩薩立像」と甚目寺の「^{もくぞうあいぜんみょうおう ざ ぞう}木造愛染明王坐像」です。「鉄造地蔵菩薩立像」には寛喜 2（1230）年 8 月の銘があり、銘のある鉄地蔵としては国内でも最古級と言われています。一説には戦国武将の^{はちす}蜂須賀正勝が桶狭間合戦の戦勝祈願のために戦場へ持参しようとするも、あまりの重さに耐えきれず、この中橋の地に安置し、戦場へ向かったと伝わっています。



▲ 甚目寺三重塔



▲ 絹本著色不動尊像



▲ 鉄造地蔵菩薩立像

「木造愛染明王坐像」は、かつて甚目寺三重塔内に安置されて
いました。平成 22（2010）年度の調査で、胎内から合子（球体）
が見つかり、中に小型の木造愛染明王坐像が納められていました。
当時、大変貴重な発見として注目されました。

県指定は蓮華寺（美和地区蜂須賀）蔵で如来像の一部である
「木造仏頭」と、甚目寺の南大門内にある「木造仁王像」です。
仁王像はどちらも慶長 2（1597）年に清須城主の福島正則が奉納
したことが、その墨書からわかっています。市指定は普明院（美
和地区花長）の「金銅阿弥陀如来立像」と蓮華寺の「二十五菩
薩面」です。

工芸品は、県指定の「瑞花双鸞八稜鏡」と、建武 4（1337）
年の銘をもつ「梵鐘」で、どちらも甚目寺の所蔵です。市指定は
3 件あり、法光寺（七宝地区桂）の元和 4（1618）年製造の「梵
鐘」と、廣濟寺（七宝地区桂）の宝暦 11（1761）年に製造された
「雲版」です。そして七宝焼アートヴィレッジ所蔵の「間取り花
鳥文大花瓶」は、明治 30（1897）年前後に七宝地区遠島で制作さ
れたもので、同館所蔵品でも最大級の大花瓶であり、当時の七宝
職人の技術の粋を集め制作された貴重な文化財です。

書跡・典籍は、県指定の蓮華寺所蔵の「法華経紫紙鎌倉版」と、市指定の「誹諧相伝
名目」で、合わせて 2 件です。

古文書は、市指定の「徳川家康筆 徳政免除證文」が 1 件あり、また、歴史資料は、市
指定の「尾州海東郡富塚村御縄打水帳」が 1 件あります。これら市指定の書跡・典籍、古
文書、歴史資料は、3 件いずれも美和歴史民俗資料館が所蔵しています。

③ 民俗文化財

有形の民俗文化財は、市指定の「甚目寺説教源氏節人形
および正本 附 その関連資料」の 1 件で、その内訳は人形
18 体、正本 81 冊、音源テープ 5 点、紙媒体（冊子・ポスター）
11 点、写真 161 点です。なお明治から昭和にかけて隆盛を
極めた説教源氏節は、昭和 50 年代に後継者が途絶え消滅しま



▲ 木造愛染明王坐像



▲ 二十五菩薩面



▲ 甚目寺説教源氏節人形

したが、これらの資料は再興の可能性を持つものとして評価されます。

無形の民俗文化財は、市指定の「^{こう ものまつり}香の物祭」、^{しものもり}「下之森オコワ祭」、^{まつり}「^{き だ はちけんしゃ ゆ はなしんじ}木田八剣社湯の花神事」、^{にじゅうご ぼさつ ね}「二十五菩薩お練り供養」の4件です。

^{かやづ}萱津神社（甚目寺地区上萱津）の「香の物祭」は、熱田神宮に奉納する漬物を漬けこむ神事で、全国でも珍しい神事です。七宝地区下之森に古くから伝わる「^{しんせん}下之森オコワ祭」は、特殊神饌であるオコワを石に打ち付け、餅状になったオコワを参拝者が奪い合うなど、^{あいさいししよばた}尾張西部一帯で伝承されてきた祭ですが、現在では愛西市勝幡の勝幡神社と七宝地区下之森の八幡神社の2か所に残るのみとなっています。



▲ 香の物祭

美和地区木田の八剣社で行われる「湯の花神事」は、地面を掘り下げてクド（かまど）を築き、5つの湯釜を据えて沸かしたお湯を飲んで無病息災を祈願します。^{れんげじ}蓮華寺（美和地区^{はちすか}蜂須賀）で行われている「二十五菩薩お練り供養」は、慶長13（1608）年から行われていると伝わっており、25の菩薩が現世に現れ、民衆を極楽浄土へ導く様子を再現する行事です。



▲ 下之森オコワ祭



▲ 木田八剣社湯の花神事



▲ 二十五菩薩お練り供養

また、記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財として選択されている文化財は、「尾張西部の子供ザイレン」と「尾張西部のオコワ祭」の2件があります。

「尾張西部の子供ザイレン」は、あま市においては、どこも実施されていませんが、唯一、美和地区^{とみつか}富塚の「提灯灯し」が部分的に、その名残を留める程度であります。7月下旬の夜に、小中学生が中心となって神社の拝殿等に提灯を飾り、「提灯くべたで見に来てちょーよ」の掛け声で地域内を練り歩きます。その後、境内に築いた土俵で子供相撲を行うなど、子供ザイレンの一端を今に伝え残しています。また、「尾張西部のオコワ祭」は、あま市では、市指定文化財の「下之森オコワ祭」が該当します。

④ 記念物

遺跡は、市指定の「甚目寺境内地」と「七宝焼原産地道標」の2件で、甚目寺本堂の建替による発掘調査では、建物跡^{のきまるがわら}の他、軒丸瓦や土器などが出土しています。「七宝焼原産地道標」は佐屋路^{さやじ}から七宝地区^{とおしま}遠島にある七宝焼^{かまもと}の窯元に入る目印、道標として明治28（1895）年に建立されました。

名勝地は、県指定の「蓮華寺庭園」1件で、庭園を含む一帯は愛知県自然環境保全地域です。

動物・植物・地質鉱物は、県指定天然記念物である、「下萱津^{しもかやづ}の藤」、「遠島八幡神社のらかんまき」、「蓮華寺のかやの木」の3件です。



▲ 下萱津の藤

⑤ まとめ

このように見てみますと、あま市における指定等文化財は寺院や信仰に関係するものが多数を占めていることが分かります。また、国指定有形文化財についていえば、法蔵寺（美和地区中橋）の「鉄造地藏菩薩立像」以外は全て甚目寺所蔵となります。

県指定文化財についても11件中、甚目寺3件と蓮華寺（美和地区蜂須賀）5件で半数以上を占めています。甚目寺と蓮華寺



▲ 甚目寺境内地全体

の歴史が長く、同時に地域で厚く信仰されてきた故に、寺宝なども大切にされてきたのでしょう。そのため、「甚目寺南大門」や「絹本著色不動尊像」など平安・鎌倉時代^{さかのぼ}まで遡る貴重な文化財が今も残されていると考えられます。また、寺院が長く保護されてきた結果が、「甚目寺境内地」や「蓮華寺のかやの木」の記念物指定に結びついていると考えられます。愛知県自然環境保全地域に指定されていることから、文化財に限らず境内全体を含めた蓮華寺全体の保存が良好なことがわかります。

寺院ゆかりの有形文化財以外では、有形の民俗文化財「甚目寺説教源氏節人形および正本附その関連資料」や「香の物祭」をはじめとした無形の民俗文化財が残っていることも注目されます。オコワ祭の伝承されている地域が現在ではごくわずかなことを踏まえても、あま市の

民俗文化財は貴重であると思われます。地域の人々の連綿とした取組の結果だと言えるでしょう。

文化財の地理的な傾向を考えてみますと、甚目寺や蓮華寺（美和地区蜂須賀）所蔵の文化財が多いため、東西のこの2か所に偏っている傾向があります。一方で、年代の傾向としては、平安時代の「絹本著色不動尊像」があると同時に「七宝焼原産地道標」のような明治時代の文化財も指定されており、幅広い年代であることがうかがえます。古い歴史文化だけでなく、七宝焼や甚目寺説教源氏節など新たな文化が生まれ続けたことが、あま市の1つの特徴であると考えられます。

あま市の指定等文化財一覧

※M=明治、S=昭和、H=平成、R=令和

No.	類 型	名 称	指定等	指定等年月日	所 在
1	建造物	甚目寺南大門	国指定	M33. 4. 7	甚目寺東門前 24
2	建造物	甚目寺（三重塔/東門）	国指定	S28. 11. 14	甚目寺東門前 24
3	美術工芸品（絵画）	絹本着色不動尊像	国指定	M34. 3. 27	東京国立博物館（寄託）
4	美術工芸品（絵画）	絹本着色仏涅槃図	国指定	M34. 3. 27	京都国立博物館（寄託）
5	美術工芸品（彫刻）	鉄造地藏菩薩立像	国指定	S46. 6. 22	中橋郷中 43
6	美術工芸品（彫刻）	木造愛染明王坐像	国指定	H24. 9. 6	名古屋市蓬左文庫（寄託）
7	美術工芸品（絵画）	金剛界及び胎藏界曼荼羅	県指定	S33. 3. 29	蜂須賀大寺 1352
8	美術工芸品（絵画）	田中訥言画蹟	県指定	S33. 6. 21	甚目寺東門前 24
9	美術工芸品（彫刻）	木造仏頭	県指定	S33. 3. 29	蜂須賀大寺 1352
10	美術工芸品（彫刻）	木造仁王像	県指定	S33. 6. 21	甚目寺東門前 24
11	美術工芸品（工芸品）	瑞花双鸞八稜鏡	県指定	S40. 5. 21	甚目寺歴史民俗資料館（寄託）
12	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	県指定	S40. 5. 21	甚目寺東門前 24
13	美術工芸品（書跡・典籍）	法華経紫紙鎌倉版	県指定	S33. 3. 29	蜂須賀大寺 1352
14	名勝地	蓮華寺庭園	県指定	S40. 5. 21	蜂須賀大寺 1352
15	動物・植物・地質鉱物	下萱津の藤	県指定	S29. 3. 12	下萱津未見取 1130-42
16	動物・植物・地質鉱物	遠島八幡神社のらかんまき	県指定	S30. 6. 3	七宝町遠島宮西
17	動物・植物・地質鉱物	蓮華寺のかやの木	県指定	S33. 6. 21	蜂須賀大寺 1352
18	美術工芸品（彫刻）	金銅阿弥陀如来立像	市指定	H3. 12. 11	美和歴史民俗資料館（寄託）
19	美術工芸品（彫刻）	二十五菩薩面	市指定	H28. 2. 25	蜂須賀大寺 1352
20	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	市指定	H8. 2. 1	七宝町桂郷内 1608
21	美術工芸品（工芸品）	雲版	市指定	H12. 11. 1	七宝町桂寺附 1679
22	美術工芸品（工芸品）	間取り花鳥文大花瓶	市指定	H27. 1. 27	七宝町遠島十三割 2000
23	美術工芸品（書跡・典籍）	誂諧相伝名目	市指定	H1. 11. 10	美和歴史民俗資料館
24	美術工芸品（古文書）	徳川家康筆 徳政免除證文	市指定	S60. 11. 8	美和歴史民俗資料館
25	美術工芸品（歴史資料）	尾州海東郡富塚村御縄打水帳	市指定	S62. 2. 2	美和歴史民俗資料館
26	有形の民俗文化財	甚目寺説教源氏節人形および正本 附その関連資料	市指定	H31. 1. 24	甚目寺歴史民俗資料館
27	無形の民俗文化財	香の物祭	市指定	S60. 4. 22	上萱津車屋 19
28	無形の民俗文化財	下之森オコワ祭※	市指定	H24. 10. 22	七宝町下之森屋敷 662
29	無形の民俗文化財	木田八剱社湯の花神事	市指定	H24. 10. 22	木田宮東 16
30	無形の民俗文化財	二十五菩薩お練り供養	市指定	H28. 2. 25	蜂須賀大寺 1352
31	遺跡	甚目寺境内地	市指定	S59. 3. 1	甚目寺東門前 24
32	遺跡	七宝焼原産地道標	市指定	H12. 11. 1	七宝町安松南辻田 2540
33	建造物	實成寺本堂	国登録	H17. 2. 9	中萱津南宿 254
34	建造物	實成寺山門	国登録	H17. 2. 9	中萱津南宿 254
35	無形の民俗文化財	尾張西部の子供ザイレン	国選択	H29. 3. 3	美和地区富塚

令和6（2024）年8月現在

※選択文化財である「尾張西部のオコワ祭」（選択年月日 H19. 3. 7）は、市指定文化財の「下之森オコワ祭」が該当

あま市の指定等文化財の分布図



※以下の文化財は市外の博物館等に寄託しており、地図上に示していない。

- ・絹本着色不動尊像 (国指定/東京国立博物館)
- ・絹本着色仏涅槃図 (国指定/京都国立博物館)
- ・木造愛染明王坐像 (国指定/名古屋市蓬左文庫)

2. 未指定文化財

あま市には包蔵地より出土した埋蔵文化財、寺社の建造物や灯籠^{とうろう}あるいは伝承などと結びついた石碑、産業の中心となった工芸品やその技術など、文化財保護法や条例による指定等文化財ではなくとも、あま市の歴史文化を刻んできた未指定文化財を、令和6（2024）年8月現在 1,045件把握しています。類型ごとの件数は、以下の一覧表のとおりです。

あま市の未指定文化財の特徴としては、建造物の多くが寺院の本堂あるいは神社の社殿等であり、美術工芸品の絵画や彫刻においても仏画や仏像等がその大半を占めているように、古くより各地域で信仰されてきたものであることがわかります。また工芸品の多くは、七宝焼アートヴィレッジ所蔵品で、尾張七宝の作品群となっています。

あま市の未指定文化財一覧

類型			合計
有形文化財	建造物		124
	美術工芸品	絵画	99
		彫刻	211
		工芸品	215
		書跡・典籍	18
		古文書	61
		考古資料	3
		歴史資料	169
無形文化財			9
民俗文化財	有形の民俗文化財		17
	無形の民俗文化財		41
記念物	遺跡		18
	名勝地		1
	動物・植物・地質鉱物		40
文化的景観			19
合計			1,045

令和6（2024）年8月現在

(1) 有形文化財

① 建造物

建造物は、神社の有する社殿・舞殿をはじめ、寺院の本堂や諸堂はもちろん庫裏といった付属施設などが該当します。あま市をはじめ尾張平野一帯に甚大な被害をもたらした明治 24 (1891) 年の濃尾地震により、市内寺社の建造物は多くが倒壊しており、その後の風水害による被害もあり、あま市の寺社の建造物の多くは昭和初期以降の建立と考えられます。ただし、なかには蓮華寺（美和地区蜂須賀）の仁王門のように江戸時代から変わらず、その姿を今に伝える建造物もあります。

また、昭和 11 (1936) 年建立の「七宝小学校講堂」は木造であり、床板や窓枠など近年改良されるも、その他は建設当初の姿を今に留めています。また同校及び美和小学校の正門も昭和初期の赤レンガ造と、今では見ることができない貴重な建造物の 1 つです。



▲ 七宝小学校講堂

② 美術工芸品

絵画は、寺院が所蔵する仏画があります。光明寺（甚目寺地区中萱津）所蔵の「絹本著色仏涅槃図」は、萱津の千木下長者の母が、釈迦の入滅を悲しむ弟子や動物たちの中にまぎって手を合わせる姿が描かれています。順正寺（七宝地区下之森）の「親鸞聖人御影」は、その裏書によれば天正 9 (1581) 年に本願寺教如より同寺良俊に与える旨が記されるなど、本図の来歴が分かるもので、いずれもあま市を代表する貴重な美術品です。

彫刻は、寺院の所蔵する仏像があります。阿弥陀寺（美和地区東溝口）の「木造聖観音立像」は、胎内に奉納者名を記した紙片、頭髮などが納められており、人々の厚い信仰心を感じることができます。薬師堂（美和地区二ツ寺）の「木造阿弥陀如来坐像」、「木造十二神



▲ 親鸞聖人御影

しょう
将」など来歴は不明ながらも貴重な仏像です。

また、路傍には「地藏尊像」や「馬頭観音像」といった石仏も多く所在しているほか、旧道には通行人への道標や、その役割を担ってきた石仏も残されています。

工芸品は、七宝焼があります。七宝焼アートヴィレッジの所蔵品のなかでも、特に尾張七宝を語るに欠かせない作品が中心です。今後は、その高い技術力のみならず、国内はもとより海外に販路を築いた先人の功績など、尾張七宝が世に出されるまでの歴史や、それを支えた人々など、その背景も併せて伝え広める必要があります。

書跡・典籍は、蓮華寺（美和地区蜂須賀）が所蔵する密教に関する經典類があります。書跡・典籍の多くは市内に点在する寺院が所蔵するものです。

古文書は、「法性寺縁起」^{ほっしょうじ}、「甚目寺古誌記一卷」^{ぼとう}、「福島正則書状」^{ふくしままさのり}、「織田信雄判物」^{おだのぶかつはんもつ}など、寺院で所蔵している資料や、あま市に縁のある戦国武将に関連した資料があります。

考古資料は、弥生時代から中世の土器を中心に瓦などが集落跡や寺院跡、遺物散布地から出土しています。なかでも甚目寺遺跡より出土した「単弁蓮華文軒丸瓦」^{たんべんれんげ もんのきまるがわら}は、甚目寺創建時を物語る貴重な史料です。

歴史資料は、菊泉院^{きくせんいん}（美和地区二ツ寺）が所蔵する「福島正則公の肖像画」をはじめとした関連資料があります。また、七宝地区下之森にある八幡神社に残る33枚の「棟札」^{むなふだ}は、慶長から昭和26（1951）年までの神社の維持管理に留まらず、時々々の村の様子を紐解く史料です。

（2）無形文化財

あま市で守り伝えられてきた技術、主に産業は、明治以降に七宝地区遠島^{とおいしま}を中心に発展した七宝焼の技術と、昭和初期以降に甚目寺地区西今宿で盛んになった刷毛製造の技術があります。

（3）民俗文化財

① 有形の民俗文化財

美和歴史民俗資料館・甚目寺歴史民俗資料館で収蔵される農機具及び多様な生活道具類は、当地域を物語るもので、先人たちの暮らしを偲ぶことができる唯一無二のものです。また美和地区の木田八剱社湯の花神事で使用する5つの湯釜や、各地区で所有する神楽、山車及びそれに関わる道具類などがあり



▲ 田の草取りをする風景

ます。

② 無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、今も各地域で行われる「^{てんのう}天王様迎え」があります。これは田植え後に、稲に虫がつかないように、あるいは地域に疫病が入り込まないように、津島神社のお札を 75 日間ほど（各地域によって^{まつ}祀る期間は違う）地域内に祀る風習です。また特定の地域にはありますが^{かわば}河葉神社（七宝町川部）の「^{がしや}歩射」や蓮華寺（美和地区蜂須賀）の「花のとう」なども、市内で長く執り行われる行事です。



▲ 蓮華寺の花のとう

各地域の小学生を中心に、神社の秋祭りに行われる「子供獅子」は、今も市内各所で目にすることができます。七宝地区^{なまずばし}鯰橋の子供獅子は、熊野神社を起点に、獅子頭を携えた子どもたちが「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声とともに神楽屋形（近年に復活）と一緒に地域を廻り各家より志を集めます。また神楽太鼓を継承する地域も甚目寺地区本郷の本郷神楽太鼓と七宝地区沖之島の沖之島文久神楽太鼓保存会があり、その伝統を守り続けています。

食文化は、その多くが尾張地方に共通したものであり、あま市独自のものはありません。昔より自家で生産されてきた^{そさい}蔬菜はもとより、川で捕れる魚などは貴重なたんぱく源でした。かつては7月中下旬の^{みずおと}水落しの際に捕れるモロコを押し寿司にするとともに、小ブナ（ハエあるいはシンバエとも呼んだ）もモロコ同様、押し寿司にして食べました。また稲の刈上げ後に行う用水のカイドリではナマズやコイ、フナなどがたくさん捕れ、フナは尾張地方で広く食べられているふなみそに、ナマズは^{かぼやき}蒲焼として食されました。

また、戦後まで、どこの家でもニワトリを飼っており、卵や鶏肉は食されていましたが、鶏肉は特別な日、あるいは^{おおみそか}大晦日の晩に食す「^{なべ}ひきずり鍋（ネギと鶏肉のすき焼き）」でしか口にすることはできませんでした。



▲ もろこずし



▲ ふなみそ



▲ ひきずり鍋を食す様子

出典：農林水産省 Web サイト

(https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/index.html)

(4) 記念物

① 遺跡

遺跡は、阿弥陀寺遺跡や森南^{もりみなみ}遺跡などの弥生時代の遺跡や、あま市唯一の前方後円墳である二ツ寺神明社古墳といった古墳時代前期の遺跡、法性寺跡^{ほっしょうじ}や篠田廃寺^{しのだはいじ}といった古代寺院など複数の遺跡が所在しています。考古資料と同様、文字からはわからないあま市の歴史を知る手がかりであるといえます。

② 名勝地

名勝地は、萱津神社（甚目寺地区上萱津）の社叢があります。この地は近世以降に定められた尾張八景のひとつです。また平地が多く自然林の少ないあま市においては、ここは貴重な林であり、人々が自然と触れ合える場として、さらには動物、昆虫などの生息地として、周辺域の生態系を維持することにおいても重要な場所です。

③ 動物・植物・地質鉱物

野生動物は、近年、目撃情報は少なくなりましたが、キツネやタヌキが生息しています。また、かつてあま市には木曽川水系の下流域の様々な魚類が存在したと推測されますが、昭和40年代以降、用水のパイプライン化や水路の護岸整備により生息場所が減少し、外来種の増加もあいまって、種類が少なくなったと考えられます。



▲ ナゴヤダルマガエル

近年の簡易な調査ではナマズ、フナ、オイカワ、モツゴ、カワバタモロコ、ヨシノボリ、ミナミメダカ、ドジョウ、カワエビ、ヌマエビ、ナゴヤダルマガエル、トノサマガエル、ヌマガエルといった在来種を確認しています。

鳥類は、こうした小型の魚類やカエルなどを餌とするサギ類、カワウなどでキジやカワセミはその個体数を減らしながらも今も見ることができます。

植物については、市内に手つかずの自然は残されておらず、河川の堤防はもとより水田の畔^{あぜ}も含め、繁茂している植物の多くは帰化植物であると考えられます。

（５）文化的景観

文化的景観は、蓮華寺（美和地区蜂須賀）にある蜂須賀山（高さ 10.8m）があります。平地しかないあま市においては唯一の山であり、自然に形成されたものでは最も高い場所になります。そのほか、市内を南北に貫く河川や、縦横に走る用排水路なども、あま市の文化的景観といえます。

第3章 あま市の歴史文化の特性

第1章、2章で見てきたように、あま市の自然的な環境や社会的な現況、歴史的な背景を基にそれらと深く結びついた文化財について特徴を整理すると、「低地ゆえの水争い」、「水田に起因する景観と信仰」、「戦国に生きた人々の足跡と伝承」、「技の継承 刷毛・蔬菜・芸能」、「地域の発展のために 海外移民」の5つの特性を見出すことができます。

あま市の歴史文化に見出される5つの特性



1

低地ゆえの水争い



2

水田に起因する景観と信仰



3

戦国に生きた人々の足跡と伝承



4

技の継承 刷毛・蔬菜・芸能



5

地域の発展のために 海外移民

1. 低地ゆえの水争い

木曽川のもたらした肥沃な土壌とその清き流れの恩恵を受け、米所として栄えたあま市は、低地ゆえに水害を被ることも多く、人々は長く水との闘いを余儀なくされてきました。水利については五^ご条^{じょう}川、福^ふ田^た川、大^お江^{おえ}川、目^む比^く川の各河川より杣^{いり}を通して引き込まれた水は、市内を縦横に走る用水路を伝って田に供給されました。江戸時代には、各村の田への水入りは必ずシモ（南）の地域からカミ（北）の地域と尾張藩により決められており、この原則が破られない限りは村同士の争いに発展することはなかったといえます。



▲ 五八悪水記念碑

その一方で、排水問題はあま市にとっては大きな悩みの種でもありました。勾配が無い土地ゆえ自然排水が困難で、潮の満ち引きに頼るしかなく、満潮と大雨が重なると水害を引き起こしやすく、なかでも享和元（1801）年の大雨による排水問題は市の西部、津島街道をはさんだ北の8か村と南の5か村による大規模な水争いに発展し、最終的には清洲代官の仲裁にまで至りました。その詳しい経緯は天保8（1837）年建立の「五^ご八^{はち}悪^{あく}水^{すい}記^き念^{ねん}碑^ひ」に刻まれています。またこうした排水問題は市内の各所でも見られ、村同士の水争いに関する記録は近世の古文書で知ることができます。

2. 水田に起因する景観と信仰

あま市に古くから見られる土地利用法の1つに「島^{しま}畑^{ばた}」があります。一説には、水田の水持ちを良くするために、田の土を掘って、その土で畑をつくるものです。おもに平野部の低地に見られる土地利用法で、昭和初期まで市北部を除く全域に存在していました。戦後の耕地整理や土地改良で多くが姿を消し、現在は甚^に目^し寺^じ地区^{ちく}西^し今^い宿^{じゅく}や美^み和^わ地区^ち富^と塚^{づか}、七^{しち}宝^{ほう}地区^ち遠^{えん}島^{じま}などに僅かに残るのみとなりました。



▲ 美和地区富塚の島畑

また、豊かな水と自然によって営まれてきた人々の生業は田の風習と結びつき、様々な信仰を生み出しました。今も伝承されているものに「天^{てん}王^{わう}様^{よう}迎^{むか}え」があります。田植え後、稲に虫がつかないように、また地域で病が流行らないよう集落の中央付近に小^{しょう}祠^しを設置し、そこに津島神社の御札を75日間ほどお祀りするものです。同時に地域の入口となる四^し辻^{つじ}に、小竹に括り

付けたワジメと呼ばれるしめ縄を道の両側に立て地域に疫病が入り込まないようにします。ただし近年、地域によっては米作から麦作への転換により、天王様迎えを実施しない地域もできました。

3. 戦国に生きた人々の足跡と伝承

豊臣秀吉の配下の武将として活躍した美和地区^{はちす か}蜂須賀出身の蜂須賀正勝^{まさかつ}や美和地区^{ふた つ であ}二ツ寺出身の福島正則^{ふくしまさのり}のほか、清須城主である斯波氏^{しば し}に仕え、甚目寺地区^{に いや}新居屋に居を構えた赤林孫七郎^{あかばやし まごしちろう}、七宝地区^{おきのしま}沖之島出身の初代加賀藩主前田利家^{としいえ}の正妻「まつ（芳春院）^{ほうしゅんいん}」がいます。また、豊臣秀吉の義兄にあたる弥助^{やすけ}（のちに三好吉房^{みよしよしふさ}：犬山城主）と実姉で豊臣秀次の実母である「とも」は美和地区^{おと の こ}乙之子に居住していたという説もあります。こうした人物の生誕地をはじめ菩提寺、供養塔などが市内には点在します。



▲ 萱津合戦の碑

市の東部、甚目寺地区萱津には、天文 22（1553）年清須織田家と那古野織田家^{なごや}による合戦（萱津合戦）^{かや つ かつせん}が繰り広げられました。若き織田信長はこの合戦の勝利により、尾張統一への足掛かりを築いたと考えられています。ただ合戦は数刻^{すうこく}（2～3時間）のうちに終わったと『信長公記』^{しんちょうこうき}には記されています。

その他、同時代を生きた人物として、尾張初のキリシタンとされるコンスタンチノ（日本名不詳）の存在が知られています。コンスタンチノの詳細は地元には何も残されていませんが、ルイス・フロイスの『日本史』に「尾張の伝道師コンスタンチノは花正^{はなまさ}の出身」といった記述が随所に見られ、同書から、その人となりを知ることができます。

4. 技の継承 刷毛・蔬菜・芸能

長い間人々に受け継がれてきた技術も、その土地の歴史と文化を物語る文化財といえます。産業や農業、伝統芸能など様々な「技」が伝えられています。

産業では七宝町の名前の由来にもなっている七宝焼が広く知られていますが、大正時代以降、甚目寺地区^{にしいまじゆく}西今宿を中心に地場産業として刷毛製造が盛んになります。昭和



▲ 刷毛製造の様子

40年代には国内シェアの7割を占めました。

^{とくのうか} 篤農家も多く、^{そさい} 蔬菜栽培をはじめ野菜の品種改良を進め、^{きったなす} 橘田茄子、^{かやづかぼちや} 萱津南瓜、^{おわりふしなり} 尾張節成
^{きゅうり} 胡瓜など先人たちの努力により様々な伝統野菜が生まれました。

芸能の面では、明治から昭和初期にかけて尾張地方で流行した「^{じもくじせっきょうげん} 甚目寺説教源氏節」がありました。その人形や台本が一括して市の有形の民俗文化財になっています。また七宝地区^{なまずばし} 鯰橋の^{すみよしておど} 住吉手踊り保存会による手踊りは、地域の人々により長く守り続けられている伝統芸能のひとつです。



▲ 鯰橋の若衆による手踊り

5. 地域の発展のために 海外移民

海部津島地域の特徴の1つでもある海外移民は、あま市においては明治後期から北米（主にアメリカ合衆国）への出稼ぎが始まりました。昭和初期までに150名近い人々が海を渡り、^{かんなんしんく} 艱難辛苦の末に財を築き帰国する者、そのまま現地に残り大農場を経営する者も現れました。なかには志なかばに現地で病や事故により亡くなった方もおり、彼らを追悼する意からアメリカ在住の同郷衆により、生まれ故郷に供養碑が建立されています。



▲ 農場経営に携わる伊福出身の渡米者

また、移民者が多かったあま市南部の神社には帰米記念などと刻まれた鳥居や灯籠が存在します。さらに、昭和30年代には、篠田小学校のプール建設に際しても、同地区出身の在米者が多額の寄付をした例もあり、移民者の故郷を想う気持ちを知ることができます。



▲ 帰米記念と刻まれる灯籠（七宝町桂）

第4章 文化財に関する既往の把握調査

1. 既往の把握調査

旧3町合併前に実施したものも含め、あま市内の文化財に関する把握調査については、以下のような資料や報告書があります。

(1) 文化財に関する調査

地区	刊行物名	発行元	発行年
七宝	七宝町史	七宝町	昭和51(1976)年
	七宝町史 追録 壱号	七宝町郷土史研究会	昭和51(1976)年
	七宝町史 追録 貳号	同上	平成元(1989)年
	尾張西部のオコワ祭調査報告書	尾張西部のオコワ祭調査委員会	平成28(2016)年
	七宝資料集 林小傳治家文書1	七宝焼アートヴィレッジ	平成20(2008)年
	七宝資料集2 林小傳治家文書2	同上	平成21(2009)年
	七宝資料集3 七宝窯元 伊藤常三郎家文書	同上	平成22(2010)年
	七宝資料集4 七宝工下絵集 糸野忠三郎・伊藤常三郎家	同上	平成23(2011)年
	七宝資料集6 遠安工業補習学校資料	同上	平成25(2013)年
	七宝資料集7 塚本貝助文書	同上	同上
	七宝資料集10 七宝歴史講座資料1	同上	平成29(2017)年
	七宝資料集11 七宝技術研究会と『七宝前史』	同上	平成30(2018)年
	七宝資料集12 林貞七宝店資料よりみる戦後の尾張七宝産業界	同上	平成31(2019)年
	七宝資料集14 『日本七宝発達史』への取り組み	同上	令和3(2021)年
	七宝資料集15 尾張七宝史	同上	令和4(2022)年
美和	美和町史	美和町	昭和57(1982)年
	美和町史 人物一	同上	平成7(1995)年
	二・二六事件 甘粕事件 軍法会議裁判官 陸軍法務官 小川關治郎	同上	平成11(1999)年
	住友銀行名誉会長 堀田庄三	同上	同上
甚目寺	甚目寺町史	甚目寺町	昭和50(1975)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅰ 四反畑遺跡 清林寺遺跡 甚目寺町内の出土遺物	甚目寺町教育委員会	昭和58(1983)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅱ 愛知県海部郡甚目寺町 森南遺跡 発掘調査報告書	同上	平成2(1990)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅲ 地蔵と信仰	甚目寺町教育委員会	昭和61(1986)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅳ 甚目寺跡(南大門南)発掘調査概報	同上	昭和62(1987)年

地区	刊行物名	発行元	発行年
甚目寺	甚目寺町文化財調査報告書Ⅴ 尾張の支配者と赤林氏	同上	平成元(1989)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅵ 甚目寺遺跡	同上	平成5(1993)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅶ 大字の歴史と変化	同上	平成11(1999)年
	甚目寺町文化財調査報告書Ⅷ 甚目寺町の寺院～縁起と由来～	同上	平成12(2000)年
	仁王像修復記念 甚目寺観音展	仁王像修復記念 「甚目寺観音展」実行委員会	平成23(2011)年
	甚目寺説教源氏節人形調査報告書	あま市教育委員会	平成30(2018)年
全 域	愛知県民俗調査報告書4 津島・尾張西部	愛知県	平成13(2001)年
	愛知県の近代化遺産	愛知県教育委員会	平成17(2005)年
	愛知県の近代和風建築	愛知県教育委員会	平成19(2007)年

(2) 市内文化財の把握状況

市内の文化財について、文化財類型別、地区別の把握状況は以下のとおりです。

類型			七宝地区	美和地区	甚目寺地区
有形文化財	建造物		△	△	○
	美術工芸品	絵画	△	△	○
		彫刻	△	△	○
		工芸品	△	△	○
		書跡・典籍	△	△	○
		古文書	△	△	○
		考古資料	—	△	○
		歴史資料	△	△	○
無形文化財			●	●	●
民俗文化財	有形の民俗文化財		△	●	△
	無形の民俗文化財		●	●	●
記念物	遺跡		●	●	●
	名勝地		—	—	△
	動物・植物・地質鉱物		△	●	△
文化的景観			△	△	△
伝統的建造物群			—	—	—

◎：把握調査済 ○：一部把握調査未実施 △：把握調査未実施

●：文献、ヒアリングなどによる把握のみ —：対象なし

2. 市民意識調査、ヒアリング調査

(1) 市民意識調査

市民、特に若い世代の文化財に対する意識の把握や、未指定の文化財を把握するためアンケート調査を実施しました。

① 調査概要

	目的	調査対象	調査方法	調査期間	回収数
市民アンケート	広く市民の歴史文化に関する意識やあま市の文化財、歴史文化に関する意見を把握する。	あま市在住の 18 歳以上の市民 2,000 名 (無作為抽出)	・ 郵送による調査票の配布・回収 ・ オンラインによる回答	令和 4 (2022) 年 10 月 5 日～ 10 月 24 日	729 票 回収率 36.5%
中学生・高校生アンケート		【中学生】 あま市の中学校に通学する生徒 826 名	・ 学校を通じての配布依頼 ・ オンラインによる回答	令和 4 (2022) 年 10 月 6 日～ 10 月 17 日	769 票 回収率 93.1%
		【高校生】 あま市の高校に通学する生徒 504 名			429 票 回収率 85.1%

② 調査結果概要

市民アンケート	
今後の取組につながる点	・あま市の歴史文化を保存・活用することは重要と考える人が多い。 ・歴史文化に興味のある人は、6割弱で一定数いる状況。 ・あま市にも所在する寺社や古墳などの遺跡などに興味のある人が多く、また、城や戦国武将や自然景観への関心も高い。(※市内に所在するのは城址のみ) ・あま市の歴史文化として、七宝焼・醸造文化などの伝統産業や、市内に多数ある寺社を歴史あるものとしてイメージする人が多い。 ・20代、30代の若い世代で歴史文化に興味のうすい人が多い。 ・地域の祭り、学校での学習などからあま市の歴史文化に触れている人が多い。 ・継承していくために、参加してみたいこととして、祭りへの参加やSNSなどでの情報発信のほか、文化財の草刈りやゴミ拾いといった文化財の景観を守るボランティア活動や伝統産業の継承といった活動に意欲のある人が多い。
今後の取組で改善する点	・小学校や中学校での地域の歴史学習を記憶している人がおり、これまでの教育の成果がみられる。 ・市内の文化財について、認知度や興味関心のあるものに差があり、価値が正しく理解されていない文化財がある。 ・郷土芸能や地域の風習、文学などへの興味関心がうすい。 ・あま市の歴史文化を学習し、説明できるようになるといった文化財への正しい理解・普及に関する取組への意欲が低い。

中学生・高校生アンケート	
今後の取組につながる点	・城や古墳などの遺跡などに興味がある人が多く、戦国武将や自然景観、建造物への関心も強い。 ・七宝焼や味噌といった伝統産業や、寺社についての興味関心が強い人が多い。 ・中学生があま市の歴史文化に触れ合う機会は、祭りや学校の授業が主となっている。 ・祭りへの参加やマンガ・アニメなどを活用した歴史文化の保存・活用の取組に興味がある人が多い。
今後の取組で改善する点	・歴史文化に興味のある人は、中学生、高校生ともに5割程度である。 ・歴史文化について、中学生は難しいと感じており、高校生は、好きではないと感じている人が多い。 ・市内の文化財について、認知度や興味関心のあるものに差がある。 ・あま市の歴史文化に触れ合う機会として、高校生は、学校の授業もしくは特になくはない状況となっている。

(2) 市民ワークショップ

参加者とフィールドワークを実施し、七宝地区、美和地区、甚目寺地区の3地区に所在する文化財を見学しました。その上で、計画で重点的に取り上げるべき文化財や、活用アイデアについての提案をいただきました。

① 実施概要

目的	市民の視点から計画で重点的に取り上げるべき文化財や、保存・活用の取組アイデアを提案してもらうことで、意見を計画に反映するとともに、市民と協働する取組を検討する際の材料とする。
対象	あま市民、あま市の歴史文化に興味がある人
実施期間	1回目 令和5（2023）年7月2日（日）午前9時30分～12時 2回目 令和5（2023）年7月23日（日）午前9時30分～11時30分
参加者数	1回目 30名 2回目 20名
第1回	テーマ あま市の歴史文化の魅力をみつけよう 歴史ガイドボランティアとともに七宝、美和（戦国武将）、甚目寺の3コースに分かれ、フィールドワークを実施した。その後、コースごとに感想や魅力に思ったところを発表し共有した。
第2回	テーマ あま市の歴史文化の魅力を語り合おう 第1回で回ったコースを基にグループをつくり、グループワークを行った。あま市の文化財を一層活用していくための取組アイデアを考え、出た意見について、グループごとに発表し全体で共有した。

② 実施結果概要

主な提案
甚目寺…甚目寺内の文化財について詳しく知るための取組
・ 絵本などによる甚目寺の紹介 ・ 所有文化財等の魅力の紹介、発信
萱津神社や蓮華寺などその他の寺社…見て回りやすい、わかりやすくするための取組
・ 散策マップの作成 ・ 看板や案内パネルなどの設置 ・ ガイドの充実（音声ガイドも含む） ・ 蓮華寺にトイレの設置 ・ 御朱印スタンプラリー
清洲飛行場跡…飛行場跡がより想像しやすい、わかるような取組
・ V R等を活用した飛行場跡の再現
産業…新しいものとの連携などにより高付加価値化、産業振興、継承を図る
・ 刷毛産業と化粧品との連携による高付加価値化 ・ 産業をコンテンツとしたツアー等の計画 ・ 特産品のフェアなどの実施
情報発信…歴史文化を市内外の人へ広める
・ S N Sを活用した情報発信 ・ 広報を有効活用した情報発信
街道…市内に多い街道をあま市の歴史文化として活用する取組
・ 街道とレンタサイクルを活用した観光推進の取組
戦国武将等…人気があるものとの連携した取組や、縁の地同士で連携した広域での取組
・ 野球など人気のあるコンテンツとの連携した取組 ・ 武将に縁のある地域と広域で連携した歴史文化の活用 ・ 武将に縁の地でのスタンプラリーや、漫画を制作し、歴史文化に親しむきっかけの創出
治水・利水…昔からの治水・利水の歴史の理解を深める取組
・ 治水・利水についての学びの充実
その他
・ 食べ歩きと歴史文化の資源をめぐるツアーなど、歴史文化に親しむきっかけの創出 ・ 外国の方へ対応した看板等の作成、設置

(3) 関連団体、文化財所有者ヒアリング調査

文化財の関連団体や所有者に対し、ヒアリング調査を実施し、現況や保存・活用に関する取組、体制、課題などを把握しました。

① 調査概要

目的	関連している文化財について、実施している保存・活用に関する取組内容や体制、現在抱えている課題などを聞き取り、各文化財についての現況を把握する。	
実施期間	令和5（2023）年2月～3月	
調査対象	寺社	・ 甚目寺
	自然景観	・ 環境省希少野生動植物種保存推進員
	教育	・ 愛知県立美和高等学校（校長）
	伝統産業	・ 愛知県刷毛刷子商工業協同組合（製造者） ・ あま市七宝焼アートヴィレッジ
	伝統芸能	・ 甚目寺説教源氏節もくもく座
	地域の風習	・ 甚目寺地区西今宿（区長） ・ 美和地区金岩コミュニティ（会長）
	歴史文化を活用したまちづくり・市民協働	・ まちづくり活動団体（代表） ・ 学生まちづくり活動団体（代表）

② 調査結果概要

調査対象	調査概要	
寺社	つな が る 点 今 後 の 取 組 に	・ 市民が境内などを活用し、集まる仕組みがある。 ・ 文化財として国に指定等されているのは、地域住民として誇りに思っている。
	改 善 す る 点 今 後 の 取 組 で	・ 地域のイベントで人は集まるが、文化財への興味関心につながっていない。 ・ 駐車場などの観光インフラに問題がある。 ・ 防災・防犯対策が十分でない。 ・ 指定文化財などの保管環境として十分でない。 ・ 文化財に何か起きた時の責任が大きい。 ・ 保存していくための費用負担が大きい。
自然景観	つな が る 点 今 後 の 取 組 に	・ 水郷文化として、豊かな水に支えられている。 ・ もともとは水田も多く、水生の動植物が豊かな地域である。
	改 善 す る 点 今 後 の 取 組 で	・ 都市化や自然環境の変化により、動植物が減少している。 ・ 水田の減少とともに、田植えや稲刈り時の景観や、田植え饅頭など食の風習も失われている。

調査対象	調査概要	
教育	つな がる 点 今後の取組に	・ 小学校や中学校、高校と連携して地域の歴史文化を学ぶ授業を実施している。 ・ 愛知県立美和高等学校では、普通科改革の一貫として地域探求科の創設や、総合選択科目として地域探求があり、あま市の歴史文化を学ぶ機会がある。
	改善 する 点 今後の取組で	・ 現状では、学校でのあま市の歴史文化についての授業は、教員の認知度や意向によって差がある状況となっている。
伝統産業	つな がる 点 今後の取組に	・ あま市七宝焼アートヴィレッジは年間3万人程度の訪問者がある。 ・ あま市七宝焼アートヴィレッジは修学旅行などに対応できるため、全国の子どもに七宝焼を体験する機会を創出できる。 ・ 刷毛産業は出前授業を行っており、小学生へ認知を深めている。 ・ 刷毛産業は、既存の塗装用刷毛以外にも、工業用、料理用など他分野に対応するよう努めている。
	改善 する 点 今後の取組で	・ 伝統産業を担う人の高齢化が進んでいる。 ・ 七宝焼は市場規模が小さくなっており生計が立てづらいため、積極的な継承の促進が難しい。 ・ 技術の記録を促進していく必要がある。 ・ 若手を育成する教育機関がなく、就職先も少ない状況である。 ・ 市内に類似する産業施設などが少ないため、ターゲットを絞った市内を周遊する観光プランに組み込むのが難しい。 ・ 刷毛産業は伝統の製造法では、材料の入手が難しいものがある。 ・ 中国製の安価な刷毛に市場を奪われてしまっている。
伝統芸能	つな がる 点 今後の取組に	・ 毎年定期的に発表の機会がある。 ・ 子どもへの普及や聴覚に障がいのある方も楽しめるような新たな普及の工夫・取組を検討している。
	改善 する 点 今後の取組で	・ 芸能団体への新規加入者が少ない。 ・ 団体メンバーの固定化、高齢化が進んでいる。 ・ 情報発信が重要とは思っているが、広報活動まで手が回らない。 ・ 学校の取組では、あま市の伝統芸能や歴史文化についての教育について、教師の意向によって差が出ている。
地域の風習	つな がる 点 今後の取組に	・ 子供ザイレンなど地区独自の風習が今も継承されている。 ・ 防災など地域住民の関心が強いものと合わせて地域の寺社との関わりを強める工夫を行っている。
	改善 する 点 今後の取組で	・ 子どもの減少や自治会や子ども会への加盟者が減り、地域の風習を継承しにくくなっている。

調査対象	調査概要	
まちづくり・市民協働 歴史文化を活用した	つな がる 点 今後の取組に	・ 取組内容次第で、若い世代も積極的な参加・活動がある。 ・ 学校などを通じて、子どもの頃に体験型で文化に触れる機会があると楽しく興味を覚えやすい。
	改 善 する 点 今後の取組で	・ 歴史文化に触れる機会が少なく、歴史文化を活用したまちづくりにつながるような興味を持つきっかけが少ない。 ・ 合併により市域が広がったため、自分の地区以外の居住地域についての知識や関心が低い傾向がある。

第5章 文化財に関するこれまでの取組

1. あま市の文化財に対する取組

(1) 文化財の保護

あま市の文化財は、指定等文化財をはじめとして、所有者や管理者による保護・管理が行われています。また、郷土芸能団体による伝承活動が行われており、これらの保護・管理や活動に対し、あま市では一部経費の負担や補助金などの交付を行っています。令和元（2019）年度から令和4（2022）年度までの負担金、補助金の交付実績は以下のとおりです。

年度	経費の負担、補助金などの交付実績
令和元 (2019) 年度	・ 文化財等保存顕彰事業 あま市ゆかりの戦国武将の顕彰事業
令和2 (2020) 年度	・ 甚目寺建造物群防火・防犯設備修繕費の負担 国指定の文化財建造物に付随する防災設備の修繕、防犯カメラの設置 ・ 文化財等保存顕彰事業 あま市ゆかりの戦国武将の顕彰事業
令和3 (2021) 年度	・ 甚目寺建造物群防火・防犯設備修繕費の負担 国指定の文化財建造物に付随する防災設備の修繕、防犯カメラの設置 ・ 文化財等保存顕彰事業 あま市ゆかりの戦国武将の顕彰事業
令和4 (2022) 年度	・ 文化財等保存顕彰事業 あま市ゆかりの戦国武将の顕彰事業

(2) 文化財の防災対策

国指定の文化財建造物については、文化庁、愛知県の指導のもと、耐震や防火対策を行っています。直近では、令和2（2020）年度から令和3（2021）年度にかけて、甚目寺建造物のなかでも重要文化財に指定される南大門、三重塔、東門の防火・消火設備の改修と、防犯設備を新設しました。また、毎年文化財防火デーにおいて、甚目寺観音自衛団、あま市消防団、海部東部消防組合が連携し甚目寺観音にて消防訓練を合同で実施しています。消防訓練においては、甚目寺小学校の児童の見学など、次世代への文化財防災についての啓発も行っています。

平成10（1998）年に愛知県により文化財台帳が作成され、平成23（2011）年に更新されており、国・県・市指定の文化財について、基本情報を愛知県とあま市で共有しています。

（３）歴史民俗資料館、七宝焼アートヴィレッジにおける取組

あま市には、歴史民俗資料館として、美和歴史民俗資料館と甚目寺歴史民俗資料館の２館があります。また、あま市の伝統産業である七宝焼に関する複合的な施設として、七宝焼アートヴィレッジがあります。

美和歴史民俗資料館は、昭和 43（1968）年 4 月、美和町郷土館として開館しました。収蔵品の増加に伴い展示が困難となったため、昭和 58（1983）年、現在の位置に資料館を新築し、美和町歴史民俗資料館として開館しました。平成 22（2010）年 3 月、旧 3 町の合併によりあま市が誕生したことに伴い、あま市美和歴史民俗資料館に改称しました。



▲ 美和歴史民俗資料館

甚目寺歴史民俗資料館は、昭和 61（1986）年 11 月、甚目寺の南側にある甚目寺会館の 3 階に甚目寺町歴史民俗資料館として開館しました。美和歴史民俗資料館同様に、平成 22（2010）年 3 月の旧 3 町の合併に伴い、名称をあま市甚目寺歴史民俗資料館と変更し現在に至ります。



▲ 甚目寺歴史民俗資料館入口

七宝焼アートヴィレッジは、あま市の伝統産業である七宝焼についての複合的な施設として、平成 16（2004）年 4 月に七宝地区に七宝町七宝焼アートヴィレッジとして開館しました。歴史民俗資料館 2 館と同様に、平成 22（2010）年 3 月、3 町合併に伴う名称改変があり、あま市七宝焼アートヴィレッジとなりました。



▲ 七宝焼アートヴィレッジ

七宝焼アートヴィレッジは、七宝焼を「見て」・「触れて」・「学んで」・「体験」できる施設となっており、導入ゾーン・作品展示ゾーン・七宝焼体験ゾーン・動態展示ゾーンの 4 つのゾーンから成る七宝焼ふれあい伝承館があります。また、施設の外にはふれあい広場が広がっています。ふれあい伝承館では七宝焼の作品や道具の展示のほか、尾張七宝協同組合の職人が交代で実演や体験教室などを行っており、訪問者が七宝焼に実際に触れる機会を創出しています。また、館内にはショップがあり、七宝焼や関連商品を購入することができます。ふれあい広場には散策路が整備され、利用者や市民の憩いの場となっています。

① 展示

■ 美和歴史民俗資料館 ■

<1 階展示室>

「米づくりと昔の暮らし」、「郷土の歴史とくらしの道具」をテーマとした民具・農具といった民俗資料を中心に展示しており、大正時代のあま市の生活を再現した復元家屋も展示しています。

<2 階展示室>

美和地区で出土した弥生時代以降の考古資料や、神楽など祭礼道具を展示しています。また、大正 12（1923）年の甘粕事件や昭和 11（1936）年の二・二六事件を担当した陸軍法務官のおがわせきじろう小川關治郎に関する展示や、あま市出身の戦国武将らの肖像画をはじめ、合戦絵・武者絵を中心とした浮世絵などを展示する企画展を定期的で開催しています。

■ 甚目寺歴史民俗資料館 ■

甚目寺地区の歴史・民俗に関する資料を展示しています。甚目寺地区で実施された発掘調査による考古資料や室町時代の甚目寺観音のジオラマ、普段見ることのできない重要文化財である仏涅槃図・不動明王像の複製など、甚目寺観音に関する資料のほか、民具・農具などの人々の暮らしの道具、伝統的な祭礼や伝統芸能にまつわる資料などを展示しています。その他、定期的に企画展を開催しています。

■ 七宝焼アートヴィレッジ ■

常設展として、七宝焼について歴史から技法、作品まで総合的に閲覧できる展示を行っています。「七宝物語」、「七宝の魔術」、「美を求めて」、「職人の技」の4つのエリアを設け、それぞれ七宝焼の歴史の紹介、七宝焼の制作工程や制作道具の紹介、作品と七宝焼の技法の紹介、七宝焼の名品の紹介を行っています。その他季節ごとに七宝焼に関連する企画展などを開催しています。

② 資料の収集・保管

■ 美和歴史民俗資料館 ■

主に美和、七宝地区に関する江戸時代後期から近現代までの文書を中心に収蔵しています。あま市に関する歴史資料や記録・図書、市に関係する人物などの文書・記録・歴史資料、民俗芸能用具並びに儀礼・信仰関係用具、民俗事象を表す写真・映像・音源などの資

料、あま市の特色を示す衣食住に関する資料、農具・養蚕具・漁具、あま市はもとより尾張出身の画家、文化人の作品、市内遺跡より出土した考古資料などを収蔵・保管しています。

■ 甚目寺歴史民俗資料館 ■

主に甚目寺地区に関する近世以前の文書・近現代文書などを中心に、歴史資料や記録・図書、市に関する人物などの関連資料を収蔵しています。その他、甚目寺地区に関わるものを中心に、美和歴史民俗資料館と同様の文化財を収蔵しています。

■ 七宝焼アートヴィレッジ ■

七宝焼に関する資料等や道具、作品を収蔵しています。尾張七宝作品（江戸末期から平成まで）、あま市以外の地で制作された七宝作品、七宝制作に係る道具類、七宝焼に関する文書・近現代文書など、七宝焼に関する記録・図書、関係する人物などの文書・記録、民俗事象を表す写真・映像・音源などの資料を収蔵・保管しています。

③ 普及・教育

あま市の文化財の普及、啓発を目的とし、歴史文化に関する以下の講座を実施しています。

講座名		内容
生涯学習講座	歴史ガイド養成講座	甚目寺をはじめ、市の歴史文化を解説、案内するためのガイドを養成、育成する連続講座で、平成 23（2011）年より実施している。
	あま市ものしり検定	あま市の誕生以来継続して実施する事業。あま市ものしり読本をテキストに 4 択 50 問を出題するご当地検定である。これまで延べ 440 名が受検した。
	歴史文化 体験講座	郷土の食文化を学ぶ講座と、資料館の所蔵する江戸後期の古文書をテキストにした古文書解読講座や市内の遺跡などを訪ね歩く散策も年間を通じ実施する。
出前講座	七宝焼の歴史について	七宝焼の歴史を紹介し、あま市の伝統工芸である七宝焼についての認識を深める。
	あま市の歴史文化と文化財の紹介	あま市の歴史、遺跡、あま市に縁のある武将や偉人などを説明し、あま市の歴史文化と文化財の普及を推進する。

講座名		内容
出 前 講 座	写真で見るあま市の移り変わり	古い写真を通して、あま市の風景・お祭りなどその移り変わりを紹介する。
	地域とつながる生涯学習	生涯学習推進計画に基づく、生涯学習課の理念や目標を伝え、とともに、各種実施事業を解説する。
	ご当地検定で知ろう あま市の歴史と文化	あま市の歴史文化に関わるクイズを解きながら市の歴史文化を学習し、ものしり検定への参加を促進する。

④ 書籍・冊子などの発行

あま市の文化財の普及を目的とし、以下の冊子等を発行しました。（発行順）

甚目寺町で発行された冊子等	美和町・七宝町で発行された冊子等
・みてあるき（S59以降随時改訂） ・展示図録 土に埋もれた遺産（H4） ・展示図録 郷土と武将（H5） ・戦後50年 甚目寺飛行場（H7） ・改訂版 甚目寺むかしばなし（H9） ・展示図録 甚目寺町の移り変わり（H10） ・資料館だより（H10～21） ・展示図録 小関秋華展（H12） ・甚目寺の文化財（H15） ・展示図録 清林寺-幻の白鳳寺院-（H17） ・展示図録 近代和風建築（H19） ・展示図録 甚目寺町内の天王祭・祇園祭（H20） ・展示図録 萱津神社香物祭（H21） ・ハンセン病と小笠原登博士（H21）	・美和町の散策（S56） ・歴史への道^{他2部}（S59） ・展示図録 古文書解説（S63） ・平和の誓い（H1） ・寛政六年 蜂須賀村由来記（H2） ・町制35周年 今昔物語（H5） ・目で見える篠田悪水（H5） ・戦国武将のふるさと美和（H10） ・展示図録 海部津島のアメリカ移民（H13） ・（七宝町）身近な文化財（H17） ・美和町ものしり読本（H21）
あま市で発行された冊子等	
・ニュースレター（H23以降毎年） ・写本 尾張八丈第二巻（H23） ・文化財マップ（H23以降随時改訂） ・七宝資料集⁵ 博覧会資料（H24） ・あま市と戦国武将（H25） ・あま市ものしり読本 改訂版（H25） ・あま市ものしり読本ジュニア版（H26） ・展示図録 語り継ぎたい郷土の偉人（H26） ・展示図録 甚目寺説教源氏節展（H28） ・展示図録 あま市の文化財（H28） ・七宝資料集¹³ 遠島ゆかりの七宝窯元（R2） ・戦後75年 甚目寺飛行場 改訂版（R2） ・福島正則とあま市の戦国武将（R4）	

※S=昭和、H=平成、R=令和

（４）他部局との連携による取組

他部局と連携し、あま市の文化財に関する取組を推進しています。

担当課	取組内容
危機管理課	文化財防火デーの開催
	全国一斉に行われる文化財防火デーの一環として、甚目寺観音を対象に、甚目寺観音自衛団、あま市消防団及び海部東部消防組合と協力し合同訓練を実施している。
商工観光課	観光ルートマップの作成
	商工観光課及び観光協会と協力し観光ルートマップを作成している。

（５）地域との連携による取組

関連団体や学校と連携し、文化財の普及啓発を推進しています。

事業名	連携先	取組内容
出前授業	あま市立小学校	主に小学６年生を対象に授業の一環としてあま市の歴史を学ぶ講座を実施。
移動博物館		小学３年生を対象に、歴史民俗資料館の収蔵資料を使い、昔の暮らしと生活道具についての授業を学校で実施。

（６）広域連携の取組

以下の会と連携し、広域で文化財の保護や普及に取り組んでいます。

- ・ 愛知県博物館協会
- ・ 海部歴史研究会

第6章 文化財の保存・活用に関する将来像と目標

1. 文化財の保存・活用に関する将来像

あま市の歴史文化は、建造物や景観、工芸品など目に見えるものだけでなく、古くから継承されている各地域の祭祀や風習、食文化、地名や地形などに、あま市独自のものとして溶け込んでいます。これらは日常の中で当たり前に継承されてきましたが、近年、開発にともなう自然環境の変化や、社会潮流に対応した市民の生活スタイルの変化が起きています。また、地域コミュニティも希薄化し、あま市の歴史文化の中には、喪失の危機に瀕しているものがあります。

そのような中、あま市は市制施行10年を迎え、令和4（2022）年度に第2次あま市総合計画を策定し、将来像を「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」と掲げました。この将来像のもと、あま市に関わるすべての人が、それぞれの多様性を認め合い（共想）、多様な主体が一緒になってまちづくり（共創）を進めていくことにより、すべての人にとって“あま市”がずっと大好きなまちとなることを目指しています。

本計画では、総合計画で掲げた将来像に基づき、時代の潮流によって市民が多様化し、取り巻く社会や環境が変化しても、市民があま市の歴史文化を知り、それを自分たちの特性「あまらしさ」として認識し、互いにあま市民として共想することができることを目指します。そして、あま市特有の歴史文化「あまらしさ」を通じて愛着と誇りを醸成^{じょうせい}し、ともに歴史文化を活用したまちづくりをあま市全体で共創してゆくことを目指します。

以上のことを踏まえ、本計画の将来像は以下のように定めます。

将来像

「あまらしさ」が「すばらしさ」に

「あまらしさ」ってなに？

「あまらしさ」とは、あま市らしさの略語であり、あま市特有の歴史文化そのものを指します。さらにその歴史文化を育んできた、あま市の地形、地名、産業、偉人なども含めた広い範囲をも「あまらしさ」と定義します。

今後10年間、この「あまらしさ」という言葉が、市民に浸透し、その「すばらしさ」に気づき、「あまらしさ」が、地域の活力につなげられるようになることを目指します。

2. 将来像に向けての基本目標と方向性

将来像の実現に向け、まず、あま市を構成する七宝地区、美和地区、甚目寺地区の1つひとつの文化財の状況を把握し、未調査分野の文化財や歴史文化の調査・研究が必要です。

その上で、文化財や歴史文化の適切な保護・保存に努め、文化財の喪失を防ぎながら、それらを活用し、あま市の文化財や歴史文化の魅力を市民が認識することで、興味関心を持つきっかけをつくる必要があります。

以上の視点から、あま市への愛着が醸成され、市民にとって、「あまらしさ」が「すばらしさ」へと進展していくための各段階に沿った基本目標と方向性を以下のように定めます。

基本目標と方向性

基本目標 1	「あまらしさ」を把握し・守る
方向性(1)調査	あま市の歴史文化を構成する文化財を把握・整理する あま市の歴史文化を構成する資源調査を促進し、市内にある文化財やあま市の特徴を表す歴史文化について、所在場所や所有者、保存環境など、1つひとつの状態をしっかりと把握します。
方向性(2)保存	適切な手法・環境で文化財を保存する 把握した文化財について、その価値を適切に評価し、管理状況の改善や、防災、防犯環境の整備、記録の作成等を行い、消滅や散逸を防ぎます。
基本目標 2	「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用
方向性(3)普及	情報発信を充実し、歴史文化への興味を喚起する あま市の歴史文化の魅力について、子どもから大人まで幅広い市民が触れ、学び、知る機会をつくり、あま市の歴史文化に興味関心を持てるきっかけを創出します。
方向性(4)活用	あま市の歴史文化を身近なものとし、愛着を醸成する 歴史文化を活用したイベントや特産品の活用を通して、市民があま市の歴史文化を身近に感じる機会を創出し、市への愛着や誇りを育みます。

第7章 文化財の保存・活用に関する課題と方針

1. 文化財の保存・活用に関する課題

前章で示した将来像を実現するため基本的な方向性に沿って文化財の保存と活用を推進していくにあたり、現状から克服すべき課題を抽出し、以下に整理しました。

(1) 「あまらしさ」を把握し・守るために克服すべき課題

■ 調査に関する課題 ■

課題①	文化財の受け入れ環境を整備するため、歴史民俗資料館の収蔵資料を精査・整理する必要があります。
課題②	文化財を円滑に管理するため、記録や資料を一元化し、調査に伴うデータの修正や更新を容易にする必要があります。
課題③	歴史資料などの有形文化財や、市内の年中行事、その他の民俗文化財などの把握調査ができていないため、消滅・散逸する可能性があります。
課題④	未指定を含めた文化財調査をするための人材が不足しています。

■ 保存に関する課題 ■

課題⑤	保存環境が整備されていない指定文化財があり、災害や人災などによる損壊や、気候による劣化のおそれがあります。
課題⑥	防災・防犯面で適切な保存・管理ができていない文化財があります。
課題⑦	歴史民俗資料館の収蔵品を継続的・計画的に保管し収蔵スペースを確保する必要があります。
課題⑧	未指定の文化財のなかには、指定に値する文化財が多く含まれています。
課題⑨	高齢化、担い手不足により伝統産業及び伝統芸能の貴重な技術が消滅するおそれがあります。
課題⑩	開発に伴う自然環境の変化により水辺の動植物が減少しています。

（２）「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用するために克服すべき課題

■ 普及に関する課題 ■

課題⑪	あま市の歴史文化に興味関心がない人の割合が多く、独自の歴史文化の継承がされていません。
課題⑫	子どもが各地域の祭りやイベントに参加する機会が少なく、地域コミュニティとの関わりが希薄になっています。
課題⑬	市民が文化財に触れる機会が少ない状況です。
課題⑭	市の歴史文化の中で、市民の興味関心や認知度の高い分野に偏りがあります。

■ 活用に関する課題 ■

課題⑮	歴史ある街道、祭り、話題性の高い武将、市内のイベント、文化財など、様々なあま市の観光資源と連携させた効果的な観光推進が必要です。
課題⑯	あま市の歴史文化の魅力を十分に伝えきれていません。
課題⑰	文化財所有者などと連携した文化財の活用が十分ではありません。
課題⑱	あま市の認知度が全国的に高くない状況です。

2. 文化財の保存・活用に関する方針

将来像を目指すために克服すべき課題に対し、それぞれの措置の方針を以下に示します。

（１）「あまらしさ」を把握し・守るための方針

■ 調査に関する方針 ■

方針①	文化財の整理 美和歴史民俗資料館と甚目寺歴史民俗資料館の２館において、それぞれ独自に収集・保管している文化財を整理します。
方針②	文化財情報の一元管理 市内の文化財についての情報を一元化し、円滑な管理を行います。
方針③	未指定文化財の調査・研究の推進 歴史資料などの有形文化財や、市内の年中行事など、民俗文化財などの把握調査を進めます。
方針④	文化財の調査体制の構築 文化財の調査について、継続的に調査できる体制を構築します。

■ 保存に関する方針 ■

方針⑤	文化財の適切な修理・保存及び維持管理 文化財が破損や劣化などしていないかを定期的に点検し、問題のあるものについては適切な修理の支援をします。
方針⑥	文化財の防災に関する意識の強化 災害による文化財の喪失や損壊などが起きぬよう、文化財についての防災意識を高めます。
方針⑦	文化財の防犯に関する意識の強化 文化財の損壊や盗難などの被害を防ぐため、文化財についての防犯意識を高めます。
方針⑧	歴史民俗資料館の収蔵スペースの確保 収蔵方針に基づき、新たな資料の収蔵を検討し、収蔵スペースを確保します。
方針⑨	新たな文化財の指定の促進 未指定文化財についての調査を進め、学術的価値の高いものについては文化財の指定をします。
方針⑩	伝統産業の技術の保存 あま市の歴史文化を特徴づける伝統産業の技術の記録を映像や書面、データなどで記録、保存します。
方針⑪	伝統芸能の技術の保存 伝統芸能の保存団体や継承者の保有する技術の喪失を防ぎます。
方針⑫	あま市に生息する動植物の保護 あま市に生息する希少種を中心とした動植物について、保護活動に努めます。

(2) 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用するための方針

■ 普及に関する方針 ■

方針⑬	様々な手法による歴史文化への興味喚起 市公式ウェブサイトやSNS、文化財マップなど様々な手法で文化財に関する情報発信を行います。
方針⑭	歴史文化の教育・学習環境の充実 出前講座の開設や教職員の研修など、あま市の歴史文化を学習する環境を充実します。
方針⑮	年代に合わせた地域の歴史文化を学ぶ機会の充実 市内の小・中学校や高校と連携し、交流しながらあま市の歴史文化を継続的に学ぶ機会を創出します。
方針⑯	子どもと地域との結びつきの強化 各地域の風習や祭りなど、継承されてきた行事などへ子どもの参加を促進し、地域との結びつきを強化します。
方針⑰	文化財に触れる機会の充実 歴史民俗資料館や七宝焼アートヴィレッジなどの展示会や体験教室などを充実し、文化財を身近に感じる機会を創出します。

方針⑱	幅広い分野にわたる歴史文化講座の充実 歴史散策や学識経験者の講演などの文化講座を充実し、様々な分野の歴史文化について学べる機会を充実します。
方針⑲	あま市の知られざる歴史文化について学ぶ機会の創出 独自の歴史検定など、様々な視点からあま市の歴史文化に触れることで、新たな発見へとつなげます。

■ 活用に関する方針 ■

方針⑳	文化財を活用した観光を推進するための人材育成 あま市の歴史文化に精通し、魅力を紹介できる人材を育成することで観光の促進につなげます。
方針㉑	文化財を活用した観光推進 文化財を活用し、他市町村と連携した観光や、案内看板の設置など、文化財を活用した観光を推進します。
方針㉒	文化財を活用した市内の周遊促進 市内にある鎌倉街道、津島街道、佐屋路を活用した観光ルートの整備やツアーを実施し、市民や観光客の市内周遊を促進します。
方針㉓	歴史文化の拠点の強化と取組の充実 市民や関連団体と連携し、歴史文化の拠点を活用してイベントなどを実施することで、あま市の歴史文化の魅力を発信します。
方針㉔	文化財所有者などとの協働促進 文化財所有者等と連携し、幅広い人が興味を持つような手法を用いてあま市の歴史文化の魅力を発信します。
方針㉕	あま市やあま市の魅力についての認知度の向上 特産品や市のブランド品を活用し、市外へあま市の魅力を発信します。

第8章 文化財の保存・活用に関する措置

1. 文化財の保存・活用に関する措置

あま市の将来像を実現するための方向性と現状の課題や方針を基に、本計画で推進する事業を体系的に整理します。各措置の措置名、措置の内容、取組体制、取組年度を定め、計画的に実施します。

以下の措置については、市費・県費・国費（文化財補助金・デジタル田園都市国家構想交付金等）、その他、民間資金等を活用しながら進めていきます。

基本目標、方向性、課題、方針、措置の一覧【基本目標１ 「あまらしさ」を把握し・守る】

将来 像	基本 目標	方向性		課題		方針		措置	
「あまらしさ」が「すばらしさ」に	１「あまらしさ」を把握し・守る	(１) 調査	あま市の歴史文化を構成する文化財を把握・整理する	①	文化財の受け入れ環境を整備するため、歴史民俗資料館の収蔵資料を精査・整理する必要がある。	①	文化財の整理	1	資料受入れ環境の整備
				②	文化財を円滑に管理するため、記録や資料を一元化し、調査に伴うデータの修正や更新を容易にする必要がある。	②	文化財情報の一元管理	2	歴史民俗資料館収蔵資料の整理
				③	歴史資料などの有形文化財や、市内の年中行事、その他の民俗文化財などの把握調査ができていないため、消滅・散逸する可能性がある。	③	未指定文化財の調査・研究の推進	3	市内文化財一覧の作成
								4	歴史資料(古文書含む)に関する調査・研究
								5	市内の年中行事などに関する調査・研究
								6	無形の民俗文化財に関する調査・研究
								7	伝統産業に関する調査・研究
								8	自然環境・希少種に関する調査・研究
								9	出土遺物に関する調査・研究
								10	寺社及び寺社宝の調査・研究
				④	未指定を含めた文化財調査をするための人材が不足している。	④	文化財の調査体制の構築	11	分野ごとの調査体制の構築
								12	文化財の調査に関する補助員の育成
		(２) 保存	適切な手法・環境で文化財を保存する	⑤	保存環境が整備されていない指定文化財があり、災害や人災などによる損壊や、気候による劣化のおそれがある。	⑤	文化財の適切な修理・保存及び維持管理	13	文化財の損壊や劣化を食い止める適切な保存・管理の推進
				⑥	防災・防犯面で適切な保存・管理ができていない文化財がある。	⑥	文化財の防災に関する意識の強化	14	文化財防災への意識の啓発
						⑦	文化財の防犯に関する意識の強化	15	文化財防犯への意識の啓発
				⑦	歴史民俗資料館の収蔵品を継続的・計画的に保管し収蔵スペースを確保する必要がある。	⑧	歴史民俗資料館の収蔵スペースの確保	16	計画的な資料の受け入れ・保管
				⑧	未指定の文化財のなかには、指定に値する文化財が多く含まれている。	⑨	新たな文化財の指定の促進	17	文化財の指定の促進
								18	文化財指定制度などについての啓発
				⑨	高齢化、担い手不足により伝統産業及び伝統芸能の貴重な技術が消滅するおそれがある。	⑩	伝統産業の技術の保存	19	伝統産業の技術の記録
						⑪	伝統芸能の技術の保存	20	伝統芸能の技術の記録
				⑩	開発に伴う自然環境の変化により水辺の動植物が減少している。	⑫	あま市に生息する動植物の保護	21	希少種の生息状況の開発部局との共有
								22	学校ビオトープを利用した保護活動の推進

基本目標、方向性、課題、方針、措置の一覧【基本目標2 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用】

将来像	基本目標	方向性		課題		方針		措置					
「あまらしさ」が「すばらしさ」に	2 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用	(3) 普及	情報発信を充実し、歴史文化への興味を喚起する	⑪	あま市の歴史文化に興味関心がない人の割合が多く、独自の歴史文化の継承がされていない。	⑬	様々な手法による歴史文化への興味喚起	23	情報発信の充実				
								24	市公式ウェブサイトの有効活用				
								25	分野別文化財マップの作成				
								26	文化財の公開の充実				
				⑫	子どもが各地域の祭りやイベントに参加する機会が少なく、地域コミュニティとの関わりが希薄になっている。	⑭	歴史文化の教育・学習環境の充実	27	学校への出前講座の実施				
								28	教職員を対象とした歴史文化を学ぶ講座の実施				
								⑮	29	学習段階に合わせた歴史文化を学ぶ計画の作成			
				30	小中高で連携した歴史文化を学ぶ機会の創出								
				⑯	子どもと地域との結びつきの強化	⑰	文化財に触れる機会の充実	31	地域と連携した歴史文化に関する行事の推進				
								32	歴史民俗資料館において、見て触れる、体験できる機会の充実				
								33	七宝焼アートヴィレッジにおいて、見て触れる、体験できる機会の充実				
				⑰	市民が文化財に触れる機会が少ない状況である。	⑱	幅広い分野にわたる歴史文化講座の充実	34	尾張七宝作品の展示場所の増設				
								35	尾張七宝作品に触れる機会の創出				
		36	市民ニーズにあった講座の実施										
		37	学識経験者による歴史講座の充実										
		⑱	市の歴史文化の中で、市民の興味関心や認知度の高い分野に偏りがある。	⑲	あま市の知られざる歴史文化について学ぶ機会の創出	38	あま市の歴史文化を楽しく深掘りするしくみの構築						
						39	新しい文化財について理解の促進						
						(4) 活用	あま市の歴史文化を身近なものとし、愛着を醸成する	⑮	歴史ある街道、祭り、話題性の高い武将、市内のイベント、文化財など、様々なあま市の観光資源と連携させた効果的な観光推進が必要である。	⑳	文化財を活用した観光を推進するための人材育成	40	歴史ガイドボランティアの育成
										㉑	文化財を活用した観光推進	41	他市町村との連携による文化財の観光資源化の促進
		42	文化財の観光スポット化の促進										
		㉒	文化財を活用した市内の周遊促進	43	歴史ある街道の有効活用								
				44	気軽に楽しく文化財に触れる観光ルートの整備								
				45	文化財を活用した観光ツアーの実施								
		⑰	あま市の歴史文化の魅力を十分に伝えきれていない。	㉓	歴史文化の拠点の強化と取組の充実			46	市民や関連団体などとの連携による文化財を活用したイベントの充実				
		⑱	文化財所有者などと連携した文化財の活用が十分でない。	㉔	文化財所有者などとの協働促進			47	文化財所有者などとの協働事業の実施				
		⑲	あま市の認知度が全国的に高くない状況である。	㉕	あま市やあま市の魅力についての認知度の向上			48	特産品や歴史文化を活用した市ブランド力の向上				

2. 措置の内容

前章で掲げた方針に沿って、あま市全域で取り組む措置を以下に掲げます。各取組においての主な取組体制や実施期間を設定し、アクションプランとしての実効性を確保します。

基本目標 1 「あまらしさ」を把握し・守る

方向性（1） 調査 あま市の歴史文化を構成する文化財を把握・整理する

方針① 文化財の整理

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間										
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)	
1	資料受入れ環境の整備 ----- 歴史民俗資料館の資料収集方針を整備し、収蔵資料を精査します。	新規	●あま市（生涯学習課）											
2	歴史民俗資料館収蔵資料の整理 ----- 収蔵庫の収蔵方針を整備し、収蔵資料を整理します。	新規	●あま市（生涯学習課）											

方針② 文化財情報の一元管理

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)		
3	市内文化財一覧の作成 文化財一覧及び調査の成果をリスト化し、関連部局との情報を共有します。	継続	●あま市（生涯学習課）												

取組体制の見方

●⇒取組主体（取組を中心となってやる人）

○⇒取組を協力・連携して手伝う人

方針③ 未指定文化財の調査・研究の推進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
4	歴史資料（古文書含む）に関する調査・研究 歴史民俗資料館収蔵資料の古文書の解説を進めます。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者												
5	市内の年中行事などに関する調査・研究 古老への聞き取りを基本に、年中行事や人生儀礼を取材し記録します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者												
6	無形の民俗文化財に関する調査・研究 各地域の寺社などで執り行われる祭事を取材し記録に留めます。定期的に調査を継続します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者												
7	伝統産業に関する調査・研究 尾張七宝や刷毛産業などに関する調査・研究を推進します。	継続	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ○学識経験者 ○関連団体												
8	自然環境・希少種に関する調査・研究 「レッドデータブックあいち」に記載される希少種の確認と、その生息域を定期的に調査します。	継続	●あま市（環境衛生課） ○あま市（生涯学習課） ○学識経験者												
9	出土遺物に関する調査・研究 出土遺物を整理し、学識経験者による調査を行い、記録を作成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者												
10	寺社及び寺社宝の調査・研究 合併以前に編纂された各町史に記載のある寺社、寺社宝などの所在を再確認し、定期的に調査します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○文化財所有者												

方針④ 文化財の調査体制の構築

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
11	分野ごとの調査体制の構築 文化財保護審議会委員の再編及び各委員による調査体制を構築します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○市民												
12	文化財の調査に関する補助員の育成 各調査の補助員を確保し、人材を育成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○市民												

方向性（２） 保存 適切な手法・環境で文化財を保存する

方針⑤ 文化財の適切な修理・保存及び維持管理

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)		
13	文化財の損壊や劣化を食い止める適切な保存・管理の推進 指定文化財の状態を把握するため、個別の管理台帳を作成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財所有者 ○学識経験者												

方針⑥ 文化財の防災に関する意識の強化

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)		
14	文化財防災への意識の啓発 文化財所有者とともに文化財防火デーなどにおいて、情報発信などを行い、文化財への防災意識を高める啓発活動を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課/ 危機管理課） ●文化財所有者 ○関係機関 ○市民												

方針⑦ 文化財の防犯に関する意識の強化

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
15	文化財防犯への意識の啓発 不測の事態に対応するための連絡・通報体制の整備と危機管理マニュアルの作成を行います。	新規	●あま市（生涯学習課/ 危機管理課） ●文化財所有者 ○関係機関 ○市民												

方針⑧ 歴史民俗資料館の収蔵スペースの確保

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)
16	計画的な資料の受け入れ・保管 収蔵方針に従い、新たな資料の持ち込みに対する受け入れ等の検討と、収蔵スペースの確保を図ります。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財所有者 ○学識経験者										

方針⑨ 新たな文化財の指定の促進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)
17	文化財の指定の促進 未指定文化財の調査・研究の結果を文化財保護審議会で検討し、必要に応じて文化財の指定を促進します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●学識経験者 ○文化財所有者										
18	文化財指定制度などについての啓発 文化財の指定制度について、文化財保護への理解を含め、広報周知を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者 ○関連団体（観光協会/町内会）										

方針⑩ 伝統産業の技術の保存

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)
19	伝統産業の技術の記録 尾張七宝及び刷毛などに関わる人に聞き取り調査をし、記録します。	継続	●あま市（商工観光課） ○関連団体 ○市民										

方針⑪ 伝統芸能の技術の保存

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
20	伝統芸能の技術の記録 甚目寺説教源氏節や各地域に伝わる 神楽太鼓、手踊りといった民俗芸能 の保存団体、継承者に聞き取り調査 をし、記録します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体												

方針⑫ あま市に生息する動植物の保護

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
21	希少種の生息状況の開発部局との共有 希少種を中心とした生き物マップを作成し、開発部局と共有します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（環境衛生課/ 都市計画課/土木課） ○学識経験者												
22	学校ビオトープを利用した保護活動の推進 あま市に生息する希少種のミナミメダカなどを保護し、市内小学校等と連携し、学校による保護活動を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 学校教育課） ●関連団体（小中学校） ○学識経験者												

基本目標２ 「あまらしさ」を「すばらしさ」に普及・活用

方向性（３） 普及 情報発信を充実し、歴史文化への興味を喚起する

方針⑬ 様々な手法による歴史文化への興味喚起

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
23	情報発信の充実 広報、市公式ウェブサイト、SNS などを活用し、文化財の情報を発信 します。	継続	●あま市（生涯学習課）												
24	市公式ウェブサイトの有効活用 未指定文化財を含めた文化財の紹介記 事を連載します。	新規	●あま市（生涯学習課）												
25	分野別文化財マップの作成 指定文化財のマップ及び6類型ごとの （指定含む）未指定文化財のマップを 作成、適宜更新を行います。	新規	●あま市（生涯学習課）												
26	文化財の公開の充実 デジタルミュージアムなどを通して文 化財を公開します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●文化財所有者 ○学識経験者												

方針⑭ 歴史文化の教育・学習環境の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間										
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)	
27	学校への出前講座の実施	継続	●あま市（生涯学習課）											
														
28	教職員を対象とした歴史文化を学ぶ講座の実施	新規	●あま市（生涯学習課/ 学校教育課） ●関連団体（小中学校）											
														

方針⑮ 年代に合わせた地域の歴史文化を学ぶ機会の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
29	学習段階に合わせた歴史文化を学ぶ計画の作成 ----- 中学、高校での体験に重点を置いた出前授業のプログラムを作成し実施します。	新規	●あま市（生涯学習課）												
30	小中高で連携した歴史文化を学ぶ機会の創出 ----- 小中高校生が交流しつつ、あま市の歴史文化を学び合う学習講座を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 学校教育課） ○関連団体（市内小中学校/高等学校）												

方針⑯ 子どもと地域との結びつきの強化

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
31	地域と連携した歴史文化に関する行事の推進 各地域で行われる行事を学校等で周知し、子どもの参加を促進します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体												

方針⑰ 文化財に触れる機会の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
32	歴史民俗資料館において、見て触れる、体験できる機会の充実 歴史民俗資料館において、魅力ある展示会や体験できる教室を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課）												
33	七宝焼アートヴィレッジにおいて、見て触れる、体験できる機会の充実 七宝焼アートヴィレッジにおいて、魅力ある展示会や体験できる教室を実施します。	継続	●あま市（商工観光課）												

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)		
34	尾張七宝作品の展示場所の増設 尾張七宝作品の設置場所を増やし、市内施設での展示を継続して実施します。	新規	●あま市（商工観光課）												
35	尾張七宝作品に触れる機会の創出 尾張七宝作品を希望者へ貸出し、日常の中で身近に触れることで、その魅力を認識する機会を創出します。	継続	●あま市（商工観光課） ○関連団体（観光協会）												

方針⑱ 幅広い分野にわたる歴史文化講座の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)		
36	市民ニーズにあった講座の実施 市民が興味・関心を持てるよう工夫し、文化財を周知できるような歴史講座や散策会を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○関連団体（観光協会） ○文化財所有者 ○市民												
37	学識経験者による歴史講座の充実 高度で専門的な歴史講演会を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者												

方針⑲ あま市の知られざる歴史文化について学ぶ機会の創出

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)		
38	あま市の歴史文化を楽しく深掘りするしくみの構築 市の歴史文化に特化したご当地検定を開催します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者 ○市民												
39	新しい文化財について理解の促進 文化財に関する報告会を実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者 ○市民												

方向性（４） 活用 あま市の歴史文化を身近なものとし、愛着を醸成する

方針⑳ 文化財を活用した観光を推進するための人材育成

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
40	歴史ガイドボランティアの育成 毎年養成講座を行い、2年目以降のガイドについてはフォローアップ講座を実施します。	継続	●あま市（生涯学習課） ●市民 ○関連団体（観光協会）												

方針㉑ 文化財を活用した観光推進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
41	他市町村との連携による文化財の観光資源化の促進 他市町村と連携した歴史文化の観光PRを推進します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ●市民 ○関連団体 （観光協会など）												
42	文化財の観光スポット化の促進 文化財の案内看板の設置や、多言語での説明・解説、QRコードを利用した視覚的な文化財の説明の補足など、様々な人が文化財の正しい知識をその場で確認できるよう整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体（国際交流協会/ 観光協会） ○文化財所有者 ○市民												

方針㉒ 文化財を活用した市内の周遊促進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
43	歴史ある街道の有効活用 鎌倉街道、津島街道、佐屋路を活用した歴史ウォークラリーを実施します。	新規	●あま市（生涯学習課） ●市民 ○関連団体（観光協会）												
44	気軽に楽しく文化財に触れる観光ルートの整備 文化財と連携した観光周遊ルートを整備します。	新規	●あま市（商工観光課） ●関連団体（観光協会） ○あま市（生涯学習課）												
45	文化財を活用した観光ツアーの実施 文化財と連携した観光周遊ツアーを実施します。	新規	●あま市（商工観光課） ●関連団体（観光協会） ○あま市（生涯学習課）												

方針②③ 歴史文化の拠点の強化と取組の充実

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (20 25)	R 8 (20 26)	R 9 (20 27)	R 10 (20 28)	R 11 (20 29)	R 12 (20 30)	R 13 (20 31)	R 14 (20 32)	R 15 (20 33)	R 16 (20 34)		
46	市民や関連団体などとの連携による文化財を活用したイベントの充実 市民グループと協働でイベントを実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ○市民 ○関連団体（観光協会/ 商工会）												

方針②④ 文化財所有者などとの協働促進

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
47	文化財所有者などとの協働事業の実施 多くの人が文化財に対して興味と関心を持つきっかけとなるよう、ユニークベンチャーなどを実施します。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ●関連団体（観光協会/ 商工会） ○文化財所有者 ○市民												

方針②⑤ あま市やあま市の魅力についての認知度の向上

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (20 25)	R 8 (20 26)	R 9 (20 27)	R 10 (20 28)	R 11 (20 29)	R 12 (20 30)	R 13 (20 31)	R 14 (20 32)	R 15 (20 33)	R 16 (20 34)		
48	特産品や歴史文化を活用した市ブランド力の向上 ----- まちづくり分野へ文化財を活用し、市のブランド力向上となるようイベントに参加します。	新規	●あま市（商工観光課） ●関連団体（観光協会/ 商工会） ○あま市（生涯学習課） ○文化財所有者												

第9章 文化財保存活用区域

1. 文化財保存活用区域の目的

文化財保存活用区域とは、「文化財が特定の範囲に集積している場合に、当該文化財（群）をその周辺環境も含めて面的に保存・活用するために設定するもの」（『文化財保存活用地域計画パンフレット』（文化庁、2022・3））です。個別の文化財ではなく、指定・未指定を問わず様々な文化財が集中している区域全体を保存・活用することで魅力的な空間を創出することを目指すものです。あま市においても、文化財の保存・活用の促進を図り、市民と共に地域を活性化させるため、文化財保存活用区域を設定します。

2. 文化財保存活用区域の設定の考え方

第2章で述べたように、あま市には多様な文化財が点在しており、また、第3章で示したように歴史文化にはいくつかの特徴が見られます。そこで、①文化財が集中している、②歴史文化の特性を表している、これらの考え方にに基づき文化財保存活用区域を設定しました。

3. 文化財保存活用区域及びその保存活用計画（課題・方針・措置）

（1）文化財保存活用区域について

① 文化財保存活用区域の名称

甚目寺と門前町

② 文化財保存活用区域の概要

甚目寺とその門前町周辺を範囲とした文化財保存活用区域です。甚目寺は推古5（597）年に、漁師^{はだめたつまる}甚目龍麿が海中より引き上げた^{しょう}聖観音像を安置したことに始まるとされる^{こさつ}古刹です。^{とよとみひでよし}豊臣秀吉や^{とくがわよしなお}徳川義直など時の有力者に^{ひご}庇護され、庶民に篤く信仰されてきました。境内には南大門をはじめとした文化財があります。また津島街道にも面していることから、寺周辺は門前町として栄えてきました。そのため、この一帯には寺にゆかりある文化財が集中しています。

文化財保存活用区域【甚目寺と門前町】



尾張屈指の観音霊場である甚目寺は、名古屋近郊はもとより、全国から深い尊崇をよせられてきました。その歴史は尾張に現存する寺院としてはきわめて古く、長い歴史を有しています。甚目寺を中心とした周辺域は、常に多くの参拝者で賑わい、門前町としても栄えてきた区域です。

③ 文化財保存活用区域内の主な文化財（寄託も含む）

番号	文化財の名称	類型	指定等・未指定（寄託）
1	甚目寺南大門	建造物	国指定
2	甚目寺（三重塔/東門）	建造物	国指定
3	絹本著色不動尊像	美術工芸品（絵画）	国指定（寄託）
4	絹本著色仏涅槃図	美術工芸品（絵画）	国指定（寄託）
5	木造愛染明王坐像	美術工芸品（彫刻）	国指定（寄託）
6	木造仁王像	美術工芸品（彫刻）	県指定
7	田中訥言画蹟	美術工芸品（絵画）	県指定
8	瑞花双鸞八稜鏡	美術工芸品（工芸品）	県指定（寄託）
9	梵鐘	美術工芸品（工芸品）	県指定
10	甚目寺説教源氏節人形および正本 附その関連資料	有形の民俗文化財	市指定
11	甚目寺境内地	遺跡	市指定
12	三千仏図	美術工芸品（絵画）	未指定
13	釈迦十六善神図	美術工芸品（絵画）	未指定
14	両界曼荼羅	美術工芸品（絵画）	未指定
15	弘法大師画像	美術工芸品（絵画）	未指定
16	聖観上人坐像	美術工芸品（彫刻）	未指定
17	木造十王坐像及び奪衣婆坐像	美術工芸品（彫刻）	未指定
18	十一面観音坐像	美術工芸品（彫刻）	未指定
19	四天王立像	美術工芸品（彫刻）	未指定
20	興教大師坐像	美術工芸品（彫刻）	未指定
21	古瓦十四個	美術工芸品（考古資料）	未指定
22	甚目寺縁起（文永元年写）	美術工芸品（古文書）	未指定
23	甚目寺縁起（承応元年写）	美術工芸品（古文書）	未指定
24	紺紙金字法華經	美術工芸品（書籍・典籍）	未指定
25	三重塔擬宝珠	美術工芸品（歴史資料）	未指定
26	塔心礎	美術工芸品（歴史資料）	未指定
27	上街道道標二基	美術工芸品（歴史資料）	未指定

This map illustrates the Sengoku-ji Temple area in Matsuyama City, highlighting various cultural heritage sites and their designations. The map includes a legend, a scale bar, and a north arrow.

Legend:

- 国指定文化財 (National Designated Cultural Property): Red dot
- 県指定文化財 (Prefectural Designated Cultural Property): Teal dot
- 市指定文化財 (Municipal Designated Cultural Property): Green dot
- 未指定文化財 (Undesignated Cultural Property): Black dot

Key Locations and Sites:

- 甚目寺境内地** (Sengoku-ji Temple Grounds): Green dot, Municipal Designated Cultural Property.
- 甚目寺小学校** (Sengoku-ji Elementary School): Yellow area.
- 甚目寺東門** (Sengoku-ji East Gate): Teal dot, Prefectural Designated Cultural Property.
- 甚目寺三重塔** (Sengoku-ji Three-story Pagoda): Red dot, National Designated Cultural Property.
- 木造仁王像** (Wooden Jizō Image): Red dot, National Designated Cultural Property.
- 上街道道標二基** (Two Wayposts on the Upper Street): Black dots, Undesignated Cultural Property.
- 田中訥言画蹟 梵鐘** (Tanaka Nagon's Painting Traces, Bells): Black dots, Undesignated Cultural Property.
- 甚目寺南大門** (Sengoku-ji South Main Gate): Red dot, National Designated Cultural Property.
- 塔心礎** (Pagoda Heart Foundation): Black dot, Undesignated Cultural Property.
- 木造十王坐像及び奪衣婆坐像** (Wooden Jizō Image and Kumbhār Image): Red dot, National Designated Cultural Property.
- 甚目寺歴史民俗資料館** (Sengoku-ji History and Folklore Museum): Teal dot, Prefectural Designated Cultural Property.
- 寄託 瑞花双鸞八稜鏡** (Entrusted, Suiga Sōryō Hachirō Kōshi): Black dot, Undesignated Cultural Property.
- 甚目寺説教源氏節人形および正本 附その関連資料** (Sengoku-ji Sermon Genji Hyakunin and正本, including related materials): Black dot, Undesignated Cultural Property.
- 三千仏図、釈迦十六善神図、両界曼荼羅、弘法大師画像、聖観上人坐像、十一面観音坐像、四天王立像、興教大師像、古瓦十四点、甚目寺縁起（文永元年写）、甚目寺縁起（承応元年写）、紺紙金字法華經、三重塔擬宝珠** (Various religious paintings, images, and texts): Black dots, Undesignated Cultural Property.

Scale: 0 to 200 meters.

North Arrow: Indicated by an 'N' and a downward arrow.

- ・絹本著色不動尊像 (国指定/東京国立博物館)
- ・絹本著色仏涅槃図 (国指定/京都国立博物館)
- ・木造愛染明王坐像 (国指定/名古屋市蓬左文庫)

(2) 文化財保存活用区域の課題

この区域を保存・活用していくにあたり、課題を以下に整理します。

課題①	甚目寺は、市内の他寺院に比べ歴史的な資料も多く残され、調査されてはいませんが、民俗文化財などの調査・研究が進んでいない分野があります。
課題②	甚目寺周辺には複数の寺社が所在しますが、調査・研究があまり進んでいません。各寺社が所蔵する歴史資料などの調査・研究を進めることにより、甚目寺との関わりを明らかにする必要があります。
課題③	甚目寺や周辺寺社が所有する貴重な文化財を災害や人災から守るために、区域内に所在する文化財を把握し、守る体制を構築する必要があります。
課題④	市内の指定文化財は、修繕や環境整備、管理体制の構築を計画的に行っていく必要があります。
課題⑤	未指定文化財は、環境整備や修繕に係る補助金などがいないため、所有者は市及び市民とともに防災・防犯はじめ、その保存・管理を共に考えていかなければ、将来、保存に支障をきたすおそれがあります。
課題⑥	名鉄甚目寺駅から徒歩5分程度の好立地に位置する甚目寺ですが、寺に至るまでの道に活気があるとは言い難い状況です。寺周辺の商店街の活性化が求められています。
課題⑦	甚目寺境内では、市民団体、事業者などにより定期的にイベントが開催され、多くの人が集う場にもなっています。しかし、甚目寺の文化財に対する興味関心にはつながっていません。

(3) 文化財保存活用区域の方針

この区域を保存・活用していくにあたり、方針を以下に定めます。

方針①	甚目寺の調査・研究 甚目寺の年中行事を把握し、まだ把握していない民俗調査などを進めます。
方針②	甚目寺周辺の寺社の調査・研究 甚目寺周辺の寺社が保存している歴史資料の調査・研究を進めます。
方針③	文化財防災・防犯環境の整備 「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」を基に、区域内の文化財の防火対策についての状況を把握・整理します。それらの情報を踏まえ、区域内の寺社において、文化財の保存状態や保存環境などを含めた文化財台帳を作成します。また地域住民が連携して文化財を守るための意識の啓発をすることで、防犯体制の構築を図ります。
方針④	指定文化財の修繕、保存環境、管理体制の整備 市内の指定文化財の状態を把握し、計画的に修繕や保存環境の整備を行います。
方針⑤	未指定文化財の保存・管理 未指定文化財の近隣住民が、近隣の文化財の価値を認識し、自分たちで守る意識の醸成を図ります。また、保存・管理に関する指導・助言を行います。
方針⑥	甚目寺を中心とした周辺区域の活性化 名鉄甚目寺駅から甚目寺までの参拝道を中心とした商店街や景観などを門前町として捉え、一体的な活性化を図ります。
方針⑦	他分野との連携による、歴史文化への興味喚起 甚目寺の境内で開催されるイベントと連動し、あま市の歴史文化に関連する取組を行い、参加者があま市の歴史文化に興味を持つきっかけを創出します。

文化財保存活用区域の課題、方針、措置の一覧【甚目寺と門前町】

文化財保存活用区域の課題		文化財保存活用区域の方針		措置	
①	甚目寺は、市内の他寺院に比べ歴史的な資料も多く残され、調査されてはいるが、民俗文化財などの調査・研究が進んでいない分野がある。	①	甚目寺の調査・研究	49	甚目寺の民俗文化財などの未調査の文化財についての調査・研究の推進
②	甚目寺周辺には複数の寺社が所在するが、調査・研究があまり進んでいない。各寺社が所蔵する歴史資料などの調査・研究を進めることにより、甚目寺との関わりを明らかにする必要がある。	②	甚目寺周辺の寺社の調査・研究	50	甚目寺周辺の寺社所蔵の歴史資料の調査・研究
③	甚目寺や周辺寺社が所有する貴重な文化財を災害や人災から守るために、区域内に所在する文化財を把握し、守る体制を構築する必要がある。	③	文化財防災・防犯環境の整備	51	区域内の文化財台帳の作成
				52	地域住民と連携した文化財を守る体制の構築
				53	文化財防犯パトロールの実施
④	市内の指定文化財は、修繕や環境整備、管理体制の構築を計画的に行っていく必要がある。	④	指定文化財の修繕、保存環境、管理体制の整備	54	甚目寺南大門の修繕
				55	甚目寺三重塔の修繕
⑤	未指定文化財は、環境整備や修繕に係る補助金などがないため、所有者は市及び市民とともに防災・防犯はじめ、その保存・管理を共に考えて行かなければ、将来、保存に支障をきたすおそれがある。	⑤	未指定文化財の保存・管理	56	未指定文化財の防災・防犯意識の向上
				57	未指定文化財の保存・管理に対するアドバイス
⑥	名鉄甚目寺駅から徒歩5分程度の好立地に位置する甚目寺だが、寺に至るまでの道に活気があるとは言い難い。寺周辺の商店街の活性化が求められている。	⑥	甚目寺を中心とした周辺区域の活性化	58	甚目寺と門前町の活性化
⑦	甚目寺境内では、市民団体、事業者などにより定期的にイベントが開催され、多くの人が集う場にもなっている。しかし、甚目寺の文化財に対する興味関心にはつながっていない。	⑦	他分野との連携による、歴史文化への興味喚起	59	甚目寺での民間イベントと連携した見学ツアーの実施

(4) 文化財保存活用区域に関する措置

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2 0 2 5)	R 8 (2 0 2 6)	R 9 (2 0 2 7)	R 10 (2 0 2 8)	R 11 (2 0 2 9)	R 12 (2 0 3 0)	R 13 (2 0 3 1)	R 14 (2 0 3 2)	R 15 (2 0 3 3)	R 16 (2 0 3 4)		
49	甚目寺の民俗文化財などの未調査の文化財についての調査・研究の推進 甚目寺の民俗文化財に関する所蔵資料などを継続的に調査します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○文化財所有者												
50	甚目寺周辺の寺社所蔵の歴史資料の調査・研究 甚目寺周辺の寺社に所蔵されている歴史資料を継続的に調査し、甚目寺との関連性などを明らかにします。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○文化財所有者												
51	区域内の文化財台帳の作成 「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づき、区域内の指定文化財・未指定文化財の文化財台帳を作成し、基本情報に加え周辺環境や保存状況を把握します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○文化財所有者												
52	地域住民と連携した文化財を守る体制の構築 地域住民を対象に甚目寺を中心とした文化財の防災・防犯についての情報発信などを行い、文化財への関心を高め、防災・防犯意識の啓発、体制づくりを行います。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○文化財所有者 ○市民												
53	文化財防犯パトロールの実施 ガイドボランティアや歴史まちづくり団体などと連携し、文化財の異常を点検するしくみを構築します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○関連団体 ○文化財所有者												
54	甚目寺南大門の修繕 甚目寺南大門の状態を点検し、修繕規模等を把握し、実施を検討します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○文化財所有者												
55	甚目寺三重塔の修繕 甚目寺三重塔の状態を点検し、修繕規模等を把握し、実施を検討します。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○文化財所有者												
56	未指定文化財の防災・防犯意識の向上 文化財台帳を基に、文化財所在地の近隣住民に、正しい価値を伝え、防災・防犯意識の向上に努めます。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○文化財所有者 ○市民												

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)
57	未指定文化財の保存・管理に対する アドバイス 未指定文化財の所有者及び文化財所在地の近隣住民に対し、その保存・管理について、学識経験者の意見を踏まえアドバイスをします。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○学識経験者 ○文化財所有者 ○市民										
58	甚目寺と門前町の活性化 名鉄甚目寺駅から甚目寺までの参道を中心とした周辺の商店街、景観など観光拠点としての整備など活性化を図ります。	新規	●あま市 (生涯学習課) ○関連団体 (観光協会) ○文化財所有者										
59	甚目寺での民間イベントと連携した 見学ツアーの実施 甚目寺境内で開催されるイベントなどと連携した文化財の公開や見学ツアーを開催し、イベント参加者が歴史文化に興味を持つきっかけを創出します。	新規	●あま市 (生涯学習課/商工 観光課) ○関連団体 (観光協会) ○文化財所有者 ○市民										

第 10 章 文化財の防災・防犯

第 7 章 文化財の保存・活用に関する措置で示した取組に加え、あま市の文化財全般に関する防災・防犯における課題と方針、措置を防災においては平時、災害時で整理し、以下に示します。また、防災・防犯体制を強化し、文化財を守るために講じる措置を確実に実施します。

1. 文化財の防災・防犯に関する課題

防災、防犯に関する課題は以下のようなことが考えられます。

(1) 防災の課題

■ 平時の課題 ■

課題①	あま市は、ほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯で、市内には多数の河川が流れています。水路も多く、過去にも台風・豪雨による河川の氾濫や内水氾濫被害が発生しており、多くの地域が浸水想定区域に指定されています。しかし、市内の文化財がどこにどのような状況で所在しているのか、情報を一元化できておらず、災害時の文化財の状況確認を円滑に行うことが難しい状況です。
課題②	旧集落内の生活道路は幅員が狭い状況となっており、火災などの災害時の消火活動や避難路確保の問題があります。
課題③	人口増加や都市化の進展などにより、市街地などで居住地域が拡大しており、住宅の密集地では火災の延焼、拡大の危険性が高くなっています。
課題④	文化財の保存状態や環境が適切でなく、災害時に甚大な被害を受ける可能性のある文化財があります。
課題⑤	近年では、各地域住民による防災の取組が、その主体性に依るところが大きくなっていましたが、地域によってはコミュニティが希薄化しています。
課題⑥	無住の寺院が散見され、所有している仏像など、災害時の保護に不安があります。また、そうした文化財を含む市内の文化財の防災に関し、連携体制を強化する必要があります。

■ 災害時の課題 ■

課題①	文化財の避難など、各地域の文化財をその地域の力で守るための防災知識や意識、体制構築が十分でなく、災害時に迅速に対応できない可能性があります。
課題②	文化財の保存に関し広域での連携体制について、連携先と連携内容が明確に把握できていない状況です。
課題③	文化財所管課の人材には限りがあり、災害の規模や被災状況によっては、災害発生時や発生直後に文化財の被害状況を把握できない可能性があります。
課題④	文化財所管課には文化財に関する専門知識を有する職員を配置していますが、すべての分野についての学識経験者を配置することは難しい状況です。

（２）防犯の課題

課題①	各文化財の防犯環境の整備について、所有者に依るところが大きくなっています。
課題②	他市町村で文化財の盗難が発生しており、防犯環境を強化する必要があります。
課題③	人為的な要因による火災や破損などを防ぐ施設・設備、防犯体制が整備されていない文化財があり、消失するおそれがあります。
課題④	各地区で文化財を守る体制の構築が必要です。

2. 文化財の防災・防犯に関する方針

「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）」を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づきながら、以下のような方針で、防火対策や耐震、防犯対策を講じます。

災害時には、愛知県を經由し国立文化財機構文化財防災センターへの支援を要請するほか、連携協定を締結している市や、事業者、関連団体へも支援を要請します。

平時には、愛知県や他市町村と連携体制の強化を図ります。

（１）防災の方針

■ 平時の方針 ■

方針①	未指定文化財の所在や保存環境の情報を一元管理し、防災に活用します。
方針②	あま市の特徴を示す景観に配慮しつつ狭隘 ^{きょうあい} な道路などの整備ができるよう、関係機関に働きかけます。
方針③	文化財への対応を含んだ防災訓練や、防火設備の設置などにより災害時の危険性を低減します。
方針④	各文化財について点検や修理、保存環境の整備により災害時の被害の甚大化を防ぎます。
方針⑤	文化財に対する興味関心や防災意識の啓発を推進し、地域での防災意識の啓発や体制を構築します。
方針⑥	管理者が明確でない文化財を含む市内文化財の防災体制を強化し、文化財の保存を推進します。

■ 災害時の方針 ■

方針①	各地域で市民や所有者、団体、行政が連携して文化財を保存するための防災意識の啓発や連携体制の構築を促進します。
方針②	他市町村との連携を強化し、災害時に文化財を相互協力し保存する、広域での体制を構築します。
方針③	学識経験者と連携し、市内文化財の被害状況を速やかに把握します。
方針④	外部の学識経験者の助言に基づき、文化財の適切な保存を推進します。

(2) 防犯の方針

方針①	市内の各文化財の保存環境や防犯設備の設置状況を把握し、計画的な防犯設備の整備につなげます。
方針②	他市町村と連携し文化財の盗難情報などを迅速に把握し、防犯施設・設備の整備を行います。
方針③	市民や関連団体と行政が連携し、平時における文化財防犯の取組を強化します。

3. 文化財の防災・防犯に関する措置

課題、方針に基づき、以下のような措置を講じます。

(1) 防災の措置

■ 平時の措置 ■

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間											
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)		
60	文化財台帳の作成 指定文化財・未指定文化財の文化財台帳を作成し、基本情報に加え周辺環境や保存状況を把握します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者												
61	景観に配慮した狭 ^{きょうあい} 隘な道路の整備 あま市の特徴を示すような景観を保全しつつ災害時に危険な狭隘道路の整備ができるよう検討します。	新規	●あま市 （都市計画課/土木課） ○あま市（生涯学習課）												

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)
62	防火設備の整備 「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」に基づき、防火設備の設置と設備の適切な保守点検を促進します。	継続	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ○文化財所有者										
63	文化財の修理や周辺環境の整備 文化財の点検・修理を適宜行い、周辺施設についても、耐震化などを促進することで災害発生時の被害の甚大化を防ぎます。	新規	●あま市（生涯学習課/ 商工観光課） ●あま市（危機管理課） ●文化財所有者										
64	地域ごとの文化財と防災の意識の醸成 地域ごとに文化財と防災をテーマにした情報発信や出前講座を実施し、文化財への興味関心を高めるとともに、地域での文化財防災に関する意識を醸成します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（危機管理課）										
65	文化財の管理体制の整備 管理者や所有者が不明な文化財についても適切に保存されるよう、管理体制を整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者										
66	文化財の防災体制の強化 市を中心として、消防署、文化財所有者などによる文化財の防災体制を構築・強化し、災害時にも適切に対応できるしくみを整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（危機管理課） ○関係機関（消防署） ○文化財所有者										

■ 災害時の措置 ■

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)
67	地域による文化財防災のしくみの構築 地域ごとに市や消防署、文化財所有者などが協力し文化財の避難など円滑に対応できるよう、地域での防災意識の醸成や、体制の構築や役割の整理など、災害時の文化財防災のしくみを整備します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（危機管理課） ○関係機関（消防署） ○文化財所有者										

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)
68	文化財防災マニュアルの作成 災害時に迅速な対応ができるよう、文化財防災マニュアルを作成し、文化財所有者や市民の災害時の円滑な対応を促進します。	新規	●あま市（生涯学習課） ○あま市（危機管理課）										
69	広域連携による文化財の保存体制の強化 愛知県の文化財レスキュー、近隣及び災害協定を締結している他市町村、団体、企業などとの連携を強化し、災害時に円滑に救援を依頼し合える体制を平時から構築します。また、県を通して国立文化財機構文化財防災センターへ支援を要請します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○国、県、他市町村										
70	学識経験者による被害状況の調査の実施 災害発生後速やかに学識経験者による被害状況の調査を実施し、被害の甚大化を防ぎます。	新規	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者										
71	文化財の各分野の学識経験者との連携推進 文化財の各分野の学識経験者との連携体制を充実し、保存環境についての助言や、修理・修復の必要がある文化財について、技術的な助言や指導を求め、専門的な知見に基づいた適切な処置を行います。	継続	●あま市（生涯学習課） ○学識経験者										

（２）防犯の措置

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)
72	防犯設備の設置状況の把握 市内文化財の保存環境と防犯カメラなどの防犯設備の設置状況を把握し、文化財台帳に反映します。	新規	●あま市（生涯学習課）										
73	文化財の防犯に関する広域連携体制の強化 他市町村と定期的に文化財に関する情報交換を行い、盗難情報など迅速に把握し、防犯施策において連携体制を構築します。	継続	●あま市（生涯学習課） ○他市町村										

No.	措置 措置の内容	新規 継続	取組体制	実施期間									
				R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	R 14 (2032)	R 15 (2033)	R 16 (2034)
74	防犯施設・設備の整備	継続	●あま市（生涯学習課） ○文化財所有者										
	必要に応じ文化財に防犯カメラなど防犯設備の設置や、保存施設の整備を行います。												
53	文化財防犯パトロールの実施（再掲）	新規	●あま市（生涯学習課） ○関連団体 ○文化財所有者										
	ガイドボランティアや歴史まちづくり団体などと連携し、文化財の異常を点検するしくみを構築します。												

4. 文化財の防災・防犯の推進体制

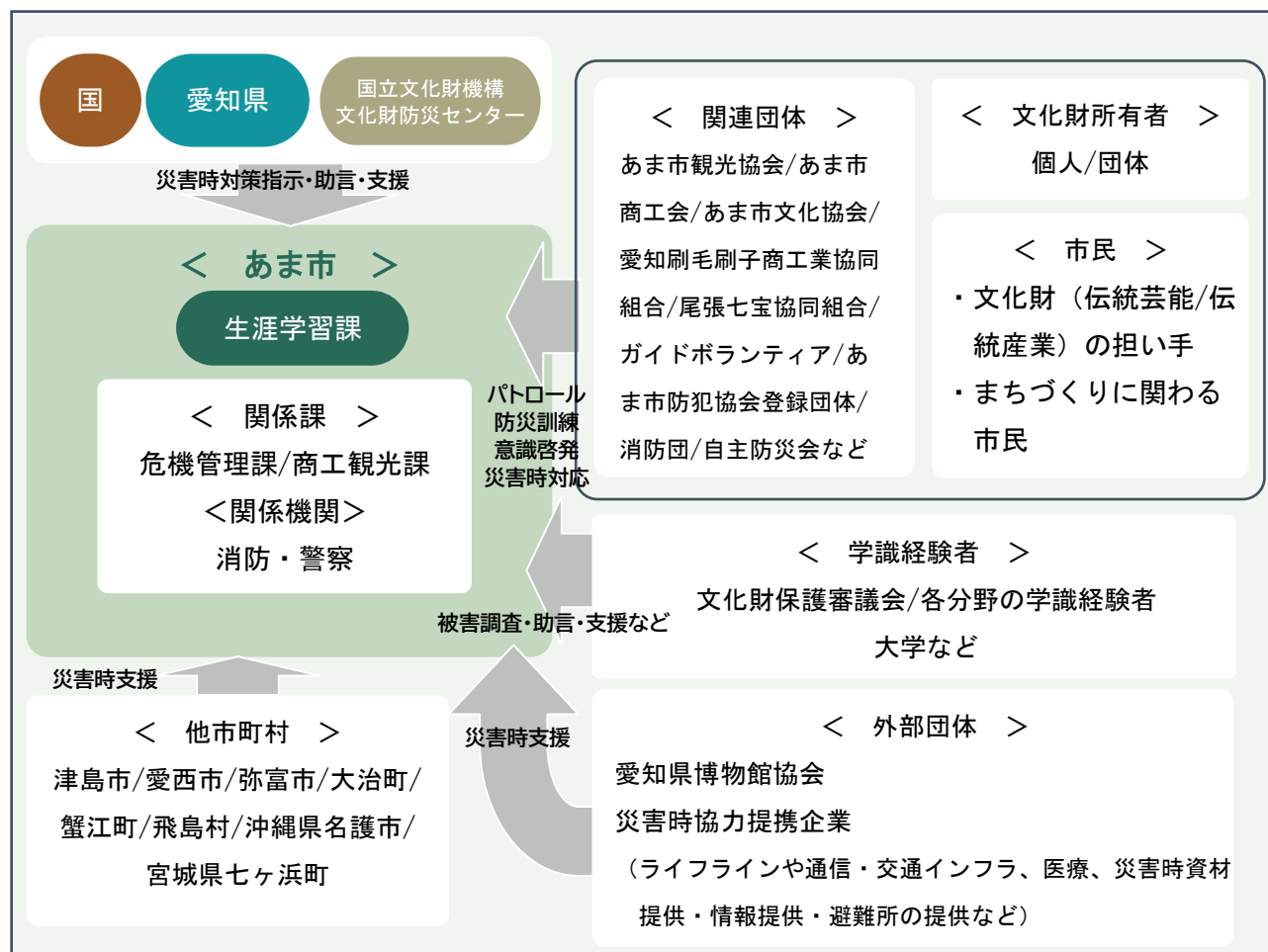
前項で示した措置を実施するための防災・防犯の推進体制を以下に示します。

防災においては、平時には、消防や庁内担当課、文化財所有者、関連団体、他市町村及び外部団体と連携体制を構築し、非常時に迅速に救援や支援を求められる環境を整備します。また、文化財保護の補助金申請団体に対し、防災対策について定期的な報告を求め、防災意識の啓発を行います。

非常時には、愛知県に速やかに状況を報告し、指示や支援を受けつつ、防災協定を締結している他市町村や外部の企業・団体と連携して対応します。また、愛知県を經由し国立文化財機構文化財防災センターへ支援を要請します。その他、文化財の各分野の学識経験者とも連携し、被害状況の調査や修理・修復についての助言などを受け、適切な処置を行います。

防犯については、平時には、警察、文化財所有者、関連団体などと連携しながら文化財に異変がないか、点検・見守りを行います。また、盗難・破損などについての情報共有を迅速に行うための連携体制を構築します。

あま市文化財防災・防犯の推進体制



第 1 1 章 文化財の保存・活用の推進体制

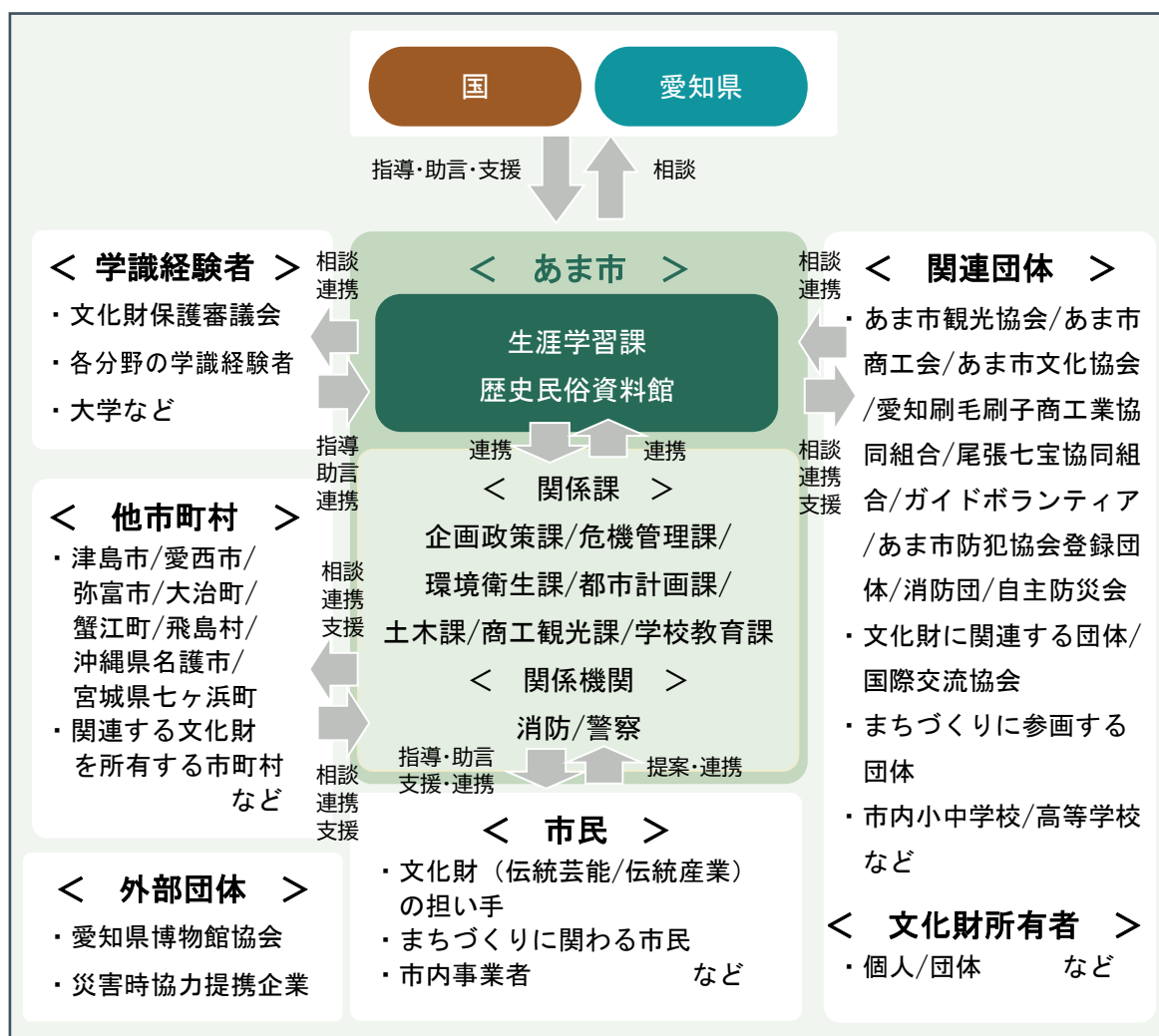
1. 文化財の保存・活用の推進体制

あま市の総合計画で掲げる将来像「ともに想い ともに創る ずっと大好きなまち“あま”」には、あま市に関わるすべての人が、それぞれの多様性を認め合い（共想）、多様な主体が一緒になってまちづくり（共創）を進めていくことにより、すべての人にとって“あま市”がずっと大好きなまちでいられるようにという願いが込められています。

文化財を保存・活用していく上でもこの将来像を目指し、市民や行政といった立場にかかわらず、それぞれができることを主体的に取り組んでいくことが必要です。

行政においては、本計画で示した取組は文化財の保存をはじめ、周辺環境の整備や文化財を活用した観光振興、防災・防犯対策、まちの魅力情報発信など、幅広い分野にわたることから、関係部局との庁内連携を一層強化し、施策を展開する必要があります。

あま市文化財保存・活用の推進体制



2. 各主体の役割

文化財の保存・活用を推進する取組主体を以下のように構成し、それぞれの役割を定めます。

【行政】

国	取組主体		役割、配置状況など
	文化庁		文化財の指定等・解除、文化財補助、文化財の保存・活用についての助言、指導など
	国立文化財機構 文化財防災センター		災害発生時の救援・支援
県	取組主体		役割、配置状況など
	県民文化局文化部 文化芸術課文化財室		文化財の指定・解除、文化財補助、文化財の保存・活用についての助言、指導、文化財防災センターへの支援の要請など
あま市	取組主体		役割、配置状況など
	担当課	生涯学習課	・ 歴史民俗資料館の管理、運営 ・ 歴史文化の紹介（展示）、調査研究、情報提供、教育普及 職員 4 名（うち専門職員 0 名）
	関係課	企画政策課	あま市の基本施策の企画、調査、総合調整、広報活動 など
		危機管理課	防災、消防、水防、防犯の推進
		環境衛生課	自然環境の保全や緑化の推進
		都市計画課	歴史文化を活かした都市計画、公園などの整備
		土木課	道路、河川、橋梁などの整備
		商工観光課	七宝焼の技術の記録・保存、あま市の観光や産業振興事業、文化財を生かした市の魅力の発信など （七宝焼アートヴィレッジ） 七宝焼の展示、技術の普及、魅力の紹介など ※商工観光課の所管 職員 4 名（うち専門職員 0 名）
	関係機関	消防	平時の防災対策、非常時の対応
		警察	平時の防犯対策、非常時の対応

【学識経験者、関連団体、文化財所有者、市民等】

取組主体		役割、配置状況など
学識経験者	あま市文化財保護審議会	専門的知見によるあま市の文化財の保護や活用に関する助言や指導 委員数 7名（考古学、歴史資料（古文書）、記念物（生物）、美術工芸（仏像）、文化財活用、民俗、地域連携、地域おこし）
	愛知県博物館協会	県内博物館などとの交流、情報提供・共有、学芸員の研究・交流支援など
	大学	まちづくり、防災、産業振興、教育、地域文化振興など多様な分野での取組の連携
関連団体	あま市観光協会	観光企画・案内、歴史文化の紹介、広報など
	あま市商工会	新たな特産品の開発、市内事業者の支援
	あま市文化協会	郷土芸能や伝統文化などの文化振興の推進
	愛知刷毛刷子商工業協同組合	刷毛産業の技術の継承、魅力の発信
	尾張七宝協同組合	尾張七宝の技術の継承、魅力の発信
	ガイドボランティア	あま市の観光スポットの紹介、歴史文化の紹介
	あま市防犯協会登録団体	平時の文化財防犯パトロールや防犯啓発活動など
	消防団	平時の避難訓練や防災・防犯の啓発、非常時の対応
	文化財に関連する団体	祭りや民俗文化の継承や、文化財の魅力の発信
	まちづくりに参画する団体	文化財を活用したイベントなどの開催、文化財の魅力の発信
	自主防災会	地域での自主的な備えや防災・防犯体制の構築
文化財所有者		文化財保護法に基づく文化財の保存・活用
市民		文化財の保存・活用推進活動への積極的な参画
他市町村	津島市/愛西市/弥富市/大治町/蟹江町/飛島村/沖縄県名護市/宮城県七ヶ浜町	文化財に関する定期的な情報交換及び災害時の相互協力による文化財の保護
外部団体		文化財に関する定期的な情報交換や、定期的な防災状況の共有、災害時の文化財保護

資料編

1. 作成経緯

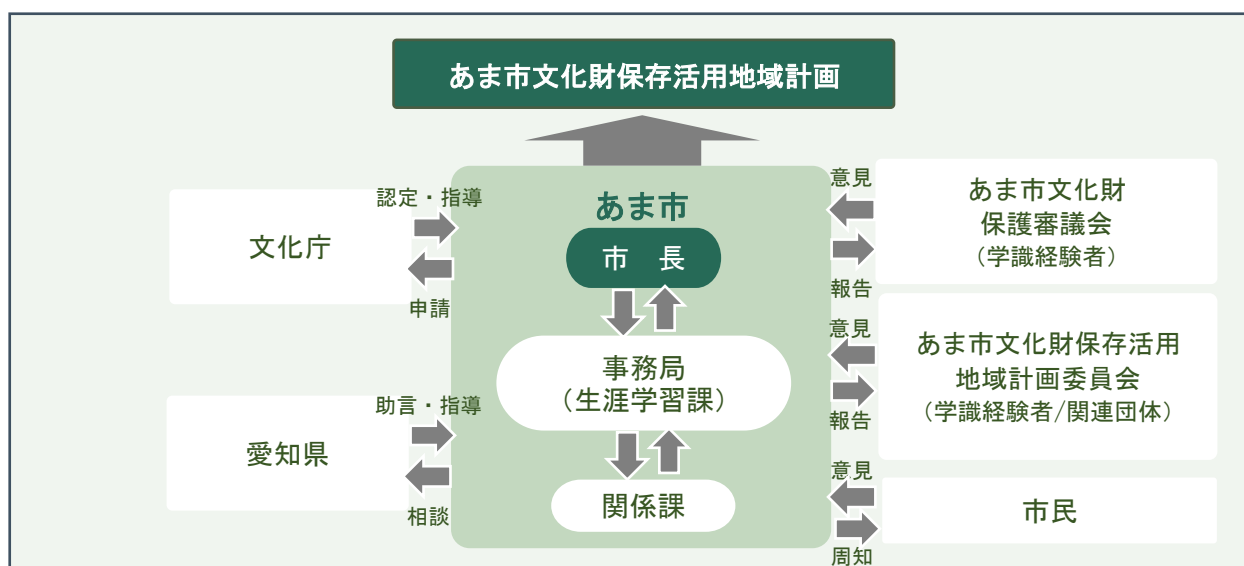
年度	月	内 容
令和4年度	令和4年 8月	第1回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 8月25日 議 題 (1) あま市文化財保存活用地域計画作成について (2) 委員会の日程及び内容について
	10月	市民アンケート調査 調査期間 10月5日～10月24日 調査対象 あま市在住の18歳以上の市民（無作為抽出） 調査方法 郵送による調査票の配布・回収、オンラインによる回答 配布数 2,000票 回収率 729票 36.5%
		中学生・高校生アンケート調査 調査期間 10月6日～10月17日 調査対象 あま市立中学2年生及びあま市内愛知県立高等学校2年生 調査方法 学校での調査票の配布、オンラインによる回答 配布数 中学生：826票 高校生：504票 回収率 中学生：769票 93.1% 高校生：429票 85.1%
	12月	第2回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 12月16日 議 題 (1) あま市の文化財の現状と特徴について (2) アンケート調査結果について
	令和5年 1月	文化庁協議 実施日 1月10日 場 所 文化庁地域文化創生本部 協議事項 (1) 地域計画の作成にあたっての注意事項 (2) 作成までのスケジュール
	2月～3月	関連団体ヒアリング調査 調査期間 2月から3月まで随時実施 調査対象 甚目寺/環境省希少野生動植物種保存推進員/愛知県立美和高等学校（校長）/愛知県刷毛刷子商工業協同組合組合（製造者）/あま市七宝焼アートヴィレッジ/甚目寺説教源氏節もくもく座/甚目寺地区内西今宿区（区長）/美和地区金岩コミュニティ（会長）/まちづくり活動団体（代表）/学生まちづくり活動団体（代表） 調査方法 対面による聞き取り調査
	3月	第3回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 3月17日 議 題 (1) ヒアリング調査の経過報告について (2) あま市文化財保存活用地域計画について
令和5年度	6月	第1回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実施日 6月27日 議 題 (1) あま市文化財保存活用地域計画骨子（案）について (2) 参加型ワークショップについて
	7月	市民ワークショップ 実施日 第1回：7月2日 第2回：7月23日 対 象 あま市民、あま市の歴史文化に興味がある人 参加人数 第1回：30名 第2回：20名 テーマ 第1回：あま市の歴史文化の魅力をみつけよう 第2回：あま市の歴史文化の魅力を語り合おう

年度	月	内 容
	7 月	文化庁協議 実 施 日 7 月 25 日 場 所 文化庁京都庁舎 内 容 調査結果の報告、計画作成方針の相談、進捗の確認、スケジュールの確認など
	10 月	第 2 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実 施 日 10 月 23 日 報 告 (1) 参加型ワークショップについて (2) 文化庁事前協議について 議 題 (1) あま市措置の表(案)について (2) あま市文化財保存活用地域計画骨子(案)について
	令和 6 年 1 月	文化庁調査官現地指導 実 施 日 1 月 17 日 場 所 あま市全域 (1) 甚目寺 (2) 萱津神社 (3) 七宝焼アートヴィレッジ (4) 蓮華寺 (5) 菊泉院 (6) 法蔵寺 内 容 市内の主な文化財について、文化庁調査官 2 名とあま市職員で現地指導を行った。
	2 月	第 3 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実 施 日 2 月 16 日 報 告 (1) 文化庁現地指導について 議 題 (1) あま市措置の表(案)について (2) あま市文化財保存活用地域計画骨子(案)について
	2 月～3 月	現地調査 実 施 日 2 月 7 日、2 月 26 日 調査対象 甚目寺観音、甚目寺と関連のある周辺の寺院 (漆部神社、光明寺(中萱津)、實成寺、法性寺、甚目寺、法花院、釈迦院、釈迦堂) 調査方法 各寺院へ訪問し、目視による資料の調査を行った。 内 容 文化財保存区域に設定する甚目寺周辺(甚目寺遺跡内)の寺院(甚目寺含む)について各寺院が所蔵する寺宝や資料などについて把握調査を行った。文献調査で挙げた文化財について、所在を確認した。
令和 6 年度	4 月	第 1 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実 施 日 4 月 30 日 議 題 (1) あま市文化財保存活用地域計画(案)について (2) パブリックコメントの実施について (3) 今後のスケジュールについて
	5 月～6 月	意見募集(パブリックコメント) 実施期間 5 月 10 日～6 月 8 日 意見を提出された方 2 名 意 見 数 17 件
	8 月	第 2 回あま市文化財保存活用地域計画委員会 実 施 日 8 月 20 日 議 題 (1) 意見募集(パブリックコメント)の結果について (2) あま市文化財保存活用地域計画(案)について

2. 作成体制

本計画は、以下のような体制で、文化庁や愛知県からの指導のもと、あま市文化財保護審議会やあま市文化財保存活用地域計画委員会で学識経験者や関連団体からの意見を徴収しつつ作成しました。また、市民アンケートやワークショップ、パブリックコメントを実施し、市民の意見も踏まえて計画を作成しています。

あま市文化財保存活用地域計画作成体制図



あま市文化財保存活用地域計画委員会 委員名簿

(敬称略・順不同)

No.	氏 名	経 歴	期 間
1	筒井 正	学識経験者（民俗） 名古屋商科大学講師	令和4年4月1日～
2	間野 隆裕	学識経験者（自然） 環境省希少野生動植物保存推進員	令和4年4月1日～
3	見田 隆鑑	学識経験者（歴史） 椋山女学園大学准教授	令和4年4月1日～
4	丸山 直哉	愛知県県民文化局文化部文化芸術課 文化財室	令和4年4月1日～令和5年3月31日
5	尾崎 綾亮	愛知県県民文化局文化部文化芸術課 文化財室	令和5年4月1日～
6	加藤 博紀	愛知県立美和高等学校（地域連携）	令和4年4月1日～
7	堀江 泰史	国指定重要文化財所有者（宗教法人甚目寺）	令和4年4月1日～令和5年3月31日
8	岡部 快基	国指定重要文化財所有者（宗教法人甚目寺）	令和5年4月1日～
9	出井 普順	国指定重要文化財所有者（法蔵寺）	令和4年4月1日～
10	溝口 紘	市民グループ「あまの神社仏閣へ行こう！ プロジェクト」	令和4年4月1日～
11	松岡 義雄	あま市商工会	令和4年4月1日～令和6年3月31日
12	黒木 博	あま市商工会	令和6年4月1日～
13	齋藤 知明	あま市観光協会	令和4年4月1日～
事務局			
1	松永 裕和	教育長	令和4年4月1日～令和5年3月31日
2	伊藤 克仁	教育長	令和5年4月1日～
3	鎌倉 崇志	教育部長	令和4年4月1日～
4	徳永 増美津	教育部次長	令和5年4月1日～令和6年3月31日
5	内山 伸也	生涯学習課長	令和4年4月1日～
6	小出 敏夫	生涯学習課主幹	令和6年4月1日～
7	近藤 博	生涯学習課主幹	令和4年4月1日～
8	後藤 好和	生涯学習課主幹	令和4年4月1日～令和5年3月31日
9	濱嶋 直樹	生涯学習課主幹	令和5年4月1日～令和6年3月31日
10	内山 智美	商工観光課主幹（七宝焼アートヴィレッジ）	令和4年4月1日～
11	入野 真由美	生涯学習課課長補佐	令和4年4月1日～
12	駒瀬 直輝	生涯学習課主査	令和4年4月1日～
13	渡邊 彩希	生涯学習課主査	令和4年4月1日～

3. 文化財リスト

あま市指定等文化財

令和6（2024）年8月現在

No.	類 型	名 称	指定等	所 在
1	建造物	甚目寺南大門	国指定	甚目寺東門前 24
2	建造物	甚目寺（三重塔/東門）	国指定	甚目寺東門前 24
3	美術工芸品（絵画）	絹本著色不動尊像	国指定	東京国立博物館（寄託）
4	美術工芸品（絵画）	絹本著色仏涅槃図	国指定	京都国立博物館（寄託）
5	美術工芸品（彫刻）	鉄造地藏菩薩立像	国指定	中橋郷中 43
6	美術工芸品（彫刻）	木造愛染明王坐像	国指定	名古屋市蓬左文庫（寄託）
7	美術工芸品（絵画）	金剛界及び胎蔵界曼荼羅	県指定	蜂須賀大寺 1352
8	美術工芸品（絵画）	田中訥言画蹟	県指定	甚目寺東門前 24
9	美術工芸品（彫刻）	木造仏頭	県指定	蜂須賀大寺 1352
10	美術工芸品（彫刻）	木造仁王像	県指定	甚目寺東門前 24
11	美術工芸品（工芸品）	瑞花双鸞八稜鏡	県指定	甚目寺歴史民俗資料館（寄託）
12	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	県指定	甚目寺東門前 24
13	美術工芸品（書跡・典籍）	法華経紫紙鎌倉版	県指定	蜂須賀大寺 1352
14	名勝地	蓮華寺庭園	県指定	蜂須賀大寺 1352
15	動物・植物・地質鉱物	下萱津の藤	県指定	下萱津未見取 1130-42
16	動物・植物・地質鉱物	遠島八幡神社のらかんまき	県指定	七宝町遠島宮西
17	動物・植物・地質鉱物	蓮華寺のかやの木	県指定	蜂須賀大寺 1352
18	美術工芸品（彫刻）	金銅阿弥陀如来立像	市指定	美和歴史民俗資料館（寄託）
19	美術工芸品（彫刻）	二十五菩薩面	市指定	蜂須賀大寺 1352
20	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	市指定	七宝町桂郷内 1608
21	美術工芸品（工芸品）	雲版	市指定	七宝町桂寺附 1679
22	美術工芸品（工芸品）	間取り花鳥文大花瓶	市指定	七宝町遠島十三割 2000
23	美術工芸品（書跡・典籍）	誹諧相伝名目	市指定	美和歴史民俗資料館
24	美術工芸品（古文書）	徳川家康筆 徳政免除證文	市指定	美和歴史民俗資料館
25	美術工芸品（歴史資料）	尾州海東郡富塚村御縄打水帳	市指定	美和歴史民俗資料館
26	有形の民俗文化財	甚目寺説教源氏節人形および正本 附その関連資料	市指定	甚目寺歴史民俗資料館
27	無形の民俗文化財	香の物祭	市指定	上萱津車屋 19
28	無形の民俗文化財	下之森オコワ祭	市指定	七宝町下之森屋敷 662
29	無形の民俗文化財	木田八剱社湯の花神事	市指定	木田宮東 16
30	無形の民俗文化財	二十五菩薩お練り供養	市指定	蜂須賀大寺 1352
31	遺跡	甚目寺境内地	市指定	甚目寺東門前 24
32	遺跡	七宝焼原産地道標	市指定	七宝町安松南辻田 2540
33	建造物	實成寺本堂	国登録	中萱津南宿 254
34	建造物	實成寺山門	国登録	中萱津南宿 254
35	無形の民俗文化財	尾張西部の子供ザイレン	国選択	美和地区富塚

※選択文化財である「尾張西部のオコワ祭」は、市指定文化財の「下之森オコワ祭」が該当

あま市未指定文化財

七宝地区

No.	類 型	名 称	所在地域等
1	建造物	瑞圓寺番神堂	沖之島
2	建造物	恵徳寺本堂等	沖之島
3	建造物	覚了寺本堂等	沖之島
4	美術工芸品（彫刻）	北屋敷の地蔵	沖之島
5	美術工芸品（彫刻）	中畑の地蔵	沖之島
6	美術工芸品（彫刻）	畑中の地蔵	沖之島
7	美術工芸品（彫刻）	南屋敷の地蔵	沖之島
8	美術工芸品（彫刻）	八軒屋敷の地蔵	沖之島
9	美術工芸品（彫刻）	出町の地蔵	沖之島
10	美術工芸品（歴史資料）	神明社透塀（北米移民者奉納）	沖之島
11	美術工芸品（歴史資料）	シンガポール陥落記念塔	沖之島
12	無形文化財	条里制遺構	沖之島
13	有形の民俗文化財	沖之島文久神楽	沖之島
14	無形の民俗文化財	おまつ生誕地	沖之島
15	無形の民俗文化財	御嶽講	沖之島
16	文化的景観	小切戸川	沖之島
17	文化的景観	土吐川排水機	沖之島
18	建造物	八幡神社社殿等	遠島
19	建造物	安了寺本堂等	遠島
20	美術工芸品（絵画）	観音菩薩画	遠島
21	美術工芸品（絵画）	観音菩薩画	遠島
22	美術工芸品（彫刻）	東ノ切の地蔵	遠島
23	美術工芸品（彫刻）	北ノ切の十一面観音・薬師如来	遠島
24	美術工芸品（彫刻）	中ノ切の地蔵	遠島
25	美術工芸品（彫刻）	南ノ切の地蔵	遠島
26	美術工芸品（歴史資料）	七宝焼起源碑	遠島
27	美術工芸品（歴史資料）	八幡社社標（北米移民者奉納）	遠島
28	美術工芸品（歴史資料）	八幡社灯籠（北米移民者奉納）	遠島
29	美術工芸品（歴史資料）	八幡社玉垣（北米移民者奉納）	遠島
30	美術工芸品（歴史資料）	林庄五郎翁顕彰碑	遠島
31	美術工芸品（歴史資料）	林小傳治翁善行碑	遠島
32	美術工芸品（歴史資料）	西屋敷開設の碑	遠島

No.	類 型	名 称	所在地域等
33	美術工芸品（歴史資料）	林小傳治翁善行碑	遠島
34	美術工芸品（歴史資料）	寶村長林傳十郎功労碑	遠島
35	無形文化財	島畑	遠島
36	無形の民俗文化財	地藏祭	遠島
37	無形の民俗文化財	津島太々講	遠島
38	文化的景観	マッカーサー道路	遠島
39	建造物	八剱社社殿等	安松
40	建造物	福寿泉寺本堂等	安松
41	美術工芸品（彫刻）	上屋敷の地藏	安松
42	美術工芸品（彫刻）	中屋敷の地藏	安松
43	美術工芸品（彫刻）	下屋敷の地藏	安松
44	美術工芸品（彫刻）	服部廣一之碑	安松
45	美術工芸品（書跡・典籍）	顕如上人御真筆四句壺連之御脇掛	安松
46	美術工芸品（歴史資料）	林藤松碑	安松
47	建造物	藤島神社社殿等	秋竹
48	建造物	直心寺本堂等	秋竹
49	建造物	教泉寺本堂等	秋竹
50	美術工芸品（絵画）	宗祖上人御絵伝	秋竹
51	美術工芸品（絵画）	宗祖上人真影	秋竹
52	美術工芸品（絵画）	達如上人真影	秋竹
53	美術工芸品（絵画）	信證院真影	秋竹
54	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	秋竹
55	美術工芸品（絵画）	宜如上人真影	秋竹
56	美術工芸品（絵画）	聖徳太子画像	秋竹
57	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	秋竹
58	美術工芸品（彫刻）	十一面観世音菩薩立像	秋竹
59	美術工芸品（彫刻）	勢至菩薩立像	秋竹
60	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	秋竹
61	美術工芸品（歴史資料）	梅村先生遺愛碑	秋竹
62	美術工芸品（歴史資料）	橘宗一少年墓碑	秋竹
63	美術工芸品（歴史資料）	棒の手先祖碑	秋竹
64	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（村の地藏）	秋竹
65	美術工芸品（彫刻）	石造馬頭観音	秋竹
66	文化的景観	佐屋路	秋竹
67	文化的景観	柳街道	秋竹

No.	類 型	名 称	所在地域等
68	建造物	八剱社社殿等	桂
69	建造物	広済寺本堂等	桂
70	美術工芸品（彫刻）	六地藏（蟹江合戦）	桂
71	美術工芸品（彫刻）	辻地藏	桂
72	美術工芸品（彫刻）	辻地藏	桂
73	美術工芸品（彫刻）	広済寺地藏	桂
74	美術工芸品（彫刻）	延命地藏	桂
75	美術工芸品（歴史資料）	八剱社棟札	桂
76	美術工芸品（歴史資料）	八剱社社標（北米移民者奉納）	桂
77	美術工芸品（歴史資料）	八剱社玉垣（北米移民者奉納）	桂
78	美術工芸品（歴史資料）	八剱社灯籠（北米移民者奉納）	桂
79	美術工芸品（歴史資料）	神明社棟札	桂
80	美術工芸品（歴史資料）	龍泉堂跡碑	桂
81	遺跡	桂城址	桂
82	遺跡	深田城址	桂
83	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（当村若キ者中）	下田
84	美術工芸品（彫刻）	地藏堂地藏	下田
85	美術工芸品（彫刻）	地藏堂地藏	下田
86	美術工芸品（歴史資料）	猪飼誉根雄碑（浚川底績）	下田
87	美術工芸品（歴史資料）	旧下田橋の橋柱	下田
88	美術工芸品（歴史資料）	春日神社鳥居（北米移民者奉納）	下田
89	無形の民俗文化財	御太子様	下田
90	無形の民俗文化財	弓掛松	下田
91	有形の民俗文化財	神楽	下田
92	文化的景観	弓掛橋	下田
93	建造物	河葉神社社殿等	川部
94	建造物	玉泉寺本堂	川部
95	建造物	吟松寺本堂等	川部
96	建造物	日妙寺本堂等	川部
97	建造物	七宝小学校 講堂	川部
98	建造物	七宝小学校 校門	川部
99	美術工芸品（歴史資料）	裾衣橋之碑	川部
100	無形の民俗文化財	奉射	川部
101	建造物	伊福部神社社殿等	伊福

No.	類 型	名 称	所在地域等
102	建造物	東光寺本堂等	伊福
103	建造物	盛願寺本堂等	伊福
104	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来立像	伊福
105	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来像	伊福
106	美術工芸品（彫刻）	薬師如来像	伊福
107	美術工芸品（彫刻）	蓮如上人像	伊福
108	美術工芸品（彫刻）	二之割の地蔵	伊福
109	美術工芸品（彫刻）	四之割の地蔵	伊福
110	美術工芸品（工芸品）	伊勢神宮灯籠	伊福
111	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	伊福
112	美術工芸品（書跡・典籍）	三部経	伊福
113	美術工芸品（歴史資料）	伊福部神社棟札	伊福
114	美術工芸品（歴史資料）	伊福部神社大燈籠（北米移民者奉納）	伊福
115	美術工芸品（歴史資料）	伊福部神社灯籠（北米移民者奉納）	伊福
116	美術工芸品（歴史資料）	伊福部神社玉垣一部（ブラジル移民者奉納）	伊福
117	美術工芸品（歴史資料）	鐘楼石垣（北米移民者奉納）	伊福
118	美術工芸品（歴史資料）	伊福部御厨舊地石碑	伊福
119	美術工芸品（歴史資料）	佐藤松太郎頌徳碑	伊福
120	美術工芸品（歴史資料）	伊福部神社透塀（北米移民者奉納）	伊福
121	有形の民俗文化財	神楽	伊福
122	動物・植物・地質鉱物	安寧祈念の木	伊福
123	建造物	八幡社社殿等	下之森
124	建造物	西光寺本堂等	下之森
125	美術工芸品（絵画）	親鸞上人画像	下之森
126	美術工芸品（絵画）	仏涅槃図	下之森
127	美術工芸品（絵画）	親鸞聖人御影	下之森
128	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	下之森
129	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	下之森
130	美術工芸品（彫刻）	誕生仏	下之森
131	美術工芸品（彫刻）	地蔵堂地蔵	下之森
132	美術工芸品（歴史資料）	八幡社棟札	下之森
133	建造物	諏訪社社殿等	徳実
134	美術工芸品（絵画）	仏涅槃図	徳実
135	美術工芸品（絵画）	拾三之図	徳実

No.	類 型	名 称	所在地域等
136	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	徳実
137	美術工芸品（絵画）	虚空像菩薩画像	徳実
138	美術工芸品（絵画）	法然上人一代記之図	徳実
139	美術工芸品（絵画）	十王図	徳実
140	美術工芸品（彫刻）	普賢菩薩立像	徳実
141	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	徳実
142	美術工芸品（彫刻）	弘法大師坐像	徳実
143	美術工芸品（彫刻）	出産釈迦像	徳実
144	美術工芸品（彫刻）	地藏堂地藏	徳実
145	美術工芸品（彫刻）	地藏堂地藏	徳実
146	美術工芸品（書跡・典籍）	花園金剛般若波羅密經	徳実
147	美術工芸品（歴史資料）	市野記念碑	徳実
148	美術工芸品（歴史資料）	角田俊徹僧正紀恩碑	徳実
149	建造物	春日神社社殿等	鷹居
150	建造物	宝長寺本堂等	鷹居
151	美術工芸品（彫刻）	薬師如来坐像	鷹居
152	美術工芸品（彫刻）	地藏堂地藏	鷹居
153	美術工芸品（歴史資料）	春日神社造営記念碑	鷹居
154	美術工芸品（歴史資料）	石原哲之助頌徳碑	鷹居
155	美術工芸品（歴史資料）	小家村石	鷹居
156	建造物	熊野社社殿等	鯉橋
157	建造物	徳念寺本堂等	鯉橋
158	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来立像図	鯉橋
159	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	鯉橋

令和 6 （2024）年 8 月現在

美和地区

No.	類 型	名 称	所在地域等
160	建造物	八剱社社殿等	木田
161	建造物	福田寺本堂等	木田
162	建造物	美和小学校校門	木田
163	建造物	煉瓦積鉄橋	木田
164	美術工芸品（彫刻）	辻地蔵（木田村中）	木田
165	美術工芸品（歴史資料）	大館高門の墓碑	木田
166	有形の民俗文化財	木田八剱社 湯の花神事用湯釜	木田
167	有形の民俗文化財	木田地区の山車	木田
168	無形の民俗文化財	茅の輪神事（八剱社）	木田
169	文化的景観	津島街道旧商店街	木田
170	建造物	貴船社社殿等	乙之子
171	建造物	宝篋印塔	乙之子
172	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	乙之子
173	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	乙之子
174	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子像	乙之子
175	美術工芸品（彫刻）	辻地蔵（乙之子村中）	乙之子
176	美術工芸品（彫刻）	石造馬頭観音像（願主要助）	乙之子
177	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	乙之子
178	美術工芸品（彫刻）	西国三十三所観音像（北米移民者奉納）	乙之子
179	美術工芸品（古文書）	水論文書「指上申済口証文之事」	乙之子
180	美術工芸品（歴史資料）	貴船社棟札	乙之子
181	美術工芸品（歴史資料）	三分寺之碑	乙之子
182	美術工芸品（歴史資料）	貴船社扁額	乙之子
183	遺跡	伝三位法印宅跡	乙之子
184	建造物	白山社社殿等	木折
185	美術工芸品（彫刻）	弘法大師坐像	木折
186	美術工芸品（彫刻）	辻地蔵（木折地蔵講中）	木折
187	美術工芸品（彫刻）	石造馬頭観音像（木折想若イ者連中）	木折
188	美術工芸品（彫刻）	石造馬頭観音像（木屋連中）	木折
189	美術工芸品（歴史資料）	白山社火袋（小川關治郎奉納）	木折
190	美術工芸品（歴史資料）	白山社社標等（木折嫁獅子連中奉納）	木折
191	美術工芸品（歴史資料）	白山社嫁獅子の里碑	木折
192	美術工芸品（歴史資料）	白山社灯籠（嫁獅子連中奉納）	木折

No.	類 型	名 称	所在地域等
193	美術工芸品（歴史資料）	白山社幟立（嫁獅子連中奉納）	木折
194	美術工芸品（歴史資料）	万力伊兵衛塚	木折
195	無形文化財	条里制遺構	木折
196	建造物	福昭寺本堂	北苅
197	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（北苅村中寄進）	北苅
198	美術工芸品（彫刻）	石造 馬頭観音像（金ノ連中）	北苅
199	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（北苅村中寄進）	北苅
200	無形文化財	条里制遺構	北苅
201	無形の民俗文化財	孟蘭盆会	北苅
202	建造物	八幡社社殿等	古道
203	建造物	八幡社灯籠（給人水野権大夫奉納）	古道
204	美術工芸品（彫刻）	石造阿弥陀如来立像	古道
205	美術工芸品（歴史資料）	八幡社棟札	古道
206	建造物	縣明社社殿等	小橋方
207	建造物	弘誓寺本堂等	小橋方
208	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	小橋方
209	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（小橋方村）	小橋方
210	美術工芸品（古文書）	地方文書	小橋方
211	美術工芸品（歴史資料）	縣明社鳥居（伊藤萬太郎奉納）	小橋方
212	美術工芸品（歴史資料）	縣明社透塀（北米移民者奉納）	小橋方
213	美術工芸品（歴史資料）	本尊縁起文	小橋方
214	美術工芸品（歴史資料）	奉納大乘妙典六十六部廻国供養塔	小橋方
215	建造物	白山社社殿等	篠田
216	建造物	神明社社殿等	篠田
217	建造物	秋葉社社殿等	篠田
218	建造物	神明社奏樂堂（堀田桑太郎造）	篠田
219	建造物	桑光寺本堂等	篠田
220	建造物	福栄寺本堂等	篠田
221	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	篠田
222	美術工芸品（彫刻）	仏涅槃図	篠田
223	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	篠田
224	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	篠田
225	美術工芸品（彫刻）	弘法大師坐像	篠田
226	美術工芸品（彫刻）	法然上人坐像	篠田

No.	類 型	名 称	所在地域等
227	美術工芸品（彫刻）	善導大師坐像	篠田
228	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩立像	篠田
229	美術工芸品（彫刻）	上大門の地藏	篠田
230	美術工芸品（彫刻）	天野屋の地藏	篠田
231	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（小塚地藏連中）	篠田
232	美術工芸品（彫刻）	南組の地藏	篠田
233	美術工芸品（彫刻）	石造 如意輪観音像（歯痛どめ地藏）	篠田
234	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	篠田
235	美術工芸品（歴史資料）	楠枝先生碑（筆塚）	篠田
236	美術工芸品（歴史資料）	山田惣四郎供養碑（北米移民者供養碑）	篠田
237	美術工芸品（歴史資料）	宮地彦三郎供養碑（北米移民者供養碑）	篠田
238	美術工芸品（歴史資料）	楠枝先生碑	篠田
239	美術工芸品（歴史資料）	篠田尋常小学校額（井上馨筆）	篠田
240	美術工芸品（歴史資料）	山田好忠大人之碑	篠田
241	美術工芸品（歴史資料）	教傳先生碑	篠田
242	美術工芸品（歴史資料）	俳優 尾上松幸碑	篠田
243	美術工芸品（歴史資料）	治水之碑（篠田悪水記念碑）	篠田
244	無形の民俗文化財	葛の葉狐の伝説	篠田
245	遺跡	篠田廃寺跡（如来遺跡）	篠田
246	建造物	神明社社殿等	丹波
247	建造物	正念寺本堂	丹波
248	美術工芸品（絵画）	仏涅槃図（伊藤次郎左衛門奉納）	丹波
249	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	丹波
250	美術工芸品（彫刻）	仏涅槃図（伊藤次郎左衛門奉納）	丹波
251	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（丹波村若者中）	丹波
252	美術工芸品（彫刻）	石造 千手観音立像	丹波
253	美術工芸品（古文書）	水論文書	丹波
254	美術工芸品（歴史資料）	治水記念碑（五八悪水記念碑）	丹波
255	美術工芸品（歴史資料）	西部水道水源地碑	丹波
256	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	富塚
257	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	富塚
258	美術工芸品（彫刻）	石造 阿弥陀如来立像	富塚
259	美術工芸品（彫刻）	石造 馬頭観音像（若竹連中）	富塚
260	美術工芸品（古文書）	富塚 鬼頭家文書 一括	富塚

No.	類 型	名 称	所在地域等
261	無形文化財	条里制遺構	富塚
262	無形文化財	島畑	富塚
263	無形の民俗文化財	津島街道一里塚	富塚
264	美術工芸品（古文書）	富塚學校資料 一括	富塚
265	無形の民俗文化財	提灯まつり	富塚
266	建造物	神明社社殿等	中橋
267	建造物	法蔵寺本堂等	中橋
268	美術工芸品（歴史資料）	法蔵寺道標	中橋
269	美術工芸品（歴史資料）	開運子安延命地藏尊法蔵寺 道標	中橋
270	建造物	八幡社社殿等	蜂須賀
271	建造物	蓮華寺大師堂	蜂須賀
272	建造物	八剎社社殿等	蜂須賀
273	建造物	菅安社社殿等	蜂須賀
274	建造物	仁王門	蜂須賀
275	建造物	源左橋	蜂須賀
276	美術工芸品（絵画）	十二天画像	蜂須賀
277	美術工芸品（絵画）	釈迦涅槃画像	蜂須賀
278	美術工芸品（絵画）	三千仏画像	蜂須賀
279	美術工芸品（絵画）	八祖尊影	蜂須賀
280	美術工芸品（絵画）	不動明王画像	蜂須賀
281	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	蜂須賀
282	美術工芸品（絵画）	蜂須賀正勝肖像画	蜂須賀
283	美術工芸品（絵画）	蜂須賀家政肖像画	蜂須賀
284	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	蜂須賀
285	美術工芸品（彫刻）	不動明王像	蜂須賀
286	美術工芸品（彫刻）	多門天像	蜂須賀
287	美術工芸品（彫刻）	毘沙門天像	蜂須賀
288	美術工芸品（彫刻）	仁王像	蜂須賀
289	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	蜂須賀
290	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子像	蜂須賀
291	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（中嶋内者中）	蜂須賀
292	美術工芸品（彫刻）	本郷の地藏（蓮華寺参道東）	蜂須賀
293	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（蓮華寺参道西：若者中）	蜂須賀
294	美術工芸品（彫刻）	花木の地藏	蜂須賀

No.	類 型	名 称	所在地域等
295	美術工芸品（工芸品）	八幡社陶製狛犬	蜂須賀
296	美術工芸品（工芸品）	松虫の鈴	蜂須賀
297	美術工芸品（工芸品）	菩提樹の念珠	蜂須賀
298	美術工芸品（工芸品）	水晶の念珠	蜂須賀
299	美術工芸品（工芸品）	五鈷杵	蜂須賀
300	美術工芸品（工芸品）	三鈷杵	蜂須賀
301	美術工芸品（工芸品）	泥塔	蜂須賀
302	美術工芸品（工芸品）	金剛五鈷鈴	蜂須賀
303	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	蜂須賀
304	美術工芸品（書跡・典籍）	般若心經	蜂須賀
305	美術工芸品（書跡・典籍）	舍利講式	蜂須賀
306	美術工芸品（書跡・典籍）	五部秘經	蜂須賀
307	美術工芸品（書跡・典籍）	秘鈔	蜂須賀
308	美術工芸品（古文書）	縁起文	蜂須賀
309	美術工芸品（古文書）	歴代尾張藩主黒印状	蜂須賀
310	美術工芸品（古文書）	蜂須賀家政書状	蜂須賀
311	美術工芸品（歴史資料）	灌頂秘密函	蜂須賀
312	美術工芸品（歴史資料）	蓮華寺本堂棟札	蜂須賀
313	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀正勝・家政墓碑	蜂須賀
314	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀小六正勝公碑	蜂須賀
315	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀城跡の石碑	蜂須賀
316	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀小六正勝公旧宅跡碑	蜂須賀
317	美術工芸品（歴史資料）	蜂塚之碑	蜂須賀
318	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀尋常小学校額（蜂須賀茂詔筆）	蜂須賀
319	美術工芸品（歴史資料）	大灯籠一對（津島街道沿い）	蜂須賀
320	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀弘法道標（津島街道沿い）	蜂須賀
321	美術工芸品（歴史資料）	松屋源助碑（蓮華寺内）	蜂須賀
322	美術工芸品（歴史資料）	松屋柳右衛門碑（蓮華寺内）	蜂須賀
323	美術工芸品（歴史資料）	句碑花木星太郎（蓮華寺内）	蜂須賀
324	美術工芸品（歴史資料）	三宅村牛頭天王道 道標	蜂須賀
325	美術工芸品（歴史資料）	蜂須賀正勝公遺跡保存会碑	蜂須賀
326	無形の民俗文化財	鎮守宮（蓮華寺内）	蜂須賀
327	無形の民俗文化財	新四国八十八力所（蓮華寺内）	蜂須賀

No.	類 型	名 称	所在地域等
328	無形の民俗文化財	蜂須賀の嫁入り	蜂須賀
329	無形の民俗文化財	地藏担ぎ	蜂須賀
330	無形の民俗文化財	花のとう（蓮華寺）	蜂須賀
331	遺跡	蜂須賀小六正勝旧宅跡	蜂須賀
332	遺跡	札掛之松	蜂須賀
333	動物・植物・地質鉱物	シャシャンボ	蜂須賀
334	動物・植物・地質鉱物	イチイガシ	蜂須賀
335	動物・植物・地質鉱物	シラカシ	蜂須賀
336	動物・植物・地質鉱物	アカガシ	蜂須賀
337	動物・植物・地質鉱物	ヤブツバキ	蜂須賀
338	動物・植物・地質鉱物	モチノキ	蜂須賀
339	動物・植物・地質鉱物	イスノキ	蜂須賀
340	動物・植物・地質鉱物	カクレミノ	蜂須賀
341	動物・植物・地質鉱物	ヒメユズリハ	蜂須賀
342	動物・植物・地質鉱物	ヤブニツケイ	蜂須賀
343	動物・植物・地質鉱物	アオキ	蜂須賀
344	動物・植物・地質鉱物	ネズミモチ	蜂須賀
345	動物・植物・地質鉱物	ヒサカキ	蜂須賀
346	動物・植物・地質鉱物	ミズヒキ	蜂須賀
347	動物・植物・地質鉱物	ヤブミョウガ	蜂須賀
348	文化的景観	蜂須賀山	蜂須賀
349	建造物	八所神社舞殿（堀田桑太郎造）	花長
350	建造物	八所神本殿等	花長
351	美術工芸品（彫刻）	辻地藏	花長
352	美術工芸品（彫刻）	尾張西国三十三所観音像	花長
353	美術工芸品（歴史資料）	八所神社鳥居（樺太移民者奉納）	花長
354	美術工芸品（歴史資料）	八所神社棟札	花長
355	美術工芸品（歴史資料）	八所神社灯籠（油屋彦兵衛奉納）	花長
356	美術工芸品（歴史資料）	石造 聖観音像（道標）	花長
357	有形の民俗文化財	おもかる石	花長
358	建造物	神明社社標	花正
359	建造物	法光寺本堂等	花正
360	建造物	光照寺本堂等	花正
361	建造物	観音寺本堂等	花正

No.	類 型	名 称	所在地域等
362	建造物	キリシタン灯籠	花正
363	建造物	キリシタン灯籠	花正
364	美術工芸品（彫刻）	聖観世音菩薩立像	花正
365	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	花正
366	美術工芸品（彫刻）	郷中の地蔵	花正
367	美術工芸品（歴史資料）	供養碑（松平君山供養碑）	花正
368	美術工芸品（歴史資料）	尾張藩士中川典高墓碑	花正
369	美術工芸品（歴史資料）	廻国供養塔（観音寺墓地）	花正
370	美術工芸品（歴史資料）	竹田安太郎供養碑（北米移民者）	花正
371	遺跡	伝コンスタンチノの屋敷跡	花正
372	建造物	日吉社本殿（堀田桑太郎造）	東溝口
373	建造物	日吉社社殿等	東溝口
374	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	東溝口
375	美術工芸品（彫刻）	聖観音菩薩立像	東溝口
376	美術工芸品（彫刻）	不動明王立像	東溝口
377	美術工芸品（彫刻）	弘法大師坐像	東溝口
378	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	東溝口
379	美術工芸品（彫刻）	薬師如来坐像	東溝口
380	美術工芸品（彫刻）	上之切の地蔵	東溝口
381	美術工芸品（彫刻）	中之切の地蔵	東溝口
382	美術工芸品（彫刻）	下之切の地蔵	東溝口
383	美術工芸品（彫刻）	薬師如来の胎内仏	東溝口
384	美術工芸品（歴史資料）	神明社棟札	東溝口
385	美術工芸品（歴史資料）	日吉社棟札	東溝口
386	建造物	白山社社殿他	金岩
387	建造物	月中庵本堂等	金岩
388	建造物	金岩大杣橋	金岩
389	美術工芸品（彫刻）	愛染明王坐像	金岩
390	美術工芸品（彫刻）	歓喜聖天像	金岩
391	美術工芸品（彫刻）	釈迦牟尼仏坐像	金岩
392	美術工芸品（彫刻）	石造 地蔵菩薩立像（金岩村若者）	金岩
393	美術工芸品（彫刻）	石造 馬頭観音像（早風連中）	金岩
394	美術工芸品（彫刻）	石造 馬頭観音像（なんば連中）	金岩
395	美術工芸品（歴史資料）	白山社棟札	金岩

No.	類 型	名 称	所在地域等
396	有形の民俗文化財	数珠繰り用の大数珠	金岩
397	無形の民俗文化財	百万遍数珠繰り	金岩
398	無形の民俗文化財	ダンゴモライ	金岩
399	無形の民俗文化財	御精霊送り	金岩
400	文化的景観	蟹江川	金岩
401	文化的景観	大江幹線水路	金岩
402	建造物	十二所社社殿等	森山
403	建造物	慶雲寺本堂	森山
404	美術工芸品（彫刻）	十一面観世音立像	森山
405	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（森山念仏講中）	森山
406	美術工芸品（彫刻）	石造 如意輪観音像	森山
407	美術工芸品（歴史資料）	雪操庵呂江墓碑	森山
408	美術工芸品（歴史資料）	足立道雄先生碑	森山
409	美術工芸品（歴史資料）	五ヶ条御誓文碑（十二所社内）	森山
410	建造物	神明社社殿等	二ツ寺
411	建造物	月之宮社社殿等	二ツ寺
412	建造物	菊泉院本堂等	二ツ寺
413	建造物	薬師寺本堂等	二ツ寺
414	建造物	正則橋	二ツ寺
415	美術工芸品（彫刻）	薬師如来坐像	二ツ寺
416	美術工芸品（彫刻）	寺山の地藏	二ツ寺
417	美術工芸品（彫刻）	西瀬古の地藏	二ツ寺
418	美術工芸品（彫刻）	市場の地藏	二ツ寺
419	美術工芸品（彫刻）	東瀬古の地藏	二ツ寺
420	美術工芸品（彫刻）	千疋の地藏	二ツ寺
421	美術工芸品（彫刻）	石造 千手観音立像	二ツ寺
422	美術工芸品（彫刻）	毘沙門天立像	二ツ寺
423	美術工芸品（彫刻）	日光・月光菩薩立像	二ツ寺
424	美術工芸品（彫刻）	薬師如来坐像	二ツ寺
425	美術工芸品（彫刻）	十二神将	二ツ寺
426	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	二ツ寺
427	美術工芸品（彫刻）	不動明王立像	二ツ寺
428	美術工芸品（古文書）	福島正則公仰書之写	二ツ寺
429	美術工芸品（歴史資料）	神明社棟札	二ツ寺

No.	類 型	名 称	所在地域等
430	美術工芸品（歴史資料）	福島正則公像及び裏書	二ツ寺
431	美術工芸品（歴史資料）	福島正則公位牌	二ツ寺
432	美術工芸品（歴史資料）	福島正則公五輪塔	二ツ寺
433	美術工芸品（歴史資料）	福島正則公誕生地碑	二ツ寺
434	有形の民俗文化財	力石	二ツ寺
435	遺跡	福島正則誕生地	二ツ寺
436	遺跡	二ツ寺神明社古墳	二ツ寺
437	文化的景観	二ツ寺井筋	二ツ寺
438	文化的景観	大江川	二ツ寺

令和6（2024）年8月現在

甚目寺地区

No.	類 型	名 称	所在地域等
439	建造物	織部灯籠（明応元年銘）	森
440	建造物	中杜神社社殿等	森
441	建造物	八幡社社殿等	森
442	建造物	願正寺本堂等	森
443	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	森
444	美術工芸品（絵画）	実如上人画像	森
445	美術工芸品（絵画）	證如上人画像	森
446	美術工芸品（絵画）	親鸞上人画像	森
447	美術工芸品（絵画）	聖徳太子画像	森
448	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	森
449	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	森
450	美術工芸品（彫刻）	銅造阿弥陀如来立像	森
451	美術工芸品（彫刻）	辻地蔵	森
452	美術工芸品（彫刻）	石造馬頭観音（鼻瘤連中）	森
453	美術工芸品（彫刻）	石造馬頭観音（木屋連中）	森
454	美術工芸品（工芸品）	梵鐘（寛政七年銘）	森
455	美術工芸品（書跡・典籍）	九字名号	森
456	美術工芸品（古文書）	実如消息	森
457	美術工芸品（歴史資料）	道標（八神街道）	森
458	文化的景観	福田川（東源寺杵）	森
459	美術工芸品（彫刻）	四辻の地蔵	方領
460	無形文化財	方領大根	方領
461	建造物	石作神社社殿等	石作
462	美術工芸品（彫刻）	辻地蔵	石作
463	美術工芸品（歴史資料）	石作神社篇額	石作
464	美術工芸品（歴史資料）	石作神社棟札	石作
465	無形文化財	尾張節成胡瓜	石作
466	遺跡	作戦司令室跡（清洲飛行場作戦室跡）	石作
467	文化的景観	平和橋	石作
468	建造物	神明社社殿等	小路
469	美術工芸品（彫刻）	石造阿弥陀如来立像	小路
470	建造物	笠塔婆塔身（永徳三年銘）	新居屋
471	建造物	法性寺本堂等	新居屋

No.	類 型	名 称	所在地域等
472	建造物	西光寺本堂等	新居屋
473	建造物	普光寺本堂等	新居屋
474	建造物	新居屋橋	新居屋
475	美術工芸品（絵画）	十一面観音立像	新居屋
476	美術工芸品（絵画）	薬師如来画像	新居屋
477	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	新居屋
478	美術工芸品（絵画）	十一面観音画像	新居屋
479	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像	新居屋
480	美術工芸品（絵画）	蓮如上人画像	新居屋
481	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	新居屋
482	美術工芸品（絵画）	親鸞上人画像	新居屋
483	美術工芸品（絵画）	聖徳太子画像	新居屋
484	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	新居屋
485	美術工芸品（絵画）	宗祖画像	新居屋
486	美術工芸品（絵画）	聖徳太子画像	新居屋
487	美術工芸品（絵画）	阿弥陀如来画像	新居屋
488	美術工芸品（絵画）	七高僧画像	新居屋
489	美術工芸品（絵画）	聖徳太子画像	新居屋
490	美術工芸品（絵画）	宗祖絵伝	新居屋
491	美術工芸品（絵画）	赤林孫七郎肖像	新居屋
492	美術工芸品（彫刻）	本尊薬師坐像	新居屋
493	美術工芸品（彫刻）	大日如来坐像	新居屋
494	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀三尊坐像	新居屋
495	美術工芸品（彫刻）	日光・月光菩薩立像	新居屋
496	美術工芸品（彫刻）	寺門前西の地藏（念仏講中）	新居屋
497	美術工芸品（彫刻）	寺門前東の地藏（当村講中）	新居屋
498	美術工芸品（彫刻）	伝小野小町持念仏	新居屋
499	美術工芸品（工芸品）	梵鐘（伝真清田神社）	新居屋
500	美術工芸品（工芸品）	梵鐘（宝永二年銘）	新居屋
501	美術工芸品（工芸品）	鰐口（寛文十年銘）	新居屋
502	美術工芸品（書跡・典籍）	九字名号	新居屋
503	美術工芸品（書跡・典籍）	六字名号	新居屋
504	美術工芸品（書跡・典籍）	豊国大明神御神号書	新居屋
505	美術工芸品（古文書）	法性寺縁起	新居屋

No.	類 型	名 称	所在地域等
506	美術工芸品（歴史資料）	清明塚	新居屋
507	美術工芸品（歴史資料）	小町塚	新居屋
508	美術工芸品（歴史資料）	什物帳	新居屋
509	美術工芸品（歴史資料）	法性寺所蔵資料一括	新居屋
510	美術工芸品（考古資料）	単弁蓮華文軒丸瓦	新居屋
511	無形の民俗文化財	新屋連	新居屋
512	遺跡	法性寺跡	新居屋
513	美術工芸品（彫刻）	辻地藏（小今宿村中）	栄
514	建造物	宝満寺本堂等	西今宿
515	建造物	松葉神社社殿等	西今宿
516	美術工芸品（彫刻）	領家の地藏	西今宿
517	美術工芸品（彫刻）	金山社前の地藏	西今宿
518	美術工芸品（彫刻）	北屋敷の地藏	西今宿
519	美術工芸品（彫刻）	宿屋の地藏	西今宿
520	美術工芸品（歴史資料）	源氏節顕彰碑	西今宿
521	美術工芸品（歴史資料）	山崎翁頌徳碑	西今宿
522	美術工芸品（歴史資料）	源氏節師匠顕彰碑	西今宿
523	美術工芸品（歴史資料）	源氏節門人碑	西今宿
524	美術工芸品（歴史資料）	日吉社旧地碑	西今宿
525	美術工芸品（歴史資料）	表忠碑（金山神社内）	西今宿
526	無形文化財	刷毛製造技術	西今宿
527	無形の民俗文化財	小夜姫伝説	西今宿
528	文化的景観	藤堂街道	西今宿
529	建造物	甚目寺六角堂等	甚目寺
530	建造物	円周寺本堂等	甚目寺
531	美術工芸品（絵画）	不動明王画像	甚目寺
532	美術工芸品（絵画）	聖観音画像	甚目寺
533	美術工芸品（絵画）	仏涅槃図	甚目寺
534	美術工芸品（絵画）	薬師・釈迦・阿弥陀三尊図	甚目寺
535	美術工芸品（絵画）	三千仏図	甚目寺
536	美術工芸品（絵画）	釈迦十六善神図	甚目寺
537	美術工芸品（絵画）	釈迦十六善神図	甚目寺
538	美術工芸品（絵画）	十三仏図	甚目寺
539	美術工芸品（絵画）	阿弥陀三尊来迎図	甚目寺

No.	類 型	名 称	所在地域等
540	美術工芸品（絵画）	阿弥陀三尊来迎図	甚目寺
541	美術工芸品（絵画）	両界曼荼羅	甚目寺
542	美術工芸品（絵画）	両界種字曼荼羅	甚目寺
543	美術工芸品（絵画）	光明真言曼荼羅	甚目寺
544	美術工芸品（絵画）	准胝普賢曼荼羅	甚目寺
545	美術工芸品（絵画）	虚空像菩薩画像	甚目寺
546	美術工芸品（絵画）	准胝観音画像	甚目寺
547	美術工芸品（絵画）	十一面観音画像	甚目寺
548	美術工芸品（絵画）	如意輪観音画像	甚目寺
549	美術工芸品（絵画）	地藏菩薩画像	甚目寺
550	美術工芸品（絵画）	不動明王画像	甚目寺
551	美術工芸品（絵画）	伝愛染明王画像	甚目寺
552	美術工芸品（絵画）	日天画像	甚目寺
553	美術工芸品（絵画）	八幡菩薩画像	甚目寺
554	美術工芸品（絵画）	弘法大師画像	甚目寺
555	美術工芸品（絵画）	弘法大師画像	甚目寺
556	美術工芸品（絵画）	理源大師画像	甚目寺
557	美術工芸品（絵画）	天神画像	甚目寺
558	美術工芸品（絵画）	三尊来迎像画（伝恵心筆）	甚目寺
559	美術工芸品（絵画）	織田信長画像	甚目寺
560	美術工芸品（彫刻）	木造十王坐像及び毘奈耶婆坐像	甚目寺
561	美術工芸品（彫刻）	四天王立像	甚目寺
562	美術工芸品（彫刻）	狛犬（木造彩色）	甚目寺
563	美術工芸品（彫刻）	聖観世音菩薩立像	甚目寺
564	美術工芸品（彫刻）	聖観上人坐像	甚目寺
565	美術工芸品（彫刻）	興教大師坐像	甚目寺
566	美術工芸品（彫刻）	三十三観音像	甚目寺
567	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来立像（伝恵心作）	甚目寺
568	美術工芸品（彫刻）	御狙様	甚目寺
569	美術工芸品（彫刻）	寶頭顱像（本堂内）	甚目寺
570	美術工芸品（彫刻）	十一面観音立像	甚目寺
571	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀如来坐像	甚目寺
572	美術工芸品（彫刻）	善光寺如来坐像	甚目寺
573	美術工芸品（彫刻）	聖観音立像	甚目寺

No.	類 型	名 称	所在地域等
574	美術工芸品（彫刻）	不動明王立像	甚目寺
575	美術工芸品（彫刻）	十一面観音立像	甚目寺
576	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩立像	甚目寺
577	美術工芸品（彫刻）	大日如来坐像	甚目寺
578	美術工芸品（彫刻）	薬師如来坐像	甚目寺
579	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩立像	甚目寺
580	美術工芸品（彫刻）	十一面観音坐像	甚目寺
581	美術工芸品（彫刻）	弥陀如来立像	甚目寺
582	美術工芸品（彫刻）	聖観音立像	甚目寺
583	美術工芸品（彫刻）	天満天神坐像	甚目寺
584	美術工芸品（彫刻）	懸仏（伝室町時代作）	甚目寺
585	美術工芸品（彫刻）	将軍地藏尊像	甚目寺
586	美術工芸品（彫刻）	薬師仏坐像	甚目寺
587	美術工芸品（彫刻）	十一面観音立像	甚目寺
588	美術工芸品（彫刻）	聖観世音立像	甚目寺
589	美術工芸品（彫刻）	延命普賢菩薩立像	甚目寺
590	美術工芸品（彫刻）	智慶上人坐像	甚目寺
591	美術工芸品（彫刻）	弘法大師坐像	甚目寺
592	美術工芸品（彫刻）	善光寺如来立像	甚目寺
593	美術工芸品（彫刻）	聖徳太子立像	甚目寺
594	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩立像	甚目寺
595	美術工芸品（彫刻）	東辻の地藏	甚目寺
596	美術工芸品（工芸品）	鉦（天保十五年銘）	甚目寺
597	美術工芸品（工芸品）	梵鐘	甚目寺
598	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（寛政十二年銘）	甚目寺
599	美術工芸品（工芸品）	鰐口（本堂内）	甚目寺
600	美術工芸品（書跡・典籍）	九字名号	甚目寺
601	美術工芸品（書跡・典籍）	法華經	甚目寺
602	美術工芸品（書跡・典籍）	紺紙金字法華經	甚目寺
603	美術工芸品（古文書）	甚目寺古誌記一卷	甚目寺
604	美術工芸品（古文書）	福島正則書状	甚目寺
605	美術工芸品（古文書）	法眼憲清奉書	甚目寺
606	美術工芸品（古文書）	織田信雄判物	甚目寺
607	美術工芸品（古文書）	織田信雄奉行人連署奉書	甚目寺

No.	類 型	名 称	所在地域等
608	美術工芸品（古文書）	織田信雄家臣連署状	甚目寺
609	美術工芸品（古文書）	田中吉政書状	甚目寺
610	美術工芸品（古文書）	駒井重勝書状	甚目寺
611	美術工芸品（古文書）	豊臣秀吉朱印状	甚目寺
612	美術工芸品（古文書）	豊臣秀吉奉行人連署状写	甚目寺
613	美術工芸品（古文書）	伊奈忠次判物	甚目寺
614	美術工芸品（古文書）	松平忠吉朱印状	甚目寺
615	美術工芸品（古文書）	徳川義直黒印状	甚目寺
616	美術工芸品（古文書）	甚目寺縁起（文永元年写）	甚目寺
617	美術工芸品（古文書）	甚目寺縁起（承応元年写）	甚目寺
618	美術工芸品（古文書）	甚目寺所蔵資料一括	甚目寺
619	美術工芸品（古文書）	釈迦院所蔵資料一括	甚目寺
620	美術工芸品（古文書）	釈迦堂所蔵資料一括	甚目寺
621	美術工芸品（考古資料）	古瓦十四個	甚目寺
622	美術工芸品（考古資料）	甚目寺遺跡出土資料	甚目寺
623	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺南大門棟札	甚目寺
624	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺南大門扁額	甚目寺
625	美術工芸品（歴史資料）	日露戦役戦病死者慰霊塔	甚目寺
626	美術工芸品（歴史資料）	元飛行場開拓記念碑	西今宿
627	美術工芸品（歴史資料）	塔心礎	甚目寺
628	美術工芸品（歴史資料）	松平君山遺愛碑	甚目寺
629	美術工芸品（歴史資料）	道標二基（津島街道道標）	甚目寺
630	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺境内図	甚目寺
631	美術工芸品（歴史資料）	庚申塚	甚目寺
632	美術工芸品（歴史資料）	毘沙門天版木	甚目寺
633	美術工芸品（歴史資料）	和春亭花頼碑（甚目寺内）	甚目寺
634	美術工芸品（歴史資料）	道標（あらこ道）	甚目寺
635	美術工芸品（歴史資料）	大乘妙典六十六部茶所成就供養碑	甚目寺
636	美術工芸品（歴史資料）	三重塔擬宝珠	甚目寺
637	無形の民俗文化財	江上社天王祭	甚目寺
638	無形の民俗文化財	甘露松	甚目寺
639	無形の民俗文化財	毘沙門天奇瑞（一遍上人七日間法要）	甚目寺
640	無形の民俗文化財	新四国八十八力所（甚目寺内）	甚目寺
641	遺跡	観音ヶ池	甚目寺

No.	類 型	名 称	所在地域等
642	建造物	地福寺本堂等（堀田桑太郎造）	本郷
643	美術工芸品（彫刻）	銅仏（伝平安時代作）	本郷
644	無形の民俗文化財	神明社（歯痛止め）	本郷
645	建造物	延命寺本堂等	坂牧
646	建造物	切支丹灯籠	坂牧
647	建造物	切支丹灯籠	坂牧
648	美術工芸品（彫刻）	阿原の地蔵	坂牧
649	美術工芸品（工芸品）	雲版（明和五年銘）	坂牧
650	美術工芸品（工芸品）	鰐口（寛永二十一年銘）	坂牧
651	美術工芸品（工芸品）	磬子	坂牧
652	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（正徳二年銘）	坂牧
653	美術工芸品（工芸品）	梵鐘（文化十五年銘）	坂牧
654	美術工芸品（歴史資料）	大塚新田開拓記念碑	坂牧
655	遺跡	清林寺遺跡（清林寺址）	坂牧
656	建造物	萱津神社神札授与所	上萱津
657	建造物	萱津神社附属建物	上萱津
658	建造物	妙勝寺本堂等	上萱津
659	建造物	法界門橋	上萱津
660	建造物	妙勝寺庫裏	上萱津
661	建造物	妙勝寺山門	上萱津
662	建造物	宝篋印塔基礎	上萱津
663	建造物	宗祖六百年遠忌塔	上萱津
664	建造物	漱水石	上萱津
665	建造物	灯籠	上萱津
666	建造物	五輪塔	上萱津
667	建造物	宝篋印塔（伝南北朝時代作）	上萱津
668	建造物	香の物殿	上萱津
669	建造物	正法寺本堂等	上萱津
670	建造物	妙教寺本堂等	上萱津
671	建造物	秋葉神社社殿等	上萱津
672	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅等一括	上萱津
673	美術工芸品（絵画）	日蓮画像	上萱津
674	美術工芸品（絵画）	日長画像	上萱津
675	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅	上萱津

No.	類 型	名 称	所在地域等
676	美術工芸品（絵画）	大曼荼羅等一括	上 萱津
677	美術工芸品（絵画）	仏涅槃図	上 萱津
678	美術工芸品（彫刻）	狛犬（木造）	上 萱津
679	美術工芸品（彫刻）	狛犬（陶製）	上 萱津
680	美術工芸品（彫刻）	日蓮画像	上 萱津
681	美術工芸品（彫刻）	十一面観音坐像	上 萱津
682	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀立像	上 萱津
683	美術工芸品（彫刻）	三面大黒天立像	上 萱津
684	美術工芸品（彫刻）	観音菩薩立像	上 萱津
685	美術工芸品（彫刻）	地藏菩薩立像	上 萱津
686	美術工芸品（彫刻）	地藏尊坐像	上 萱津
687	美術工芸品（彫刻）	観音菩薩坐像	上 萱津
688	美術工芸品（彫刻）	池田の地藏	上 萱津
689	美術工芸品（彫刻）	正法寺門前の地藏	上 萱津
690	美術工芸品（彫刻）	水掛地藏（正法寺内）	上 萱津
691	美術工芸品（彫刻）	薬師の地藏	上 萱津
692	美術工芸品（彫刻）	西国三十三所観音像	上 萱津
693	美術工芸品（工芸品）	梵鐘（寛文十三年銘）	上 萱津
694	美術工芸品（工芸品）	梵鐘（明和五年銘）	上 萱津
695	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（明和五年銘）	上 萱津
696	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（享和八年銘）	上 萱津
697	美術工芸品（工芸品）	鰐口（元禄八年銘）	上 萱津
698	美術工芸品（工芸品）	念珠一連	上 萱津
699	美術工芸品（工芸品）	古面	上 萱津
700	美術工芸品（工芸品）	雲版（明和五年銘）	上 萱津
701	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（明和五年銘）	上 萱津
702	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（享保八年銘）	上 萱津
703	美術工芸品（古文書）	縁起一卷（妙勝寺）	上 萱津
704	美術工芸品（古文書）	本国寺日桓書翰	上 萱津
705	美術工芸品（古文書）	坂東諸寺院定	上 萱津
706	美術工芸品（古文書）	長正山来由歴代記	上 萱津
707	美術工芸品（古文書）	日蓮書翰	上 萱津
708	美術工芸品（古文書）	慶長縁起	上 萱津
709	美術工芸品（古文書）	豊臣秀吉堀尾茂助宛書状	上 萱津

No.	類 型	名 称	所在地域等
710	美術工芸品（古文書）	豊臣秀吉禁制	上萱津
711	美術工芸品（古文書）	前田玄以書状	上萱津
712	美術工芸品（古文書）	福島正則書状	上萱津
713	美術工芸品（古文書）	松平忠吉寄進状	上萱津
714	美術工芸品（古文書）	藪香物伝記写	上萱津
715	美術工芸品（歴史資料）	当寺御礼座配之此	上萱津
716	美術工芸品（歴史資料）	反魂香謡本	上萱津
717	美術工芸品（歴史資料）	角柱（元文五年銘）	上萱津
718	美術工芸品（歴史資料）	萱津古戦場跡碑	上萱津
719	美術工芸品（歴史資料）	反魂香塚碑	上萱津
720	美術工芸品（歴史資料）	橘田茄子	上萱津
721	美術工芸品（歴史資料）	尾張白蕪	上萱津
722	美術工芸品（歴史資料）	萱津南瓜	上萱津
723	美術工芸品（歴史資料）	供養碑（入鹿池決壊の被害者供養）	上萱津
724	美術工芸品（歴史資料）	反魂塚碑	上萱津
725	無形の民俗文化財	祇園祭	上萱津
726	遺跡	阿波手の浦	上萱津
727	遺跡	阿波手の森	上萱津
728	名勝地	萱津神社の社叢	上萱津
729	動物・植物・地質鉱物	連理の榊	上萱津
730	動物・植物・地質鉱物	妙教寺の松	上萱津
731	文化的景観	鎌倉街道	上萱津
732	文化的景観	萱津用水	上萱津
733	文化的景観	五条川	上萱津
734	文化的景観	萱津神社の池	上萱津
735	建造物	光明寺本堂等（中萱津）	中萱津
736	建造物	五輪塔（永正九年銘）	中萱津
737	建造物	宝篋印塔（永享八年銘）	中萱津
738	建造物	宝篋印塔（永享九年銘）	中萱津
739	建造物	笠塔婆塔身（永享十一年銘）	中萱津
740	建造物	宝篋印塔（宝徳三年銘）	中萱津
741	建造物	三島社社殿等	中萱津
742	美術工芸品（絵画）	釈迦三尊画像	中萱津
743	美術工芸品（絵画）	十六羅漢画像	中萱津

No.	類 型	名 称	所在地域等
744	美術工芸品（絵画）	毘瑪代斯画像	中萱津
745	美術工芸品（絵画）	日蓮大士六老僧画	中萱津
746	美術工芸品（絵画）	三十番神画	中萱津
747	美術工芸品（絵画）	織田敏定画	中萱津
748	美術工芸品（絵画）	曼荼羅	中萱津
749	美術工芸品（絵画）	仏涅槃図	中萱津
750	美術工芸品（絵画）	涅槃像画	中萱津
751	美術工芸品（彫刻）	最上位経王大菩薩像	中萱津
752	美術工芸品（彫刻）	十一面観世音菩薩立像	中萱津
753	美術工芸品（彫刻）	辻地藏	中萱津
754	美術工芸品（彫刻）	阿弥陀三尊立像	中萱津
755	美術工芸品（工芸品）	鰐口（明応七年銘）	中萱津
756	美術工芸品（工芸品）	伝天竜寺焼青磁花瓶	中萱津
757	美術工芸品（工芸品）	仏餉器（永禄九年銘）	中萱津
758	美術工芸品（書跡・典籍）	紺紙金泥法華経一部八卷	中萱津
759	美術工芸品（古文書）	光明寺（中萱津）所蔵資料一括	中萱津
760	美術工芸品（古文書）	実成寺所蔵資料一括	中萱津
761	美術工芸品（古文書）	織田大和守敏定寄進状	中萱津
762	美術工芸品（古文書）	松平忠吉書状	中萱津
763	美術工芸品（古文書）	原田右衛門書状	中萱津
764	美術工芸品（古文書）	福島正則書状	中萱津
765	建造物	三嶋社鳥居（北米移民者奉納）	中萱津
766	建造物	三嶋社灯籠（北米移民者奉納）	中萱津
767	建造物	三嶋社火袋（北米移民者奉納）	中萱津
768	建造物	宝篋印塔（永正十六年銘）	下萱津
769	建造物	萱津橋	下萱津
770	建造物	宝篋印塔（永正十年銘）	下萱津
771	美術工芸品（彫刻）	十二神将	下萱津
772	美術工芸品（彫刻）	蓮地の地藏	下萱津
773	美術工芸品（彫刻）	池端の地藏	下萱津
774	美術工芸品（彫刻）	田中の地藏（歯痛止）	下萱津
775	美術工芸品（工芸品）	喚鐘（元禄五年銘）	下萱津
776	美術工芸品（工芸品）	古鏡（元禄十四年銘）	下萱津
777	遺跡	山伏塚	下萱津

No.	類 型	名 称	所在地域等
778	動物・植物・地質鉱物	御杖銀杏（三社宮内）	下萱津

令和6（2024）年8月現在

あま市未指定文化財 市内全域

No.	類 型	名 称	所在地域等
779	無形の民俗文化財	御鋤祭	市内
780	無形の民俗文化財	天王様迎え・送り	市内
781	無形の民俗文化財	盂蘭盆会	市内
782	無形の民俗文化財	秋葉講、秋葉祭り	市内
783	無形の民俗文化財	報恩講	市内
784	無形の民俗文化財	ひきづり鍋	市内
785	無形の民俗文化財	モロコずし	市内
786	無形の民俗文化財	ふなみそ	市内
787	無形の民俗文化財	女人講	市内
788	無形の民俗文化財	子供獅子	市内
789	無形の民俗文化財	涅槃会	市内
790	無形の民俗文化財	御嶽講	市内
791	無形の民俗文化財	神楽太鼓	市内
792	動物・植物・地質鉱物	ミナミメダカ	市内
793	動物・植物・地質鉱物	カワバタモロコ	市内
794	動物・植物・地質鉱物	モツゴ	市内
795	動物・植物・地質鉱物	フナ	市内
796	動物・植物・地質鉱物	ドジョウ	市内
797	動物・植物・地質鉱物	ナマズ	市内
798	動物・植物・地質鉱物	イシガメ	市内
799	動物・植物・地質鉱物	クサガメ	市内
800	動物・植物・地質鉱物	トノサマガエル	市内
801	動物・植物・地質鉱物	ナゴヤダルマガエル	市内
802	動物・植物・地質鉱物	ヌマガエル	市内
803	動物・植物・地質鉱物	ヌマエビ	市内
804	動物・植物・地質鉱物	スジエビ	市内
805	動物・植物・地質鉱物	テナガエビ	市内
806	動物・植物・地質鉱物	ヨシノボリ	市内
807	動物・植物・地質鉱物	オイカワ	市内
808	動物・植物・地質鉱物	キジ	市内
809	動物・植物・地質鉱物	カワセミ	市内
810	動物・植物・地質鉱物	イタチ	市内

No.	類 型	名 称	所在地域等
811	動物・植物・地質鉱物	ホンドタヌキ	市内
812	動物・植物・地質鉱物	ホンドキツネ	市内

令和 6 （2024）年 8 月 現在

美和歴史民俗資料館・甚目寺歴史民俗資料館 所蔵

No.	類 型	名 称	所在地域等
813	美術工芸品（絵画）	尾張出身の画家・文化人作品群 一括	美和歴史民俗資料館
814	美術工芸品（絵画）	錦絵（戦国武将に関する）一括	美和歴史民俗資料館
815	美術工芸品（古文書）	蜂須賀 木全家文書 一括	美和歴史民俗資料館
816	美術工芸品（古文書）	篠田村役場書類 一括	美和歴史民俗資料館
817	美術工芸品（古文書）	七宝町郷土資料館所蔵文書 一括	美和歴史民俗資料館
818	美術工芸品（古文書）	あま市に関する古文書 一括	美和歴史民俗資料館
819	美術工芸品（古文書）	水論文書 一括	美和歴史民俗資料館
820	美術工芸品（古文書）	水論文書 明治の裁判記録	美和歴史民俗資料館
821	美術工芸品（古文書）	北苅区有文書 一括	美和歴史民俗資料館
822	美術工芸品（古文書）	古道 伊東家文書 一括	美和歴史民俗資料館
823	美術工芸品（古文書）	富塚 鬼頭家文書 一括	美和歴史民俗資料館
824	美術工芸品（古文書）	蜂須賀 花木家文書 一括	美和歴史民俗資料館
825	美術工芸品（古文書）	中橋区有文書 一括	美和歴史民俗資料館
826	美術工芸品（古文書）	東溝口区有文書 一括	美和歴史民俗資料館
827	美術工芸品（古文書）	篠田区有文書 一括	美和歴史民俗資料館
828	美術工芸品（歴史資料）	宮大工堀田桑太郎資料 一括	美和歴史民俗資料館
829	美術工芸品（歴史資料）	木村左江句碑	美和歴史民俗資料館
830	美術工芸品（歴史資料）	小川關治郎資料 一括	美和歴史民俗資料館
831	美術工芸品（歴史資料）	源氏蜂須賀略系図	美和歴史民俗資料館
832	美術工芸品（歴史資料）	石定杭	美和歴史民俗資料館
833	美術工芸品（歴史資料）	福島正則公生誕地碑道標	美和歴史民俗資料館
834	美術工芸品（歴史資料）	北米移民者に関する資料 一括	美和歴史民俗資料館
835	有形の民俗文化財	農機具 一括	美和歴史民俗資料館
836	有形の民俗文化財	生活道具類 一括	美和歴史民俗資料館
837	有形の民俗文化財	乙之子 神楽	美和歴史民俗資料館
838	有形の民俗文化財	北苅 神楽	美和歴史民俗資料館
839	有形の民俗文化財	桂 神楽	美和歴史民俗資料館
840	有形の民俗文化財	嫁獅子(獅子芝居)	美和歴史民俗資料館
841	有形の民俗文化財	富塚村狂俳奉納額	美和歴史民俗資料館
842	美術工芸品（古文書）	あま市に関する古文書 一括	甚目寺歴史民俗資料館
843	美術工芸品（歴史資料）	方領大根採種組合資料 一括	甚目寺歴史民俗資料館
844	美術工芸品（歴史資料）	刷毛製造に関わる道具 一括	甚目寺歴史民俗資料館
845	美術工芸品（歴史資料）	甚目寺消防団に関わる道具 一括	甚目寺歴史民俗資料館

No.	類 型	名 称	所在地域等
846	有形の民俗文化財	農機具 一括	甚目寺歴史民俗資料館
847	有形の民俗文化財	生活道具類 一括	甚目寺歴史民俗資料館
848	遺跡	阿弥陀寺遺跡遺物 一括	甚目寺歴史民俗資料館
849	遺跡	清明遺跡遺物 一括	甚目寺歴史民俗資料館

令和6（2024）年8月現在

七宝焼アートヴィレッジ 所蔵

No.	類 型	名 称	所在地域等
850	美術工芸品（工芸品）	孔雀羽根文六角銀胎花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
851	美術工芸品（工芸品）	七宝板額 婦人像 伝塚本貝助作	七宝焼アートヴィレッジ
852	美術工芸品（工芸品）	手文庫 塚本定次作	七宝焼アートヴィレッジ
853	美術工芸品（工芸品）	泥釉鳥文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
854	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図木瓜型花瓶 太田吉三郎	七宝焼アートヴィレッジ
855	美術工芸品（工芸品）	紺地花草図四角形花瓶 太田為次郎	七宝焼アートヴィレッジ
856	美術工芸品（工芸品）	水色地白鷺図花瓶 権田廣助	七宝焼アートヴィレッジ
857	美術工芸品（工芸品）	紺地龍図鶴首花瓶 林要次郎	七宝焼アートヴィレッジ
858	美術工芸品（工芸品）	紺地雀に桜図花瓶 林忠四郎	七宝焼アートヴィレッジ
859	美術工芸品（工芸品）	紺地葡萄図花瓶 太田春治郎	七宝焼アートヴィレッジ
860	美術工芸品（工芸品）	水色地龍鳳凰文六角花瓶 太田甚之栄	七宝焼アートヴィレッジ
861	美術工芸品（工芸品）	桃色地旭日鳳凰文小箱 林谷五郎	七宝焼アートヴィレッジ
862	美術工芸品（工芸品）	赤透釉薬（二次焼成前焼成後）	七宝焼アートヴィレッジ
863	美術工芸品（工芸品）	赤透煙草入れ 太田甚之栄	七宝焼アートヴィレッジ
864	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶 太田甚之栄	七宝焼アートヴィレッジ
865	美術工芸品（工芸品）	畳のコゲ痕付花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
866	美術工芸品（工芸品）	ワグネル青磁草花文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
867	美術工芸品（工芸品）	竜文花瓶 完成品未完成品	七宝焼アートヴィレッジ
868	美術工芸品（工芸品）	八寸 花瓶（未完成品）	七宝焼アートヴィレッジ
869	美術工芸品（工芸品）	根々七宝（野点かご）	七宝焼アートヴィレッジ
870	美術工芸品（工芸品）	香炷 林庄五郎	七宝焼アートヴィレッジ
871	美術工芸品（工芸品）	婦人像 塚本貝助	七宝焼アートヴィレッジ
872	美術工芸品（工芸品）	三十六歌仙壁飾 林小傳治作	七宝焼アートヴィレッジ
873	美術工芸品（工芸品）	泥釉鳥文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
874	美術工芸品（工芸品）	青透鳳凰文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
875	美術工芸品（工芸品）	間取草花文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
876	美術工芸品（工芸品）	陶胎皿	七宝焼アートヴィレッジ
877	美術工芸品（工芸品）	腐蝕素地	七宝焼アートヴィレッジ
878	美術工芸品（工芸品）	銀張あやめ模様花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
879	美術工芸品（工芸品）	ルリ紺地龍の図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
880	美術工芸品（工芸品）	本銀地黄色壺	七宝焼アートヴィレッジ
881	美術工芸品（工芸品）	浪口鶴模様花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
882	美術工芸品（工芸品）	青地菊文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ

No.	類 型	名 称	所在地域等
883	美術工芸品（工芸品）	たばこ入れ銀張有線七宝	七宝焼アートヴィレッジ
884	美術工芸品（工芸品）	赤透四寸皿	七宝焼アートヴィレッジ
885	美術工芸品（工芸品）	四寸省胎七宝	七宝焼アートヴィレッジ
886	美術工芸品（工芸品）	菓子器	七宝焼アートヴィレッジ
887	美術工芸品（工芸品）	銀台口紅入れ	七宝焼アートヴィレッジ
888	美術工芸品（工芸品）	花瓶（流釉）	七宝焼アートヴィレッジ
889	美術工芸品（工芸品）	銀台盃	七宝焼アートヴィレッジ
890	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝	七宝焼アートヴィレッジ
891	美術工芸品（工芸品）	芦・千鳥文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
892	美術工芸品（工芸品）	鳥文泥七宝皿	七宝焼アートヴィレッジ
893	美術工芸品（工芸品）	花器	七宝焼アートヴィレッジ
894	美術工芸品（工芸品）	香たき	七宝焼アートヴィレッジ
895	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き（菊）	七宝焼アートヴィレッジ
896	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き（桜）	七宝焼アートヴィレッジ
897	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き（竹梅）	七宝焼アートヴィレッジ
898	美術工芸品（工芸品）	ナフキン置き（白梅）	七宝焼アートヴィレッジ
899	美術工芸品（工芸品）	たばこ入れ	七宝焼アートヴィレッジ
900	美術工芸品（工芸品）	傘の柄	七宝焼アートヴィレッジ
901	美術工芸品（工芸品）	鏡の枠	七宝焼アートヴィレッジ
902	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝湯呑	七宝焼アートヴィレッジ
903	美術工芸品（工芸品）	香鉢	七宝焼アートヴィレッジ
904	美術工芸品（工芸品）	紺地菊文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
905	美術工芸品（工芸品）	やけ地松文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
906	美術工芸品（工芸品）	高岡銅器	七宝焼アートヴィレッジ
907	美術工芸品（工芸品）	竜文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
908	美術工芸品（工芸品）	芦・千鳥文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
909	美術工芸品（工芸品）	陶胎七宝	七宝焼アートヴィレッジ
910	美術工芸品（工芸品）	香炉 本銀地	七宝焼アートヴィレッジ
911	美術工芸品（工芸品）	青色七宝研究中の試作	七宝焼アートヴィレッジ
912	美術工芸品（工芸品）	花瓶 あやめ図（銀地）	七宝焼アートヴィレッジ
913	美術工芸品（工芸品）	インキ壺	七宝焼アートヴィレッジ
914	美術工芸品（工芸品）	濃尾地震で被災した花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
915	美術工芸品（工芸品）	盃	七宝焼アートヴィレッジ
916	美術工芸品（工芸品）	白地盛上七宝花瓶	七宝焼アートヴィレッジ

No.	類 型	名 称	所在地域等
917	美術工芸品（工芸品）	竜文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
918	美術工芸品（工芸品）	おしどり、菖蒲文四面取花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
919	美術工芸品（工芸品）	小円花文四角足付皿	七宝焼アートヴィレッジ
920	美術工芸品（工芸品）	竜文皿 外周り花蝶千鳥波小円文	七宝焼アートヴィレッジ
921	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文花弁方六角皿	七宝焼アートヴィレッジ
922	美術工芸品（工芸品）	鳥、蝶、梅、桜、菊文 蓋付茶壺	七宝焼アートヴィレッジ
923	美術工芸品（工芸品）	鷹、雀文 大皿	七宝焼アートヴィレッジ
924	美術工芸品（工芸品）	花模様 中皿	七宝焼アートヴィレッジ
925	美術工芸品（工芸品）	蓮文 大皿	七宝焼アートヴィレッジ
926	美術工芸品（工芸品）	鶯、梅文六角 花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
927	美術工芸品（工芸品）	桜、鳥文 丸花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
928	美術工芸品（工芸品）	朝顔 蝶文 小皿	七宝焼アートヴィレッジ
929	美術工芸品（工芸品）	中心円紫陽花文 大皿	七宝焼アートヴィレッジ
930	美術工芸品（工芸品）	薔薇、鳥、蝶文大皿	七宝焼アートヴィレッジ
931	美術工芸品（工芸品）	牡丹・双鳥文大皿	七宝焼アートヴィレッジ
932	美術工芸品（工芸品）	波型バックル 薔薇 3 個文	七宝焼アートヴィレッジ
933	美術工芸品（工芸品）	円型バックル 蝶羽文の中にあやめ・梅文	七宝焼アートヴィレッジ
934	美術工芸品（工芸品）	太田道灌にわか雨での傘求めの図皿	七宝焼アートヴィレッジ
935	美術工芸品（工芸品）	かわせみ・薔薇・蓮文筒型 陶胎花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
936	美術工芸品（工芸品）	小鳥・菊・すすき・朝顔・萩文 蛤型箱	七宝焼アートヴィレッジ
937	美術工芸品（工芸品）	鶴・鳳凰・葡萄文 扁壺	七宝焼アートヴィレッジ
938	美術工芸品（工芸品）	山鳥・菊・萩・アヤメ文 四面取壺	七宝焼アートヴィレッジ
939	美術工芸品（工芸品）	黄色小鳥・薔薇・朝顔文 飾り版	七宝焼アートヴィレッジ
940	美術工芸品（工芸品）	小鳥・もみじ文 飾り版雀・葡萄文 飾り版	七宝焼アートヴィレッジ
941	美術工芸品（工芸品）	蝶・すすき文 飾り版	七宝焼アートヴィレッジ
942	美術工芸品（工芸品）	蝶・花文 宝石箱	七宝焼アートヴィレッジ
943	美術工芸品（工芸品）	面取り あおい文七宝花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
944	美術工芸品（工芸品）	赤透花台	七宝焼アートヴィレッジ
945	美術工芸品（工芸品）	高岡銅器	七宝焼アートヴィレッジ
946	美術工芸品（工芸品）	古七宝花入	七宝焼アートヴィレッジ
947	美術工芸品（工芸品）	龍に鳳凰文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
948	美術工芸品（工芸品）	スマレ花文スタンド型鏡	七宝焼アートヴィレッジ
949	美術工芸品（工芸品）	ミルク入れ	七宝焼アートヴィレッジ
950	美術工芸品（工芸品）	陶胎花瓶	七宝焼アートヴィレッジ

No.	類 型	名 称	所在地域等
951	美術工芸品（工芸品）	銀張七宝花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
952	美術工芸品（工芸品）	楠木正行吉野如意輪堂の図皿	七宝焼アートヴィレッジ
953	美術工芸品（工芸品）	藤花有鳩図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
954	美術工芸品（工芸品）	山水文30花卉大皿	七宝焼アートヴィレッジ
955	美術工芸品（工芸品）	布袋と月・菊花流水文飾り棚	七宝焼アートヴィレッジ
956	美術工芸品（工芸品）	茶金石古代文六角面取り大香炉	七宝焼アートヴィレッジ
957	美術工芸品（工芸品）	遊鯉図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
958	美術工芸品（工芸品）	白梅文赤透花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
959	美術工芸品（工芸品）	七宝花瓶素地	七宝焼アートヴィレッジ
960	美術工芸品（工芸品）	印籠	七宝焼アートヴィレッジ
961	美術工芸品（工芸品）	流水花鳥図六角花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
962	美術工芸品（工芸品）	梅花鶯図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
963	美術工芸品（工芸品）	七宝取手付下駄箱	七宝焼アートヴィレッジ
964	美術工芸品（工芸品）	七宝喫煙具	七宝焼アートヴィレッジ
965	美術工芸品（工芸品）	孔雀に牡丹文大皿	七宝焼アートヴィレッジ
966	美術工芸品（工芸品）	灰皿	七宝焼アートヴィレッジ
967	美術工芸品（工芸品）	高脚灰皿	七宝焼アートヴィレッジ
968	美術工芸品（工芸品）	花生	七宝焼アートヴィレッジ
969	美術工芸品（工芸品）	香合	七宝焼アートヴィレッジ
970	美術工芸品（工芸品）	竹に雀文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
971	美術工芸品（工芸品）	藤文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
972	美術工芸品（工芸品）	六角小壺	七宝焼アートヴィレッジ
973	美術工芸品（工芸品）	鳳凰文箱	七宝焼アートヴィレッジ
974	美術工芸品（工芸品）	茶金石菊文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
975	美術工芸品（工芸品）	黄地花文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
976	美術工芸品（工芸品）	雲文菊花型引き手	七宝焼アートヴィレッジ
977	美術工芸品（工芸品）	蝶菊文引き手	七宝焼アートヴィレッジ
978	美術工芸品（工芸品）	紫地唐草文菓子器	七宝焼アートヴィレッジ
979	美術工芸品（工芸品）	紺地花鳥図六角形花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
980	美術工芸品（工芸品）	赤透龍竹文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
981	美術工芸品（工芸品）	紺地藤に燕図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
982	美術工芸品（工芸品）	紺地藤文釦	七宝焼アートヴィレッジ
983	美術工芸品（工芸品）	花文象嵌七宝簪	七宝焼アートヴィレッジ
984	美術工芸品（工芸品）	緑透百合文銀張り花瓶	七宝焼アートヴィレッジ

No.	類 型	名 称	所在地域等
985	美術工芸品（工芸品）	水色地草花文磁胎合子	七宝焼アートヴィレッジ
986	美術工芸品（工芸品）	草花文磁胎七宝鶴首花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
987	美術工芸品（工芸品）	茶緑地花鳥図角皿	七宝焼アートヴィレッジ
988	美術工芸品（工芸品）	茶金地紫陽花菊文角皿	七宝焼アートヴィレッジ
989	美術工芸品（工芸品）	金箔地菖蒲図三角形花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
990	美術工芸品（工芸品）	槌起桜柳文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
991	美術工芸品（工芸品）	槌起白梅文四角合子	七宝焼アートヴィレッジ
992	美術工芸品（工芸品）	花文壺	七宝焼アートヴィレッジ
993	美術工芸品（工芸品）	蝶文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
994	美術工芸品（工芸品）	孔雀文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
995	美術工芸品（工芸品）	七宝煙草入れ	七宝焼アートヴィレッジ
996	美術工芸品（工芸品）	花鳥文八角形大花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
997	美術工芸品（工芸品）	四季花鳥山水図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
998	美術工芸品（工芸品）	花鳥文双花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
999	美術工芸品（工芸品）	鷹に鶴図小壺	七宝焼アートヴィレッジ
1000	美術工芸品（工芸品）	七宝擬宝珠	七宝焼アートヴィレッジ
1001	美術工芸品（工芸品）	桜型白鷺文飾皿	七宝焼アートヴィレッジ
1002	美術工芸品（工芸品）	富士松原文七宝花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1003	美術工芸品（工芸品）	花鳩図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1004	美術工芸品（工芸品）	120 鶏文赤透花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1005	美術工芸品（工芸品）	桜図花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1006	美術工芸品（工芸品）	100 変型唐獅子文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1007	美術工芸品（工芸品）	60 変鶏薄地花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1008	美術工芸品（工芸品）	菊文大花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1009	美術工芸品（工芸品）	宝石箱（半製品）	七宝焼アートヴィレッジ
1010	美術工芸品（工芸品）	赤透花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1011	美術工芸品（工芸品）	100 淡墨桜花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1012	美術工芸品（工芸品）	三足菊文香炉	七宝焼アートヴィレッジ
1013	美術工芸品（工芸品）	6 号平型ボカシ暮影花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1014	美術工芸品（工芸品）	80 玉柘榴花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1015	美術工芸品（工芸品）	9 寸変型烏瓜文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1016	美術工芸品（工芸品）	8 寸変型 映	七宝焼アートヴィレッジ
1017	美術工芸品（工芸品）	9 寸砥草文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1018	美術工芸品（工芸品）	40 玉変型 蝶	七宝焼アートヴィレッジ

No.	類 型	名 称	所在地域等
1019	美術工芸品（工芸品）	80 玉型紫陽花文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1020	美術工芸品（工芸品）	90 変型 陽光	七宝焼アートヴィレッジ
1021	美術工芸品（工芸品）	秋色文様七宝花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1022	美術工芸品（工芸品）	40 玉型龍文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1023	美術工芸品（工芸品）	赤透菊文大花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1024	美術工芸品（工芸品）	緑地四君子花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1025	美術工芸品（工芸品）	緑地古代文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1026	美術工芸品（工芸品）	筍図一輪挿し	七宝焼アートヴィレッジ
1027	美術工芸品（工芸品）	古代文花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1028	美術工芸品（歴史資料）	七宝下図 一括	七宝焼アートヴィレッジ
1029	美術工芸品（歴史資料）	元調法簿関係 一括	七宝焼アートヴィレッジ
1030	美術工芸品（歴史資料）	七宝焼引合帳・物品受込及精算簿・物品送込及精算簿	七宝焼アートヴィレッジ
1031	美術工芸品（歴史資料）	メダル及び賞状関係 一括	七宝焼アートヴィレッジ
1032	美術工芸品（歴史資料）	万博・博覧会関係資料一括	七宝焼アートヴィレッジ
1033	美術工芸品（歴史資料）	遠安工業補習学校資料一括	七宝焼アートヴィレッジ
1034	美術工芸品（歴史資料）	塚本貝助肖像	七宝焼アートヴィレッジ
1035	美術工芸品（歴史資料）	七宝製作風景図	七宝焼アートヴィレッジ
1036	美術工芸品（歴史資料）	七宝商鑑札	七宝焼アートヴィレッジ
1037	美術工芸品（歴史資料）	サヤ	七宝焼アートヴィレッジ
1038	美術工芸品（歴史資料）	濃尾地震で被災した花瓶	七宝焼アートヴィレッジ
1039	美術工芸品（歴史資料）	七宝工房写真	七宝焼アートヴィレッジ
1040	美術工芸品（歴史資料）	七宝工房スケッチ	七宝焼アートヴィレッジ
1041	美術工芸品（歴史資料）	ウマと作業台(大型花瓶用)	七宝焼アートヴィレッジ
1042	美術工芸品（歴史資料）	七宝工程見本	七宝焼アートヴィレッジ
1043	美術工芸品（歴史資料）	愛知七宝商工同業組合資料 一括	七宝焼アートヴィレッジ
1044	美術工芸品（歴史資料）	林小傳治資料 一括	七宝焼アートヴィレッジ
1045	美術工芸品（歴史資料）	戸田みね氏の手記	七宝焼アートヴィレッジ

令和6（2024）年8月現在

あま市文化財保存活用地域計画

令和6(2024)年12月 発行(2025年1月一部改訂)

発 行：あま市

〒497-0001 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地

TEL. 052-444-1001 (代表)

編 集：あま市教育委員会 生涯学習課

